

埼玉県
多様性を尊重する
共生社会づくりに関する調査
報告書

令和3年2月

埼玉県

目 次

第 1 章 調査の概要	1
1. 調査実施の目的	3
2. 調査方法	3
3. 標本抽出方法	3
4. 回収状況	4
5. 調査項目	5
6. 報告書の見方	5
第 2 章 調査結果の詳細	9
1. 本人や家族について	11
(1) 年齢	11
(2) 居住地域	12
(3) 同居者	13
(4) 最終学歴	15
2. 今の仕事や仕事の経験について	16
(1) 現在の仕事	16
(2) 勤務先の業種	18
(3) 勤務先の職種	20
(4) 1年間の個人収入	21
3. 健康や経験について	24
(1) 長期的な健康上の問題や慢性的な病気	24
(2) 最近1か月間のこころの状況	26
(3) 精神的に追い込まれた経験	30
(4) ハラスメント被害の経験	35
(5) 心配事を聴いてくれる人の有無	38
4. 性に関する考えや周囲の状況について	42
(1) 性の在り方に対する考え	42
(2) 差別的な言動を見聞きした経験	46
(3) 職場での性的マイノリティに対する配慮や支援	47
(4) 学校で性的マイノリティについて学んだ経験	48
(5) 性的マイノリティからカミングアウトされた経験	53
(6) 知人が性的マイノリティであることで悩んでいる（いた）ことの有無	56
(7) 知人が性的マイノリティであることで悩んでいる（いた）事柄	57
(8) 性的マイノリティへの配慮・支援で国や地方自治体がすべき取組	69
(9) 性的マイノリティへの配慮・支援で学校がすべき取組	71
(10) 性的マイノリティへの配慮・支援で職場がすべき取組	73

第1章 調査の概要

5. 性別、恋愛、性について	75
(1) 性別（出生時の戸籍・出生時の性別）	75
(2) 今の性別と出生時の性別の認識	76
(3) 現在の性自認	77
(4) 性的指向	78
(5) 性的指向を決めたくない・決めていない理由	79
6. カミングアウトについて	81
(1) 最初にカミングアウトした時期	81
(2) 最初にカミングアウトした相手	82
(3) それ以外にカミングアウトした相手	83
(4) 今後カミングアウトしたい相手の有無	85
(5) 今後カミングアウトしたい相手	86
(6) カミングアウトしていない、カミングアウトしたいと思う相手がいない理由	87
7. 性的マイノリティについて（悩んだ経験や相談状況）	88
(1) 学生時代に性的マイノリティであること／関連したことで悩んだ経験	88
(2) 職場で性的マイノリティであること／関連したことで悩んだこと	89
(3) 学校卒業後、職場以外で性的マイノリティであること／関連したことで悩んだこと	91
(4) 性的マイノリティであること／関連したことで悩んだときの相談相手の有無	93
(5) 性的マイノリティであること／関連したことで悩んだときの相談相手がいた時期	94

第3章 集計表（参考資料） 95

1. 本人や家族について	97
2. 今の仕事や仕事の経験について	98
3. 健康や経験について	99
4. 性に関する考えや周囲の状況について	105
5. 性別、恋愛、性について	114
6. カミングアウトについて	115
7. 性的マイノリティについて（悩んだ経験や相談状況）	117

第4章 調査票 125

第1章 調査の概要

1. 調査実施の目的

LGBTQ（性的マイノリティ）について、県民の性的指向、性自認、心身の健康状態、経済状態、いじめ等の体験、行政へのニーズなど伺い、施策立案を行うための基礎資料とすることを目的として、アンケート調査を実施した。

2. 調査方法

調査対象：埼玉県内に住む満18歳以上64歳以下の方

抽出方法：住民基本台帳に基づく層化二段無作為方式

調査方法：郵送配布、郵送・インターネット併用回収

調査期間：令和2年9月11日（金）～10月4日（日）

3. 標本抽出方法

母集団：埼玉県内に住む満18歳以上64歳以下の方

標本数：15,000

地点数：500地点

抽出方法：層化2段無作為抽出法

（1）地域・市郡規模区分

ア 県内を次の3ゾーン10地域に分類した。

地 域		該 当 市 町 村 名
県南	南 部 地 域	川口市、蕨市、戸田市
	南 西 部 地 域	朝霞市、志木市、和光市、新座市、富士見市、ふじみ野市、三芳町
	東 部 地 域	春日部市、草加市、越谷市、八潮市、三郷市、吉川市、松伏町
	さいたま地域	さいたま市
圏央道	県 央 地 域	鴻巣市、上尾市、桶川市、北本市、伊奈町
	川 越 比 企 地 域	川越市、東松山市、坂戸市、鶴ヶ島市、毛呂山町、越生町、滑川町、嵐山町、小川町、川島町、吉見町、鳩山町、ときがわ町、東秩父村
	西 部 地 域	所沢市、飯能市、狭山市、入間市、日高市
	利 根 地 域	行田市、加須市、羽生市、久喜市、蓮田市、幸手市、白岡市、宮代町、杉戸町
県北	北 部 地 域	熊谷市、本庄市、深谷市、美里町、神川町、上里町、寄居町
	秩 父 地 域	秩父市、横瀬町、皆野町、長瀨町、小鹿野町

イ 各地域においては、さらに自治体規模によって次のように分類し、層化した。

人口10万以上の市／人口10万未満の市／町村部

（2）標本の配分

各地域・市郡規模別の層における満18歳以上64歳以下の人口（令和2年1月1日現在の推定数）により、15,000の標本を比例配分した。

第1章 調査の概要

(3) 抽出

ア 第1次抽出単位となる調査地点として、平成27年国勢調査時に設定された調査区を使用した。

イ 調査地点の抽出数については、1調査地点当たりの標本数が30程度になるように、各層に割り当てられた標本数から算出した。

調査地点抽出は、

抽出間隔 = $\frac{\text{層における調査区数の合計}}{\text{層で算出された調査地点数}}$ を算出し、等間隔抽出法によって抽出した。

抽出の基点は、層における筆頭調査区から任意に算出された数を持って数えた調査区とした。

ウ 調査地点における対象者の抽出は、住民基本台帳により、抽出の起点から等間隔抽出法によって抽出した。

エ 以上の結果、各地域・市郡規模別（層別）の標本数・調査地点数は次のとおりとなった。

地域		市郡規模			計
		人口10万以上の市	人口10万未満の市	郡部（町村）	
県南	南部地域	469,610 1,617(54)	48,440 167(6)		518,050 1,784(60)
	南西部地域	323,485 1,114(37)	101,216 349(12)	21,528 74(2)	446,229 1,537(51)
	東部地域	570,179 1,964(65)	100,500 346(12)	16,683 57(2)	687,362 2,367(79)
	さいたま地域	804,982 2,772(92)			804,982 2,772(92)
圏央道	県央地域	199,872 688(23)	79,402 273(9)	26,092 90(3)	305,366 1,051(35)
	川越比企地域	262,811 905(30)	91,591 315(11)	95,915 330(11)	450,317 1,550(52)
	西部地域	370,159 1,275(42)	73,760 254(9)		443,919 1,529(51)
	利根地域	150,372 518(17)	167,455 577(19)	42,892 148(5)	360,719 1,243(41)
県北	北部地域	192,695 663(22)	44,885 155(5)	49,856 172(6)	287,436 990(33)
	秩父地域		32,785 113(4)	18,481 64(2)	51,266 177(6)
計		3,344,165 11,516(382)	740,034 2,549(87)	271,447 935(31)	4,355,646 15,000(500)

(注) 上段…推定母集団数（満18歳以上64歳以下人口） 下段左方…標本数 下段右方（カッコ内）…地点数

4. 回収状況

発送数	有効回収数		白票・無効票	有効回収率		
	全体	内訳		全体	内訳	
15,000件	5,606件 (100.0%)	郵送	81件	37.6%	郵送	26.7%
		WEB			WEB	10.9%

※有効回収率は、小数点第2位以下を四捨五入して算出し、小数点第1位までを表示

※有効回収率は、《有効回収数÷（発送数－白票・無効票数）×100》で算出

5. 調査項目

1. 本人や家族について
2. 今の仕事や仕事の経験について
3. 健康や経験について
4. 性に関する考えや周囲の状況について
5. 性別、恋愛、性について
6. カミングアウトについて
7. 性的マイノリティについて（悩んだ経験や相談状況）

6. 報告書の見方

(1) 調査結果の誤差

この調査は、全数調査ではないので、調査結果の数値は真の値（全数を調査した場合に得られる数値）から隔たっている可能性がある。（これを標本誤差という。）

この標本誤差の大きさは、層化2段抽出の場合、経験的に95%の信頼度で、

$$2\sqrt{2\frac{N-n}{N-1}\times\frac{P(1-P)}{n}} \doteq 2\sqrt{2\frac{P(1-P)}{n}}$$

を超えないことが確認されている。（N：母集団、n：標本数、P：出現率）

今回の調査では、n=5,606であるから、例えば、ある回答（調査結果）が20%（P=0.2）の場合、標本誤差は

$$2\sqrt{2\frac{0.2\times 0.8}{5,606}} \doteq 0.015$$

となり、真の値は95%の信頼度で20%±1.5%の範囲内にあることとなる。同様に計算したものが次表である。

[標本誤差早見表（主なもの）]

区 分	基 数	回 答 率					
		90%または 10%程度	80%または 20%程度	70%または 30%程度	60%または 40%程度	50%程度	
全 体	5,606	± 1.1%	± 1.5%	± 1.7%	± 1.9%	± 1.9%	
性的マイノリティ以外・ 性的マイノリティ	性的マイノリティ	184	± 6.3%	± 8.3%	± 9.6%	± 10.2%	± 10.4%
	性的マイノリティ以外	5,422	± 1.2%	± 1.5%	± 1.8%	± 1.9%	± 1.9%
	性自認に関する 性的マイノリティ	30	± 15.5%	± 20.7%	± 23.7%	± 25.3%	± 25.8%
	性的指向に関する 性的マイノリティ	171	± 6.5%	± 8.7%	± 9.9%	± 10.6%	± 10.8%

※「性自認に関する性的マイノリティ」と「性的指向に関する性的マイノリティ」に分けた集計表は、参考として97ページ以降に掲載しています。

(2) 調査結果の見方

- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。
- ・百分率(%)の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示した。したがって、単数回答(1つだけ選ぶ問)においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合がある。
- ・複数回答(2つ以上選んでよい問)においては、%の合計が100%を超える場合がある。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。
- ・図表中の「-」は回答者が皆無のもの、「0.0」は回答者の割合が0.05%未満のため四捨五入の結果、0.0%となったものである。
- ・回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合がある。

(3) 本調査における性的マイノリティの定義について

- ・本調査における『性的マイノリティ』は、以下のように定義する。

①問23(出生時の性別)で「1. 男性」又は「2. 女性」と回答し、

問24(出生時の性別についての違和感)で

「2. 別の性別」又は「3. 違和感あり」と回答し、

問25(今の認識)で

「2. 女性」又は「1. 男性」、

「3. 男性・女性どちらでも」、「4. 男性・女性の間」、

「5. 男性・女性のどちらでもない」、「6. 揺れ動いている」のいずれかを回答

②問23が無回答で、

問24(出生時の性別についての違和感)で

「2. 別の性別」又は「3. 違和感あり」と回答し、

問25(今の認識)で

「1. 男性」又は「2. 女性」、

「3. 男性・女性どちらでも」、「4. 男性・女性の間」、

「5. 男性・女性のどちらでもない」、「6. 揺れ動いている」のいずれかを回答

③問26(性的指向)で「2. 同性愛者」、「3. 両性愛者」、「4. 無性愛者」のいずれかを回答

④問26(性的指向)で「5. 決めたくない・決めていない」を回答し、

問27(理由)で

「1. 異性愛者ではなく、クイア、パンセクシャルなど別のアイデンティティを持っている」

又は「2. まだ決めていない等」のいずれかを回答

- ・本調査では『性的マイノリティ』をさらに『性自認に関する性的マイノリティ』と『性的指向に関する性的マイノリティ』に分け、さらに「トランスジェンダー」等を次のとおり定義する。

性自認に関する 性的マイノリティ	トランスジェンダー (生まれたときに割り当てられた性別と自認する性別が一致しない人)	男女いずれかの性を自認している (割り当てられた性別が男性で現在の自認が女性である人及び割り当てられた性別が女性で現在の自認が男性である人)	問23で「1」又は「2」を回答 ⇒問24で「2」又は「3」を回答 ⇒問25で「2」又は「1」を回答
			あるいは、 問23で無回答 ⇒問24で「2」又は「3」を回答 ⇒問25で「1」又は「2」を回答
		男女いずれの性も自認していない (Xジェンダー・ノンバイナリー)	問23で「1」又は「2」を回答 ⇒問24で「2」又は「3」を回答 ⇒問25で「3」から「6」のいずれかを回答
			あるいは、 問23で無回答 ⇒問24で「2」又は「3」を回答 ⇒問25で「3」から「6」のいずれかを回答
性的指向に関する 性的マイノリティ	同性愛者		問26で「2」を回答
	両性愛者		問26で「3」を回答
	無性愛者		問26で「4」を回答
	クエスチョニング(※注)		問26で「5」を回答 ⇒問27で「1」又は「2」を回答

※注：クエスチョニングを、性自認も含めた自分のセクシュアリティ(性のあり方)を決めたくない、決めていない人と定義する場合は、問25のうち「3」～「6」を回答した人の中にもクエスチョニングに含めることができる人が存在する可能性がある。

(4) 留意事項

- ・本調査の母集団は「18～64歳の埼玉県民」であるため、この結果を埼玉県の全年齢人口や、日本全国に一般化することはできない。
- ・本報告では、性的マイノリティやその内訳に関し、上記のとおり定義したが、性的マイノリティ等の定義については様々な意見があり、今後も変わる可能性がある。

第2章 調査結果の詳細

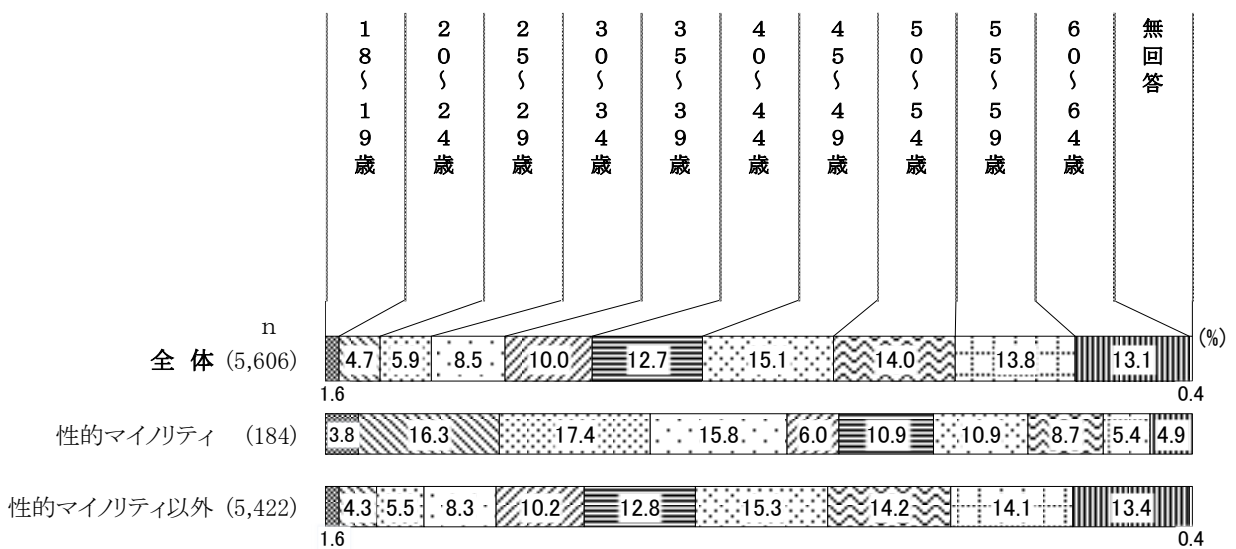
1. 本人や家族について

(1) 年齢

問1 あなたの年齢は、令和2年7月1日現在でおいくつですか。
(あてはまる番号1つに○)

全体では、「45～49歳」が15.1%で最も多く、以下、「50～54歳」(14.0%)、「55～59歳」(13.8%)、「60～64歳」(13.1%)となっている。

『性的マイノリティ』では、「25～29歳」が17.4%で最も多く、以下、「20～24歳」(16.3%)、「30～34歳」(15.8%)となっている。『性的マイノリティ以外』では、全体と同様の結果となっている。



■構成表

※上段が件数、下段が割合

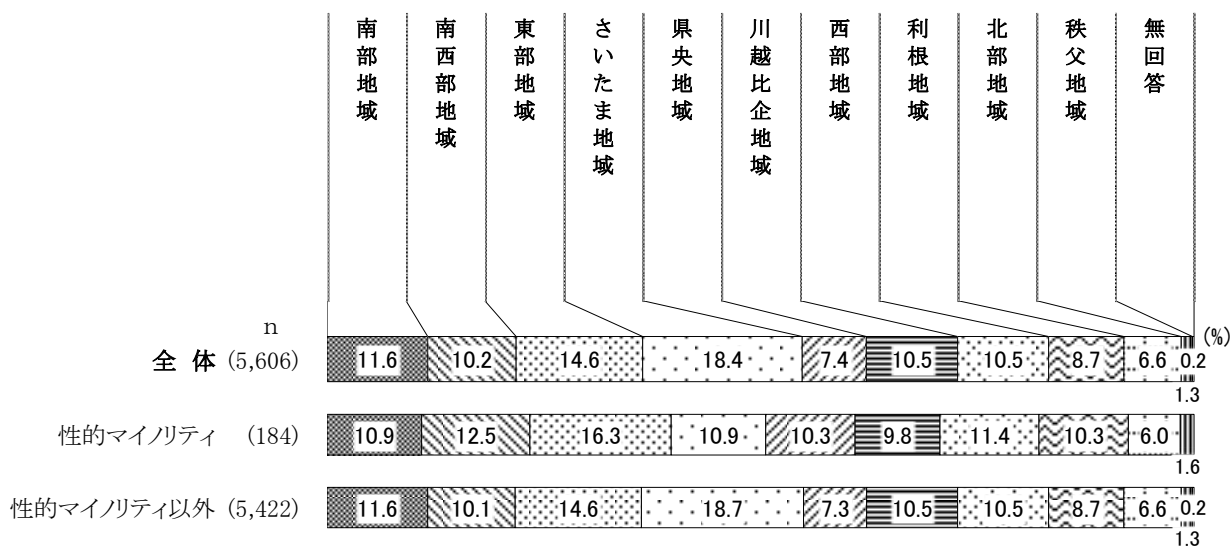
	調査数	18～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	無回答
全体	5,606	92	263	332	479	563	714	847	787	775	734	20
	100.0	1.6	4.7	5.9	8.5	10.0	12.7	15.1	14.0	13.8	13.1	0.4
性的マイノリティ	184	7	30	32	29	11	20	20	16	10	9	-
	100.0	3.8	16.3	17.4	15.8	6.0	10.9	10.9	8.7	5.4	4.9	-
性的マイノリティ以外	5,422	85	233	300	450	552	694	827	771	765	725	20
	100.0	1.6	4.3	5.5	8.3	10.2	12.8	15.3	14.2	14.1	13.4	0.4

(2) 居住地

問2 あなたのお住まいの地域はどこですか。(あてはまる番号1つに○)

全体では、「さいたま地域」が18.4%で最も多く、以下、「東部地域」(14.6%)、「南部地域」(11.6%)となっている。

『性的マイノリティ』では、「東部地域」が16.3%で最も多く、以下、「南西部地域」(12.5%)、「西部地域」(11.4%)となっている。『性的マイノリティ以外』では、全体と同様の結果となっている。



■構成表

※上段が件数、下段が割合

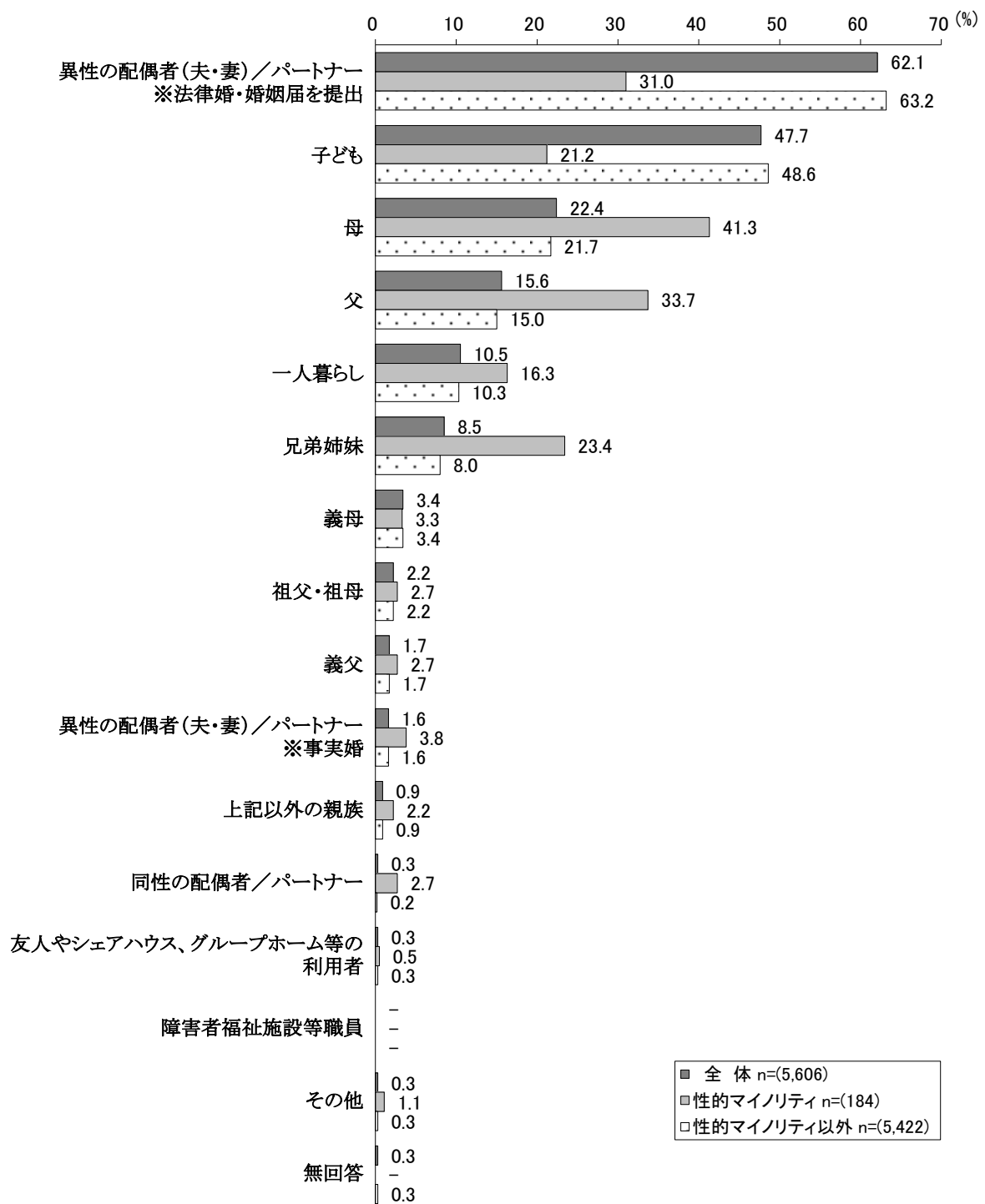
	調査数	南部地域	南西部地域	東部地域	さいたま地域	県央地域	川越比企地域	西部地域	利根地域	北部地域	秩父地域	無回答
全体	5,606	649	571	820	1,032	415	589	588	490	369	71	12
	100.0	11.6	10.2	14.6	18.4	7.4	10.5	10.5	8.7	6.6	1.3	0.2
性的マイノリティ	184	20	23	30	20	19	18	21	19	11	3	-
	100.0	10.9	12.5	16.3	10.9	10.3	9.8	11.4	10.3	6.0	1.6	-
性的マイノリティ以外	5,422	629	548	790	1,012	396	571	567	471	358	68	12
	100.0	11.6	10.1	14.6	18.7	7.3	10.5	10.5	8.7	6.6	1.3	0.2

(3) 同居者

問3 あなたはどなたと一緒に暮らしていますか。(あてはまる番号すべてに○)
 ※選択肢の「異性」、「同性」は、戸籍などの公的書類に基づく性別でお答えください。

全体では、「異性の配偶者(夫・妻)／パートナー※法律婚・婚姻届を提出」が62.1%で最も多く、以下、「子ども」(47.7%)、「母」(22.4%)となっている。

『性的マイノリティ』では、「母」が41.3%で最も多く、以下、「父」(33.7%)、「異性の配偶者(夫・妻)／パートナー※法律婚・婚姻届を提出」(31.0%)となっている。『性的マイノリティ以外』では、全体と同様の結果となっている。



■構成表

※上段が件数、下段が割合

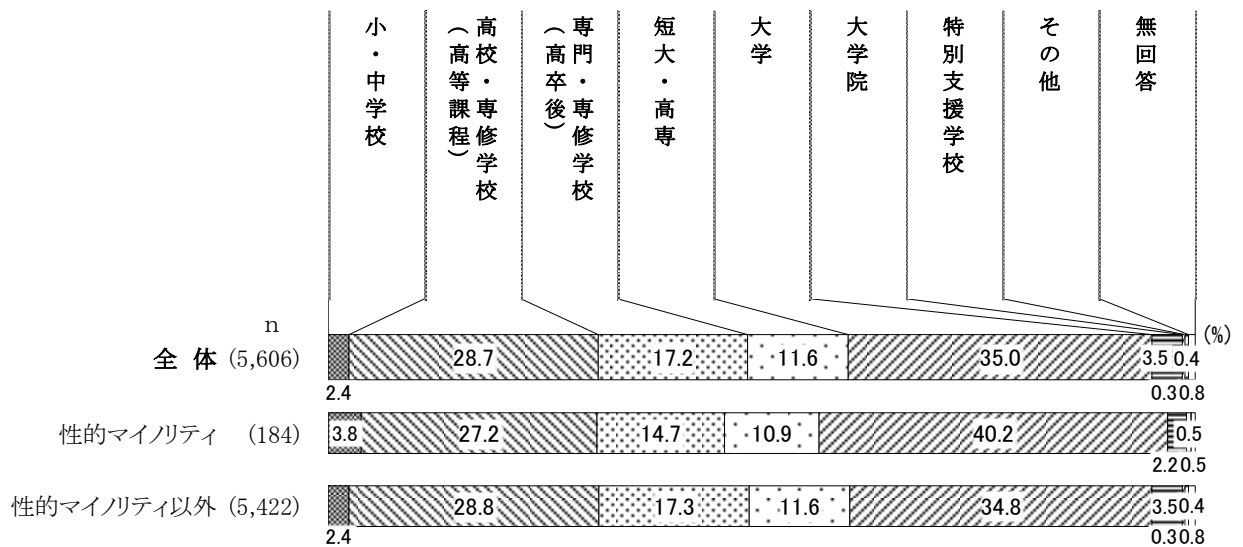
	調査数	異性の配偶者 トナリ※法律婚・ トナリ※妻／パ トナリ※妻／パ	異性の配偶者 トナリ※妻／パ トナリ※妻／パ	同性の配偶者 トナリ	子ども	父	母	義父	義母
全体	5,606 100.0	3,483 62.1	92 1.6	18 0.3	2,676 47.7	877 15.6	1,255 22.4	97 1.7	191 3.4
性的マイノリティ	184 100.0	57 31.0	7 3.8	5 2.7	39 21.2	62 33.7	76 41.3	5 2.7	6 3.3
性的マイノリティ以外	5,422 100.0	3,426 63.2	85 1.6	13 0.2	2,637 48.6	815 15.0	1,179 21.7	92 1.7	185 3.4
	調査数	祖父・祖母	兄弟姉妹	上記以外の親族	障害者福祉施設等 職員	友人やグループ ムス等の利用者 ホウ	その他	一人暮らし	無回答
全体	5,606 100.0	124 2.2	475 8.5	53 0.9	1 0.0	15 0.3	19 0.3	586 10.5	16 0.3
性的マイノリティ	184 100.0	5 2.7	43 23.4	4 2.2	-	1 0.5	2 1.1	30 16.3	-
性的マイノリティ以外	5,422 100.0	119 2.2	432 8.0	49 0.9	1 0.0	14 0.3	17 0.3	556 10.3	16 0.3

(4) 最終学歴

問4 あなたが最後に通った学校の種類はこの中のどれにあたりますか。
 (あてはまる番号1つに○)

全体では、「大学」が35.0%で最も多く、以下、「高校・専修学校（高等課程）」(28.7%)、「専門・専修学校（高卒後）」(17.2%)となっている。

『性的マイノリティ』では、「大学」が40.2%で最も多く、以下、「高校・専修学校（高等課程）」(27.2%)、「専門・専修学校（高卒後）」(14.7%)となっている。『性的マイノリティ以外』では、全体と同様の結果となっている。



■ 構成表

※上段が件数、下段が割合

	調査数	小・中学校	高校・専修学校 (高等課程)	専門・専修学校 (高卒後)	短大・高専	大学	大学院	特別支援学校	その他	無回答
全体	5,606	136	1,611	967	651	1,963	194	18	22	44
	100.0	2.4	28.7	17.2	11.6	35.0	3.5	0.3	0.4	0.8
性的マイノリティ	184	7	50	27	20	74	4	1	-	1
	100.0	3.8	27.2	14.7	10.9	40.2	2.2	0.5	-	0.5
性的マイノリティ以外	5,422	129	1,561	940	631	1,889	190	17	22	43
	100.0	2.4	28.8	17.3	11.6	34.8	3.5	0.3	0.4	0.8

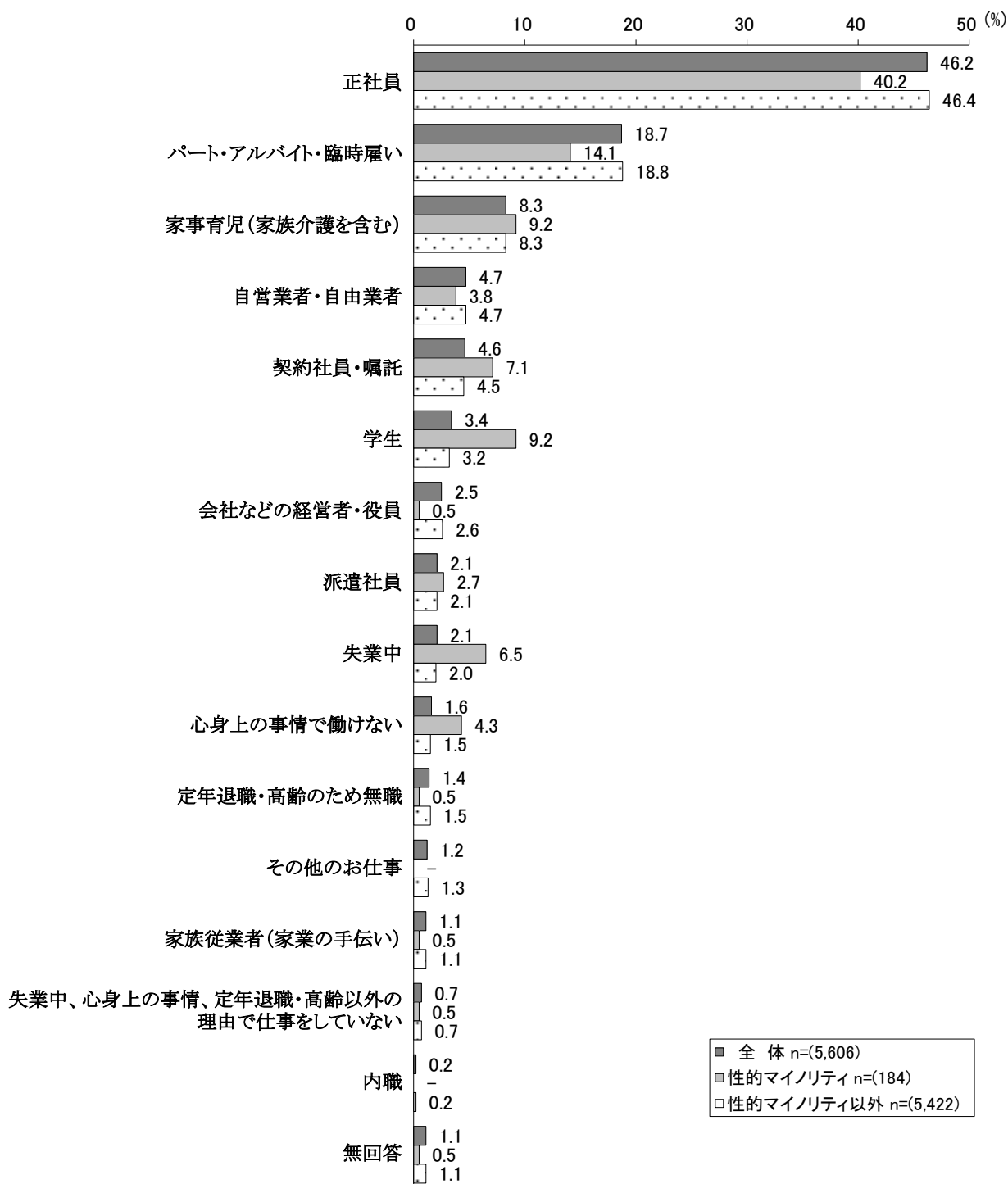
2. 今の仕事や仕事の経験について

(1) 現在の仕事

問5 あなたのお仕事（2つ以上あてはまる場合には主なものは、大きく分けてこの中のどれにあたりますか。（あてはまる番号1つに○）

全体では、「正社員」が46.2%で最も多く、以下、「パート・アルバイト・臨時雇い」（18.7%）、「家事育児（家族介護を含む）」（8.3%）となっている。

『性的マイノリティ』では、「正社員」が40.2%で最も多く、以下、「パート・アルバイト・臨時雇い」（14.1%）、「学生」（9.2%）、「家事育児（家族介護を含む）」（9.2%）となっている。『性的マイノリティ以外』では、全体と同様の結果となっている。



■構成表

※上段が件数、下段が割合

	調査数	正社員	パート・アルバイト・臨時	派遣社員	契約社員・嘱託	会社などの経営者・役員	自営業者・自由業者	家族従業員（家業の手伝い）	内職	その他のお仕事
全 体	5,606	2,592	1,046	120	258	141	261	63	11	68
	100.0	46.2	18.7	2.1	4.6	2.5	4.7	1.1	0.2	1.2
性的マイノリティ	184	74	26	5	13	1	7	1	-	-
	100.0	40.2	14.1	2.7	7.1	0.5	3.8	0.5	-	-
性的マイノリティ以外	5,422	2,518	1,020	115	245	140	254	62	11	68
	100.0	46.4	18.8	2.1	4.5	2.6	4.7	1.1	0.2	1.3
	調査数	学生	家事育児（家族介護を含む）	職定年退職・高齢のため無職	心身上の事情で働けない	失業中	失業中、心身上の事情、理由で仕事をしない	無回答		
全 体	5,606	192	466	80	89	119	40	60		
	100.0	3.4	8.3	1.4	1.6	2.1	0.7	1.1		
性的マイノリティ	184	17	17	1	8	12	1	1		
	100.0	9.2	9.2	0.5	4.3	6.5	0.5	0.5		
性的マイノリティ以外	5,422	175	449	79	81	107	39	59		
	100.0	3.2	8.3	1.5	1.5	2.0	0.7	1.1		

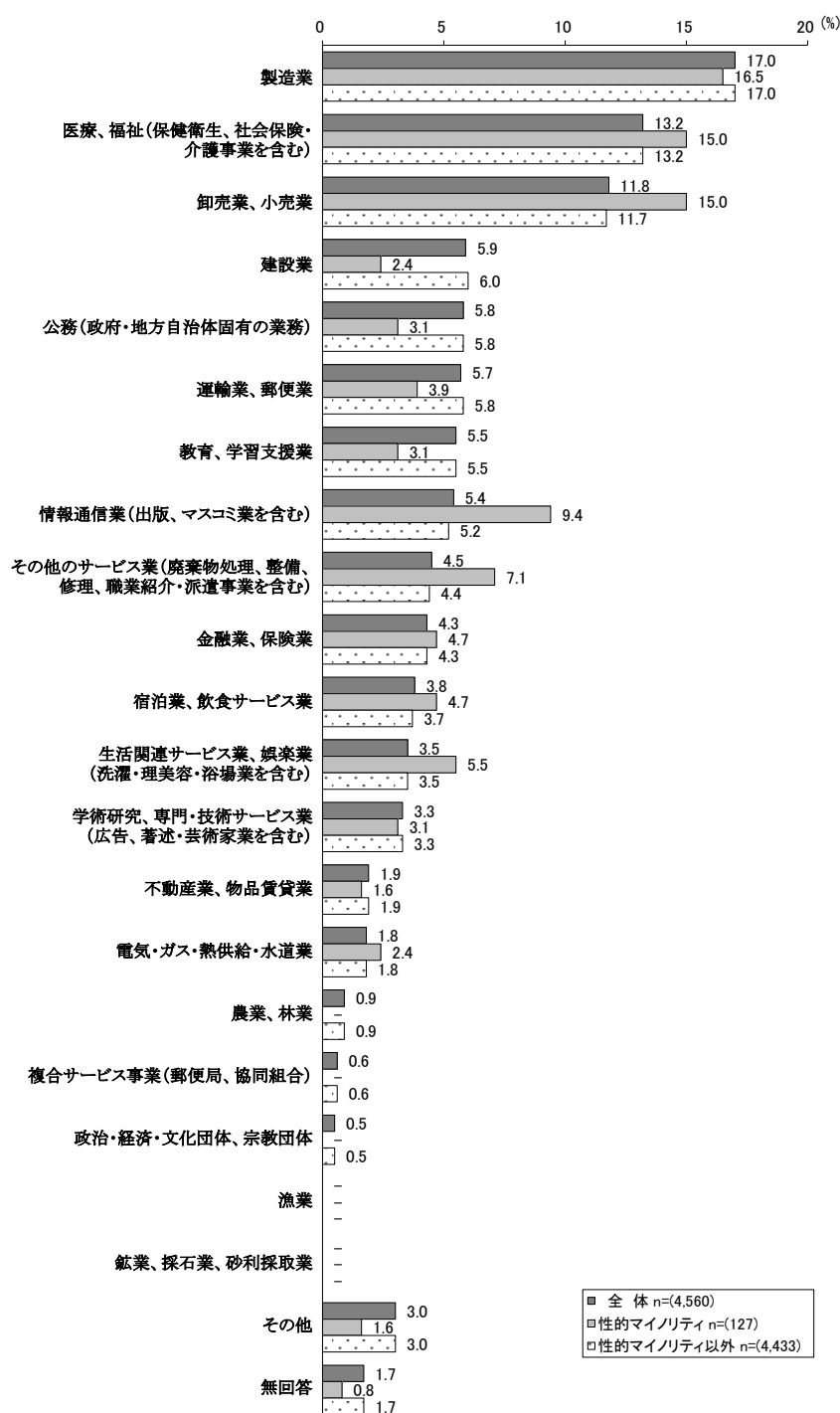
(2) 勤務先の業種

【問5で「正社員」、「パート・アルバイト・臨時雇い」、「派遣社員」、「契約社員・嘱託」、「会社などの経営者・役員」、「自営業者・自由業者」、「家族従業者（家業の手伝い）」、「内職」、「その他のお仕事」と答えた方】

問6 あなたのお勤め先は、どのような事業をしていますか。（あてはまる番号1つに○）

全体では、「製造業」が17.0%で最も多く、以下、「医療、福祉（保健衛生、社会保険・介護事業を含む）」（13.2%）、「卸売業、小売業」（11.8%）となっている。

『性的マイノリティ』では、「製造業」が16.5%で最も多く、以下、「卸売業、小売業」（15.0%）、「医療、福祉（保健衛生、社会保険・介護事業を含む）」（15.0%）、「情報通信業（出版、マスコミ業を含む）」（9.4%）となっている。『性的マイノリティ以外』では、全体と同様の結果となっている。



■構成表

※上段が件数、下段が割合

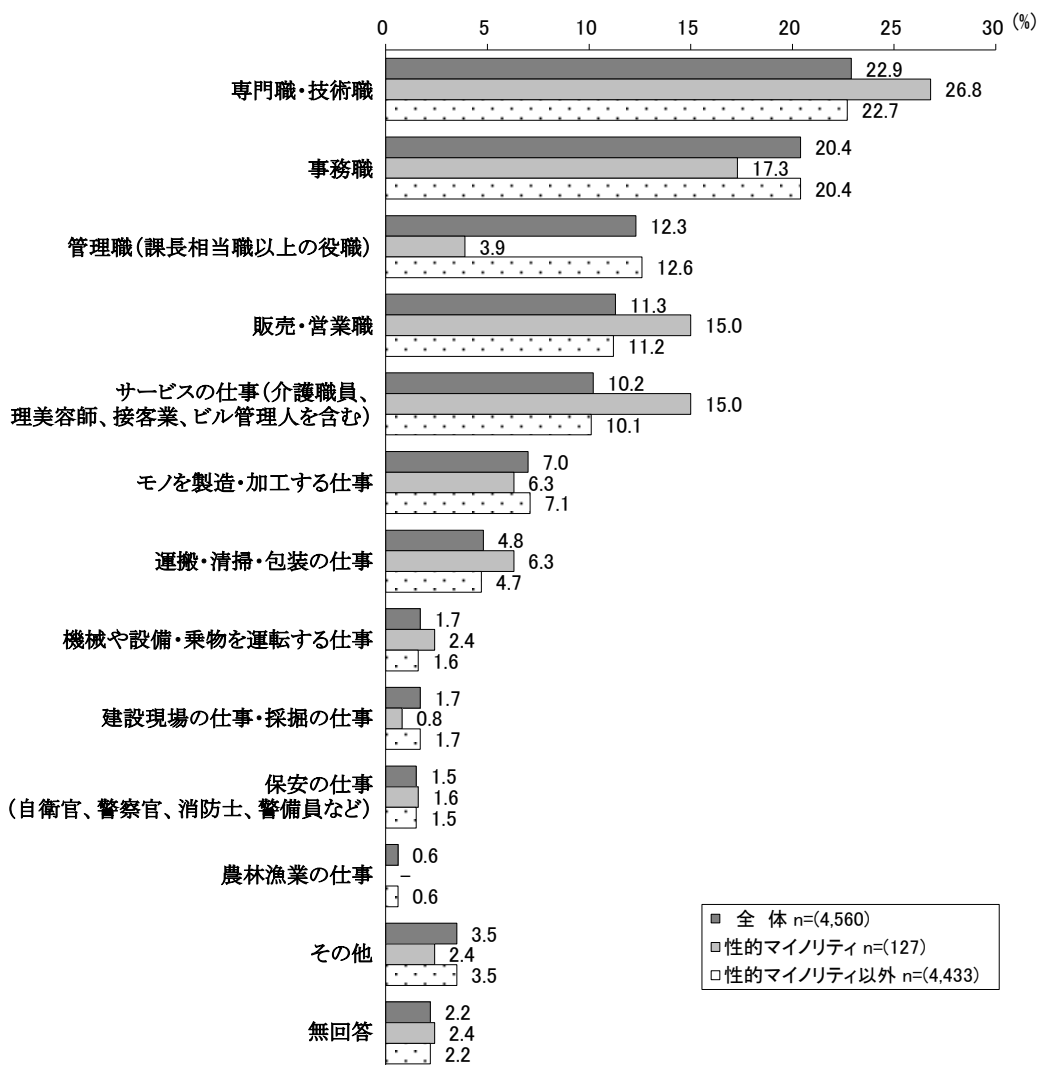
	調査数	農業、 林業	漁業	鉱業、 採石業、 砂利採取	建設業	製造業	電気・ガス・ 熱供給・水 道業	情報通信業（出版、 マス コミ業を含む）	運輸業、 郵便業	卸売業、 小売業	金融業、 保険業	不動産業、 物品賃貸業	
全体	4,560	39	-	2	269	776	81	244	260	538	196	88	
	100.0	0.9	-	0.0	5.9	17.0	1.8	5.4	5.7	11.8	4.3	1.9	
性的マイノリティ	127	-	-	-	3	21	3	12	5	19	6	2	
	100.0	-	-	-	2.4	16.5	2.4	9.4	3.9	15.0	4.7	1.6	
性的マイノリティ以外	4,433	39	-	2	266	755	78	232	255	519	190	86	
	100.0	0.9	-	0.0	6.0	17.0	1.8	5.2	5.8	11.7	4.3	1.9	
	調査数	学術研究、専門・ 技術・ 芸術家業を含む	宿泊業、 飲食サービス業	生活関連サービス業、 娯楽業（洗濯・理美容・浴 場業を含む）	教育、 学習支援業	医療、福祉（保健衛生、 社会保険・介護事業を含む）	複合サービス事業（郵便 局協同組合）	職業紹介・派遣事業を含む	その他のサービス業（廃 棄物処理、整備、修理、 業務紹介）	政治・経済・文化団体、 宗教団体	公務（政府・地方自治体 の業務）	その他	無回答
全体	4,560	152	172	160	250	603	26	206	21	263	137	77	
	100.0	3.3	3.8	3.5	5.5	13.2	0.6	4.5	0.5	5.8	3.0	1.7	
性的マイノリティ	127	4	6	7	4	19	-	9	-	4	2	1	
	100.0	3.1	4.7	5.5	3.1	15.0	-	7.1	-	3.1	1.6	0.8	
性的マイノリティ以外	4,433	148	166	153	246	584	26	197	21	259	135	76	
	100.0	3.3	3.7	3.5	5.5	13.2	0.6	4.4	0.5	5.8	3.0	1.7	

(3) 勤務先の職種

問7 あなたは、お勤め先でどのような仕事をしていますか。(あてはまる番号1つに○)

全体では、「専門職・技術職」が22.9%で最も多く、以下、「事務職」(20.4%)、「管理職(課長相当職以上の役職)」(12.3%)となっている。

『性的マイノリティ』では、「専門職・技術職」が26.8%で最も多く、以下、「事務職」(17.3%)、「販売・営業職」(15.0%)、「サービスの仕事(介護職員、理美容師、接客業、ビル管理人を含む)」(15.0%)となっている。『性的マイノリティ以外』では、全体と同様の結果となっている。



■構成表

※上段が件数、下段が割合

	調査数	管理職(課長相当職以上の役職)	専門職・技術職	事務職	販売・営業職	サービスの仕事(介護職員、理美容師、接客業、ビル管理人を含む)	保安の仕事(自衛官、警察官、消防士、警備員など)	農林漁業の仕事	モノを製造・加工する仕事	機械や設備・乗物を運転する仕事	建設現場の仕事・採掘の仕事	運搬・清掃・包装の仕事	その他	無回答
全体	4,560	563	1,042	928	515	465	67	28	321	76	76	217	160	102
	100.0	12.3	22.9	20.4	11.3	10.2	1.5	0.6	7.0	1.7	1.7	4.8	3.5	2.2
性的マイノリティ	127	5	34	22	19	19	2	-	8	3	1	8	3	3
	100.0	3.9	26.8	17.3	15.0	15.0	1.6	-	6.3	2.4	0.8	6.3	2.4	2.4
性的マイノリティ以外	4,433	558	1,008	906	496	446	65	28	313	73	75	209	157	99
	100.0	12.6	22.7	20.4	11.2	10.1	1.5	0.6	7.1	1.6	1.7	4.7	3.5	2.2

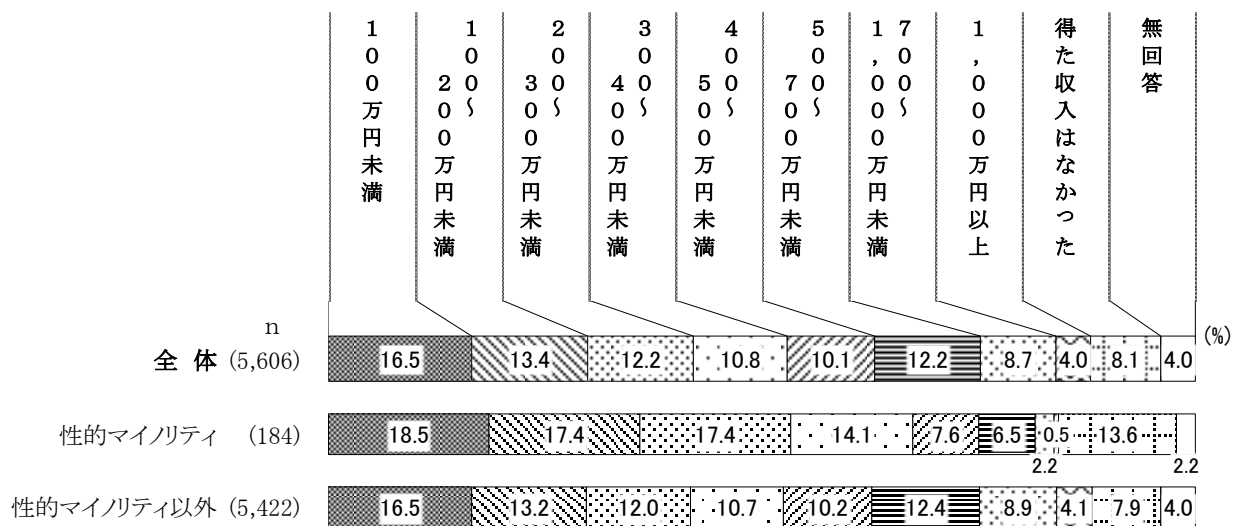
(4) 1年間の個人収入

問8 昨年1年間(2019年)では、あなたご自身はどれくらいの収入(税込)がありましたか。すべての収入(賞与、年金、給付金、家賃収入、配当金、仕送りなどを含む)についてお答えください。(あてはまる番号1つに○)

全体では、「100万円未満」が16.5%で最も多く、以下、「100～200万円未満」(13.4%)、「200～300万円未満」(12.2%)、「500～700万円未満」(12.2%)となっている。

『性的マイノリティ』では、「100万円未満」が18.5%で最も多く、以下、「100～200万円未満」(17.4%)、「200～300万円未満」(17.4%)、「300～400万円未満」(14.1%)となっている。

『性的マイノリティ以外』では、「100万円未満」が16.5%で最も多く、以下、「100～200万円未満」(13.2%)、「500～700万円未満」(12.4%)となっている。



■構成表

※上段が件数、下段が割合

	調査数	100万円未満	100～200万円未満	200～300万円未満	300～400万円未満	400～500万円未満	500～700万円未満	700～1,000万円未満	1,000万円以上	得た収入はなかった	無回答
全体	5,606	926	750	683	608	567	683	489	223	455	222
	100.0	16.5	13.4	12.2	10.8	10.1	12.2	8.7	4.0	8.1	4.0
性的マイノリティ	184	34	32	32	26	14	12	4	1	25	4
	100.0	18.5	17.4	17.4	14.1	7.6	6.5	2.2	0.5	13.6	2.2
性的マイノリティ以外	5,422	892	718	651	582	553	671	485	222	430	218
	100.0	16.5	13.2	12.0	10.7	10.2	12.4	8.9	4.1	7.9	4.0

【参考】

問5（現在の仕事）、問7（勤務先での職種）、問8（1年間の個人収入）について、年代別にみた『性的マイノリティ』と『性的マイノリティ以外』での相違は次のとおりであった。

■問5（現在の仕事） 年代別結果

「正社員」は、10・20歳代、30歳代、40歳代で、『性的マイノリティ以外』が『性的マイノリティ』を上回っている。

「非正規雇用」（パート・アルバイト・臨時雇い、派遣社員、契約社員・嘱託）は、10・20歳代、40歳代、50歳代で『性的マイノリティ』が『性的マイノリティ以外』を上回っている。特に、40歳代は「契約社員・嘱託」が『性的マイノリティ』で多くなっている。

※上段が件数、下段が割合

	調査数	正社員	パート・アルバイト・臨時雇い	派遣社員	契約社員・嘱託	会社などの経営者・役員	自営業者・自由業者	家族従業者（家業の手伝い）	内職	その他のお仕事
全体	5,606	2,592	1,046	120	258	141	261	63	11	68
	100.0	46.2	18.7	2.1	4.6	2.5	4.7	1.1	0.2	1.2
性的マイノリティ×10・20歳代	69	25	9	2	1	-	2	-	-	-
	100.0	36.2	13.0	2.9	1.4	-	2.9	-	-	-
30歳代	40	19	4	-	3	-	-	1	-	-
	100.0	47.5	10.0	-	7.5	-	-	2.5	-	-
40歳代	40	19	6	2	5	-	2	-	-	-
	100.0	47.5	15.0	5.0	12.5	-	5.0	-	-	-
50歳代	26	9	7	-	2	-	3	-	-	-
	100.0	34.6	26.9	-	7.7	-	11.5	-	-	-
60歳代	9	2	-	1	2	1	-	-	-	-
	100.0	22.2	-	11.1	22.2	11.1	-	-	-	-
性的マイノリティ以外×10・20歳代	618	312	56	8	10	-	6	1	1	9
	100.0	50.5	9.1	1.3	1.6	-	1.0	0.2	0.2	1.5
30歳代	1,002	575	142	18	26	6	35	14	2	13
	100.0	57.4	14.2	1.8	2.6	0.6	3.5	1.4	0.2	1.3
40歳代	1,521	798	297	37	44	35	79	19	3	15
	100.0	52.5	19.5	2.4	2.9	2.3	5.2	1.2	0.2	1.0
50歳代	1,536	698	361	36	60	58	91	22	4	15
	100.0	45.4	23.5	2.3	3.9	3.8	5.9	1.4	0.3	1.0
60歳代	725	131	158	16	105	40	40	6	1	15
	100.0	18.1	21.8	2.2	14.5	5.5	5.5	0.8	0.1	2.1
	調査数	学生	家事育児（家族介護を含む）	定年退職・高齢のため無職	心身の事情で働けない	失業中	失業中、心身の事情、高年齢以外で定職をしない	無回答	《非正規雇用》	
全体	5,606	192	466	80	89	119	40	60	1,424	
	100.0	3.4	8.3	1.4	1.6	2.1	0.7	1.1	25.4	
性的マイノリティ×10・20歳代	69	17	6	-	2	5	-	-	12	
	100.0	24.6	8.7	-	2.9	7.2	-	-	17.4	
30歳代	40	-	8	-	1	2	1	1	7	
	100.0	-	20.0	-	2.5	5.0	2.5	2.5	17.5	
40歳代	40	-	1	-	2	3	-	-	13	
	100.0	-	2.5	-	5.0	7.5	-	-	32.5	
50歳代	26	-	-	1	2	2	-	-	9	
	100.0	-	-	3.8	7.7	7.7	-	-	34.6	
60歳代	9	-	2	-	1	-	-	-	3	
	100.0	-	22.2	-	11.1	-	-	-	33.3	
性的マイノリティ以外×10・20歳代	618	170	26	-	5	9	1	4	74	
	100.0	27.5	4.2	-	0.8	1.5	0.2	0.6	12.0	
30歳代	1,002	2	121	-	16	19	5	8	186	
	100.0	0.2	12.1	-	1.6	1.9	0.5	0.8	18.6	
40歳代	1,521	1	130	-	13	29	9	12	378	
	100.0	0.1	8.5	-	0.9	1.9	0.6	0.8	24.9	
50歳代	1,536	2	93	2	30	36	11	17	457	
	100.0	0.1	6.1	0.1	2.0	2.3	0.7	1.1	29.8	
60歳代	725	-	79	76	17	14	13	14	279	
	100.0	-	10.9	10.5	2.3	1.9	1.8	1.9	38.5	

■問7（勤務先での職種） 年代別結果

「管理職」と回答した人の割合は、10・20歳代を除くすべての年代で『性的マイノリティ以外』の方が『性的マイノリティ』より多くなっている。

※上段が件数、下段が割合

	調査数	管理職（課長相当職以上の役職）	専門職・技術職	事務職	販売・営業職	サービス業（美容師、接客業、ピル管理人を含む）	保安の仕事（自衛官、警察官、消防士、警備員など）	農林漁業の仕事	モノを製造・加工する仕事	機械や設備・乗物を運転する仕事	建設現場の仕事・採掘の仕事	運搬・清掃・包装の仕事	その他	無回答
全体	4,560	563	1,042	928	515	465	67	28	321	76	76	217	160	102
	100.0	12.3	22.9	20.4	11.3	10.2	1.5	0.6	7.0	1.7	1.7	4.8	3.5	2.2
性的マイノリティ×10・20歳代	39	1	9	6	8	7	-	-	2	1	1	4	-	-
	100.0	2.6	23.1	15.4	20.5	17.9	-	-	5.1	2.6	2.6	10.3	-	-
30歳代	27	-	8	8	6	4	-	-	1	-	-	-	-	-
	100.0	-	29.6	29.6	22.2	14.8	-	-	3.7	-	-	-	-	-
40歳代	34	2	9	4	2	5	2	-	4	2	-	3	-	1
	100.0	5.9	26.5	11.8	5.9	14.7	5.9	-	11.8	5.9	-	8.8	-	2.9
50歳代	21	2	5	4	2	2	-	-	1	-	-	1	2	2
	100.0	9.5	23.8	19.0	9.5	9.5	-	-	4.8	-	-	4.8	9.5	9.5
60歳代	6	-	3	-	1	1	-	-	-	-	-	-	1	-
	100.0	-	50.0	-	16.7	16.7	-	-	-	-	-	-	16.7	-
性的マイノリティ以外×10・20歳代	403	2	126	85	69	49	6	-	29	5	5	9	13	5
	100.0	0.5	31.3	21.1	17.1	12.2	1.5	-	7.2	1.2	1.2	2.2	3.2	1.2
30歳代	831	44	245	184	118	81	21	3	52	9	14	30	18	12
	100.0	5.3	29.5	22.1	14.2	9.7	2.5	0.4	6.3	1.1	1.7	3.6	2.2	1.4
40歳代	1,327	192	295	303	114	140	18	9	89	16	26	60	36	29
	100.0	14.5	22.2	22.8	8.6	10.6	1.4	0.7	6.7	1.2	2.0	4.5	2.7	2.2
50歳代	1,345	251	245	243	143	126	14	13	99	27	21	78	54	31
	100.0	18.7	18.2	18.1	10.6	9.4	1.0	1.0	7.4	2.0	1.6	5.8	4.0	2.3
60歳代	512	67	94	88	52	47	6	3	43	16	9	32	34	21
	100.0	13.1	18.4	17.2	10.2	9.2	1.2	0.6	8.4	3.1	1.8	6.3	6.6	4.1

■問8（1年間の個人収入） 年代別結果

10・20歳代は『性的マイノリティ』、『性的マイノリティ以外』ともに「100万円未満」が最も多くなっている。30歳代は『性的マイノリティ』で「200～300万円未満」、『性的マイノリティ以外』で「500～700万円未満」、40歳代は『性的マイノリティ』で「300～400万円未満」、『性的マイノリティ以外』で「500～700万円未満」が最も多くなっている。

『性的マイノリティ』で500万円以上の収入があったとの回答が少ない。

※上段が件数、下段が割合

	調査数	100万円未満	100～200万円未満	200～300万円未満	300～400万円未満	400～500万円未満	500～700万円未満	700～1,000万円未満	1,000万円以上	得た収入はなかった	無回答
全体	5,606	926	750	683	608	567	683	489	223	455	222
	100.0	16.5	13.4	12.2	10.8	10.1	12.2	8.7	4.0	8.1	4.0
性的マイノリティ×10・20歳代	69	22	16	12	7	2	-	-	-	9	1
	100.0	31.9	23.2	17.4	10.1	2.9	-	-	-	13.0	1.4
30歳代	40	2	3	11	5	3	4	-	-	9	3
	100.0	5.0	7.5	27.5	12.5	7.5	10.0	-	-	22.5	7.5
40歳代	40	4	6	5	8	7	5	2	-	3	-
	100.0	10.0	15.0	12.5	20.0	17.5	12.5	5.0	-	7.5	-
50歳代	26	4	5	4	4	2	2	2	1	2	-
	100.0	15.4	19.2	15.4	15.4	7.7	7.7	7.7	3.8	7.7	-
60歳代	9	2	2	-	2	-	1	-	-	2	-
	100.0	22.2	22.2	-	22.2	-	11.1	-	-	22.2	-
性的マイノリティ以外×10・20歳代	618	161	74	110	98	60	24	3	-	70	18
	100.0	26.1	12.0	17.8	15.9	9.7	3.9	0.5	-	11.3	2.9
30歳代	1,002	150	96	126	143	132	158	53	18	88	38
	100.0	15.0	9.6	12.6	14.3	13.2	15.8	5.3	1.8	8.8	3.8
40歳代	1,521	209	204	152	148	182	241	172	59	106	48
	100.0	13.7	13.4	10.0	9.7	12.0	15.8	11.3	3.9	7.0	3.2
50歳代	1,536	215	230	156	130	129	192	217	103	96	68
	100.0	14.0	15.0	10.2	8.5	8.4	12.5	14.1	6.7	6.3	4.4
60歳代	725	154	111	106	62	50	54	38	40	69	41
	100.0	21.2	15.3	14.6	8.6	6.9	7.4	5.2	5.5	9.5	5.7

3. 健康や経験について

(1) 長期的な健康上の問題や慢性的な病気

問9 あなたは、長期にわたる健康上の問題や慢性的な病気をかかえていますか。
(あてはまる番号すべてに○)

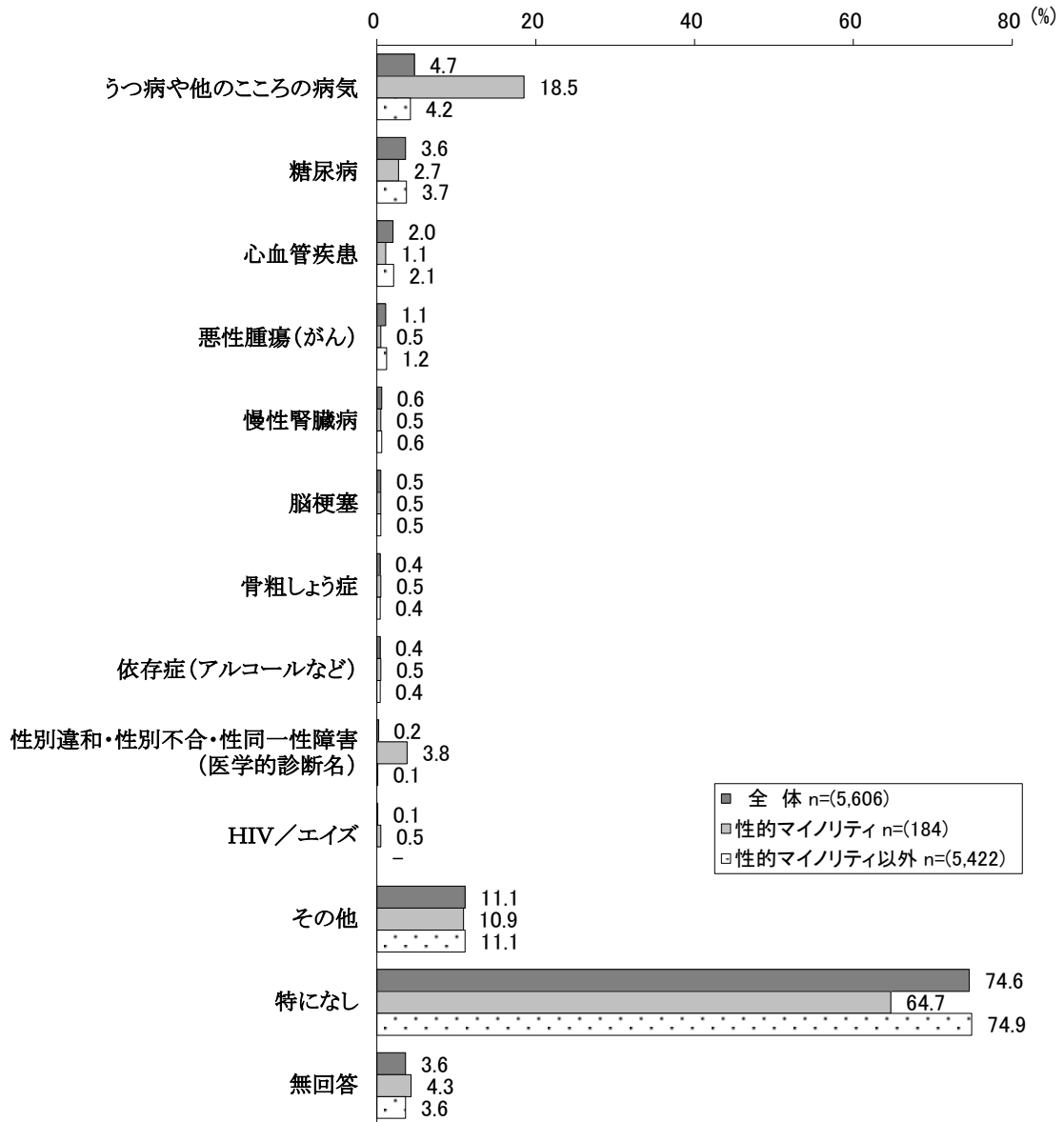
全体では、「特になし」が74.6%で最も多くなっている。かかえている問題や病気については、「うつ病や他のこころの病気」(4.7%)が最も多く、次いで、「糖尿病」(3.6%)となっている。

『性的マイノリティ』では、「特になし」が64.7%で最も多くなっている。かかえている問題や病気については、「うつ病や他のこころの病気」が18.5%で最も多く、次いで、「性別違和・性別不合・性同一性障害(医学的診断名)」(3.8%)となっている。『性的マイノリティ以外』では、全体と同様の結果となっている。

《いずれかの長期的な健康上の問題や慢性的な病気をかかえている》(「心血管疾患」、「慢性腎臓病」、「悪性腫瘍(がん)」、「骨粗しょう症」、「脳梗塞」、「うつ病や他のこころの病気」、「HIV/エイズ」、「依存症(アルコールなど)」、「性別違和・性別不合・性同一性障害(医学的診断名)」、「その他」のいずれか1つでも選択した人)は、全体で21.8%、『性的マイノリティ』で31.0%、『性的マイノリティ以外』で21.5%となっている。

《いずれかの長期的な健康上の問題や慢性的な病気をかかえている人》は、『性的マイノリティ』(31.0%)が『性的マイノリティ以外』(21.5%)より9.5ポイント多くなっている。また、「うつ病や他のこころの病気」は、『性的マイノリティ』(18.5%)が『性的マイノリティ以外』(4.2%)より14.3ポイント多くなっている。

※なお、本調査で『性的マイノリティ』に分類した人の方が『性的マイノリティ以外』に分類した人より、「うつ病や他のこころの病気」と回答した人の割合が高いが、この結果は性的マイノリティであること自体が「うつ病や他のこころの病気」の原因であるといった因果関係を示すものではない。



■ 構成表

※上段が件数、下段が割合

	いずれかの長期的な健康上の問題や慢性的な病気を抱えている														え慢ないて性健ずる病的な上の病気の長期抱え的
	調査数	心血管疾患	慢性腎臓病	悪性腫瘍(がん)	骨粗しょう症	脳梗塞	糖尿病	うつ病や他のこころの病気	HIV/エイズ	依存症(アルコールなど)	合性性別違和・性的診断名)	その他	特になし	無回答	
全体	5,606	114	31	64	21	29	203	262	3	23	10	622	4,180	202	1,224
	100.0	2.0	0.6	1.1	0.4	0.5	3.6	4.7	0.1	0.4	0.2	11.1	74.6	3.6	21.8
性的マイノリティ	184	2	1	1	1	1	5	34	1	1	7	20	119	8	57
	100.0	1.1	0.5	0.5	0.5	0.5	2.7	18.5	0.5	0.5	3.8	10.9	64.7	4.3	31.0
性的マイノリティ以外	5,422	112	30	63	20	28	198	228	2	22	3	602	4,061	194	1,167
	100.0	2.1	0.6	1.2	0.4	0.5	3.7	4.2	0.0	0.4	0.1	11.1	74.9	3.6	21.5

※「いずれかの長期的な健康上の問題や慢性的な病気をかかえている」は、「心血管疾患」、「慢性腎臓病」、「悪性腫瘍(がん)」、「骨粗しょう症」、「脳梗塞」、「うつ病や他のこころの病気」、「HIV/エイズ」、「依存症(アルコールなど)」、「性別違和・性別不合・性同一性障害(医学的診断名)」、「その他」のいずれか1つでも選択した人を指す

(2) 最近1か月間のこころの状況

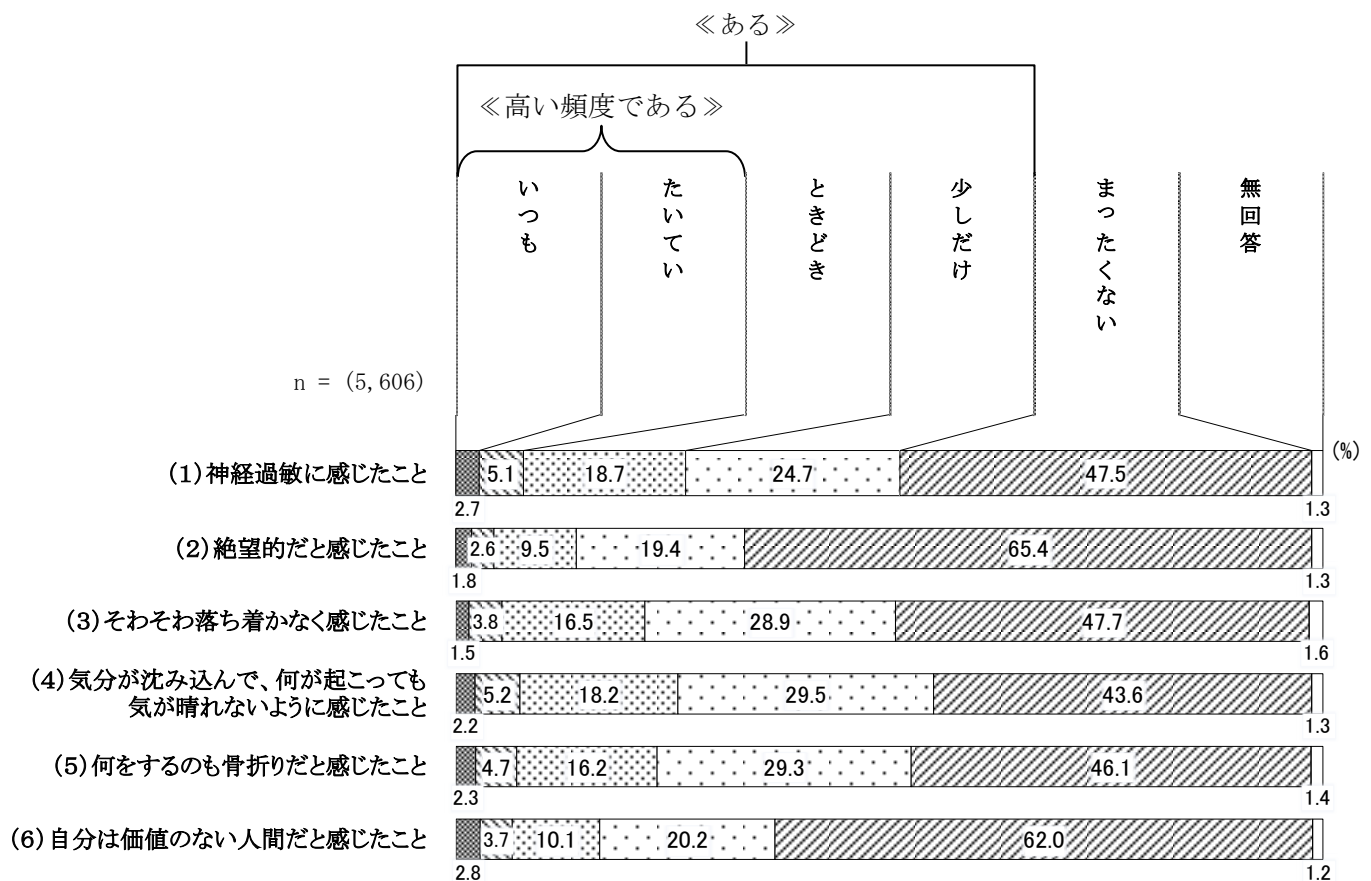
問10 あなたは、最近1か月間に、次のようなことがどれくらいの頻度でありましたか。
 (それぞれの項目について、あてはまる番号1つに○)

全体では、《ある》(「いつも」、「たいてい」、「ときどき」、「少しだけ」の合計)が、『(1) 神経過敏に感じたこと』(51.2%)、『(3) そわそわ落ち着かなく感じたこと』(50.7%)、『(4) 気分が沈み込んで、何が起ころうとも気が晴れないように感じたこと』(55.1%)、『(5) 何をすることも骨折りだと感じたこと』(52.5%)で過半数を占めており、『(4) 気分が沈み込んで、何が起ころうとも気が晴れないように感じたこと』(55.1%)で最も多くなっている。《ある》の内訳をみると、「少しだけ」がすべての項目で最も多くなっている。

また、《高い頻度である》(「いつも」、「たいてい」の合計)が、『(1) 神経過敏に感じたこと』(7.8%)で最も多くなっているが、すべての項目で1割未満となっている。

一方で、「まったくない」がすべての項目で最も多く、『(2) 絶望的だと感じたこと』(65.4%)と『(6) 自分は価値のない人間だと感じたこと』(62.0%)で6割以上を占めている。

■全体



■性的マイノリティ・性的マイノリティ以外の結果

※《ある》は、「いつも」、「たいてい」、「ときどき」、「少しだけ」の合計を指す

※《高い頻度である》は、「いつも」、「たいてい」の合計を指す

(1) 神経過敏に感じたこと

《ある》が、『性的マイノリティ』で71.7%、『性的マイノリティ以外』で50.5%となっており、『性的マイノリティ』が『性的マイノリティ以外』より21.2ポイント多くなっている。

《ある》の内訳をみると、『性的マイノリティ』で「ときどき」(27.2%)が最も多くなっている。

《高い頻度である》は、『性的マイノリティ』で19.0%、『性的マイノリティ以外』で7.4%となっている。

	調査数	《ある》				まったく ない	無 回 答	※上段が件数、下段が割合	
		《高い頻度である》		とき ど き	少 し だ け			《ある》	《高 い 頻 度 で あ る》
		い つ も	た い て い						
全 体	5,606 100.0	150 2.7	288 5.1	1,046 18.7	1,387 24.7	2,664 47.5	71 1.3	2,871 51.2	438 7.8
性的マイノリティ	184 100.0	16 8.7	19 10.3	50 27.2	47 25.5	52 28.3	-	132 71.7	35 19.0
性的マイノリティ以外	5,422 100.0	134 2.5	269 5.0	996 18.4	1,340 24.7	2,612 48.2	71 1.3	2,739 50.5	403 7.4

(2) 絶望的だと感じたこと

《ある》は、『性的マイノリティ』で59.8%、『性的マイノリティ以外』で32.4%となっており、『性的マイノリティ』が『性的マイノリティ以外』より27.4ポイント多くなっている。

《ある》の内訳をみると、『性的マイノリティ』で「少しだけ」が22.8%で最も多くなっている。

《高い頻度である》は、『性的マイノリティ』で15.8%、『性的マイノリティ以外』で4.1%となっている。

	調査数	《ある》				まったく ない	無 回 答	※上段が件数、下段が割合	
		《高い頻度である》		とき ど き	少 し だ け			《ある》	《高 い 頻 度 で あ る》
		い つ も	た い て い						
全 体	5,606 100.0	101 1.8	148 2.6	531 9.5	1,086 19.4	3,668 65.4	72 1.3	1,866 33.3	249 4.4
性的マイノリティ	184 100.0	8 4.3	21 11.4	39 21.2	42 22.8	73 39.7	1 0.5	110 59.8	29 15.8
性的マイノリティ以外	5,422 100.0	93 1.7	127 2.3	492 9.1	1,044 19.3	3,595 66.3	71 1.3	1,756 32.4	220 4.1

(3) そわそわ落ち着かなく感じたこと

《ある》は、『性的マイノリティ』で75.0%、『性的マイノリティ以外』で49.9%となっており、『性的マイノリティ』が『性的マイノリティ以外』より25.1ポイント多くなっている。

《ある》の内訳をみると、『性的マイノリティ』で「少しだけ」(31.0%)が最も多くなっている。

《高い頻度である》は、『性的マイノリティ』で20.1%、『性的マイノリティ以外』で4.8%となっている。

	調査数	《ある》				まったく ない	無 回 答	《ある》	《高 い 頻 度 で あ る》
		《高い頻度である》		ときどき	少しだけ				
		いつも	たいてい						
全 体	5,606	85	211	923	1,622	2,676	89	2,841	296
	100.0	1.5	3.8	16.5	28.9	47.7	1.6	50.7	5.3
性的マイノリティ	184	11	26	44	57	46	-	138	37
	100.0	6.0	14.1	23.9	31.0	25.0	-	75.0	20.1
性的マイノリティ以外	5,422	74	185	879	1,565	2,630	89	2,703	259
	100.0	1.4	3.4	16.2	28.9	48.5	1.6	49.9	4.8

※上段が件数、下段が割合

(4) 気分が沈み込んで、何が起ころうとも気が晴れないように感じたこと

《ある》は、『性的マイノリティ』で73.9%、『性的マイノリティ以外』で54.4%となっており、『性的マイノリティ』が『性的マイノリティ以外』より19.5ポイント多くなっている。

《ある》の内訳をみると、『性的マイノリティ』で「少しだけ」(26.1%)が最も多くなっている。

《高い頻度である》は、『性的マイノリティ』で27.2%、『性的マイノリティ以外』で6.8%となっている。

	調査数	《ある》				まったく ない	無 回 答	《ある》	《高 い 頻 度 で あ る》
		《高い頻度である》		ときどき	少しだけ				
		いつも	たいてい						
全 体	5,606	125	293	1,018	1,651	2,447	72	3,087	418
	100.0	2.2	5.2	18.2	29.5	43.6	1.3	55.1	7.5
性的マイノリティ	184	15	35	38	48	47	1	136	50
	100.0	8.2	19.0	20.7	26.1	25.5	0.5	73.9	27.2
性的マイノリティ以外	5,422	110	258	980	1,603	2,400	71	2,951	368
	100.0	2.0	4.8	18.1	29.6	44.3	1.3	54.4	6.8

※上段が件数、下段が割合

(5) 何をするのも骨折りだと感じたこと

《ある》は、『性的マイノリティ』で68.5%、『性的マイノリティ以外』で52.0%となっており、『性的マイノリティ』が『性的マイノリティ以外』より16.5ポイント多くなっている。

《ある》の内訳をみると、『性的マイノリティ』で「少しだけ」が25.5%で最も多くなっている。

《高い頻度である》は、『性的マイノリティ』で22.8%、『性的マイノリティ以外』で6.5%となっている。

	調査数	《ある》				まったく ない	無 回 答	《ある》	《高 い 頻 度 で あ る》
		《高い頻度である》		ときどき	少しだけ				
		いつも	たいてい						
全 体	5,606	128	265	908	1,644	2,584	77	2,945	393
	100.0	2.3	4.7	16.2	29.3	46.1	1.4	52.5	7.0
性的マイノリティ	184	16	26	37	47	57	1	126	42
	100.0	8.7	14.1	20.1	25.5	31.0	0.5	68.5	22.8
性的マイノリティ以外	5,422	112	239	871	1,597	2,527	76	2,819	351
	100.0	2.1	4.4	16.1	29.5	46.6	1.4	52.0	6.5

※上段が件数、下段が割合

(6) 自分は価値のない人間だと感じたこと

《ある》は、『性的マイノリティ』で60.9%、『性的マイノリティ以外』で36.0%となっており、『性的マイノリティ』が『性的マイノリティ以外』より24.9ポイント多くなっている。

《ある》の内訳をみると、『性的マイノリティ』の「少しだけ」(20.7%)が最も多くなっている。

《高い頻度である》は、『性的マイノリティ』で23.9%、『性的マイノリティ以外』で5.9%となっている。

	調査数	《ある》				まったく ない	無 回 答	《ある》	《高 い 頻 度 で あ る》
		《高い頻度である》		ときどき	少しだけ				
		いつも	たいてい						
全 体	5,606	157	205	569	1,134	3,476	65	2,065	362
	100.0	2.8	3.7	10.1	20.2	62.0	1.2	36.8	6.5
性的マイノリティ	184	23	21	30	38	71	1	112	44
	100.0	12.5	11.4	16.3	20.7	38.6	0.5	60.9	23.9
性的マイノリティ以外	5,422	134	184	539	1,096	3,405	64	1,953	318
	100.0	2.5	3.4	9.9	20.2	62.8	1.2	36.0	5.9

※上段が件数、下段が割合

(3) 精神的に追い込まれた経験

問11 あなたは、次のような経験はありましたか。
 (それぞれの項目について、あてはまる時期すべてに○)

全体では、すべての項目で「経験していない」が最も多く、『(7) 自殺を図った』(95.9%)、『(6) 遺書を書くなどの自殺の準備をした』(95.2%)で9割以上を占めている。経験がある時期についてみると、すべての項目で「19歳以降現在まで」が最も多くなっている。

《経験がある》(「小学校1～3年生の頃」、「小学校4～6年生の頃」、「中学校の頃」、「高等学校・16～18歳頃」、「19歳以降現在まで」のいずれか1つでも選択した人)が、『(3) 死ねたらと思った、または自死の可能性を考えた』(28.1%)で最も多く、以下、『(2) 生きる価値がないと感じた』(23.9%)、『(1) 家にひきこもった、またはそれに近い状態になった』(14.8%)となっている。

■全体

	《経験がある》					経験していない	無回答	《経験がある》 (%)
	1～3 小学校 年生の 頃	4～6 小学校 年生の 頃	中学校 の頃	16～18 高等学 校・ 歳頃	19歳以 降 現在ま で			
n = 5,606								
(1) 家にひきこもった、またはそれに近い状態になった	1.1	1.8	3.4	2.5	8.8	84.1	1.2	14.8
(2) 生きる価値がないと感じた	1.3	3.2	6.7	5.8	15.7	74.5	1.6	23.9
(3) 死ねたらと思った、または自死の可能性を考えた	1.1	4.0	7.7	5.9	18.8	70.5	1.4	28.1
(4) 自殺をほのめかす行動をとった	0.3	1.1	2.4	1.9	5.3	89.5	1.4	9.1
(5) 手段など具体的に自殺について考えた	0.4	1.6	3.5	2.9	9.2	84.7	1.5	13.8
(6) 遺書を書くなどの自殺の準備をした	0.2	0.3	0.8	0.6	2.0	95.2	1.6	3.2
(7) 自殺を図った	0.1	0.2	0.6	0.4	1.6	95.9	1.6	2.5

■性的マイノリティ・性的マイノリティ以外の結果

※《経験がある》は、「小学校1～3年生の頃」、「小学校4～6年生の頃」、「中学校の頃」、「高等学校・16～18歳頃」、「19歳以降現在まで」のいずれか1つでも選択した人を指す

(1) 家にひきこもった、またはそれに近い状態になった

《経験がある》は、『性的マイノリティ』で44.0%、『性的マイノリティ以外』で13.8%となっており、『性的マイノリティ』が『性的マイノリティ以外』より30.2ポイント多くなっている。

《経験がある》の内訳をみると、『性的マイノリティ』で「19歳以降現在まで」が26.1%で最も多くなっている。

	調査数	《経験がある》					※上段が件数、下段が割合		
		1 ～ 3 小 学 生 校 の 頃	4 ～ 6 小 学 生 校 の 頃	中 学 校 の 頃	1 6 ～ 1 8 高 等 学 校 ・ 歳 頃	1 9 歳 以 降 現 在 ま で	経験 して い な い	無 回 答	《 経 験 が あ る 》
全 体	5,606	59	100	191	139	493	4,712	67	827
	100.0	1.1	1.8	3.4	2.5	8.8	84.1	1.2	14.8
性的マイノリティ	184	7	16	24	20	48	100	3	81
	100.0	3.8	8.7	13.0	10.9	26.1	54.3	1.6	44.0
性的マイノリティ以外	5,422	52	84	167	119	445	4,612	64	746
	100.0	1.0	1.5	3.1	2.2	8.2	85.1	1.2	13.8

(2) 生きる価値がないと感じた

《経験がある》は、『性的マイノリティ』で60.3%、『性的マイノリティ以外』で22.7%となっており、『性的マイノリティ』が『性的マイノリティ以外』より37.6ポイント多くなっている。

《経験がある》の内訳をみると、『性的マイノリティ』で「19歳以降現在まで」が38.0%で最も多くなっている。

	調査数	《経験がある》					※上段が件数、下段が割合		
		1 ～ 3 小 学 生 校 の 頃	4 ～ 6 小 学 生 校 の 頃	中 学 校 の 頃	1 6 ～ 1 8 高 等 学 校 ・ 歳 頃	1 9 歳 以 降 現 在 ま で	経験 して い な い	無 回 答	《 経 験 が あ る 》
全 体	5,606	72	182	376	323	882	4,174	90	1,342
	100.0	1.3	3.2	6.7	5.8	15.7	74.5	1.6	23.9
性的マイノリティ	184	13	22	41	55	70	71	2	111
	100.0	7.1	12.0	22.3	29.9	38.0	38.6	1.1	60.3
性的マイノリティ以外	5,422	59	160	335	268	812	4,103	88	1,231
	100.0	1.1	3.0	6.2	4.9	15.0	75.7	1.6	22.7

(3) 死ねたらと思った、または自死の可能性を考えた

《経験がある》は、『性的マイノリティ』で 65.8%、『性的マイノリティ以外』で 26.8%となっており、『性的マイノリティ』が『性的マイノリティ以外』より 39.0 ポイント多くなっている。

《経験がある》の内訳をみると、『性的マイノリティ』で「19歳以降現在まで」が 44.0%で最も多くなっている。

	調査数	《経験がある》					※上段が件数、下段が割合		
		1 ～ 3 小 学 生 校 の 頃	4 ～ 6 小 学 生 校 の 頃	中 学 校 の 頃	1 6 ～ 1 8 高 等 学 校 ・ 頃	1 9 歳 以 降 現 在 ま で	経 験 し て い な い	無 回 答	《 経 験 が あ る 》
全 体	5,606	64	224	431	333	1,054	3,955	77	1,574
	100.0	1.1	4.0	7.7	5.9	18.8	70.5	1.4	28.1
性的マイノリティ	184	13	23	47	50	81	61	2	121
	100.0	7.1	12.5	25.5	27.2	44.0	33.2	1.1	65.8
性的マイノリティ以外	5,422	51	201	384	283	973	3,894	75	1,453
	100.0	0.9	3.7	7.1	5.2	17.9	71.8	1.4	26.8

(4) 自殺をほのめかす行動をとった

《経験がある》は、『性的マイノリティ』で 34.8%、『性的マイノリティ以外』で 8.2%となっており、『性的マイノリティ』が『性的マイノリティ以外』より 26.6 ポイント多くなっている。

《経験がある》の内訳をみると、『性的マイノリティ』で「19歳以降現在まで」が 22.3%で最も多くなっている。

	調査数	《経験がある》					※上段が件数、下段が割合		
		1 ～ 3 小 学 生 校 の 頃	4 ～ 6 小 学 生 校 の 頃	中 学 校 の 頃	1 6 ～ 1 8 高 等 学 校 ・ 頃	1 9 歳 以 降 現 在 ま で	経 験 し て い な い	無 回 答	《 経 験 が あ る 》
全 体	5,606	18	61	135	106	299	5,015	81	510
	100.0	0.3	1.1	2.4	1.9	5.3	89.5	1.4	9.1
性的マイノリティ	184	5	10	18	22	41	119	1	64
	100.0	2.7	5.4	9.8	12.0	22.3	64.7	0.5	34.8
性的マイノリティ以外	5,422	13	51	117	84	258	4,896	80	446
	100.0	0.2	0.9	2.2	1.5	4.8	90.3	1.5	8.2

(5) 手段など具体的に自殺について考えた

《経験がある》は、『性的マイノリティ』で 42.9%、『性的マイノリティ以外』で 12.8%となっており、『性的マイノリティ』が『性的マイノリティ以外』より 30.1 ポイント多くなっている。

《経験がある》の内訳をみると、『性的マイノリティ』で「19歳以降現在まで」が 28.8%で最も多くなっている。

	調査数	《経験がある》					経験していない	無回答	《経験がある》
		1～3 小学生の頃	4～6 小学生の頃	中学校の頃	16～18 高等学校・高校の頃	19歳以降現在まで			
全体	5,606	25	90	196	164	518	4,750	82	774
	100.0	0.4	1.6	3.5	2.9	9.2	84.7	1.5	13.8
性的マイノリティ	184	7	17	24	35	53	102	3	79
	100.0	3.8	9.2	13.0	19.0	28.8	55.4	1.6	42.9
性的マイノリティ以外	5,422	18	73	172	129	465	4,648	79	695
	100.0	0.3	1.3	3.2	2.4	8.6	85.7	1.5	12.8

※上段が件数、下段が割合

(6) 遺書を書くなどの自殺の準備をした

《経験がある》は、『性的マイノリティ』で 16.3%、『性的マイノリティ以外』で 2.8%となっており、『性的マイノリティ』が『性的マイノリティ以外』より 13.5 ポイント多くなっている。

《経験がある》の内訳をみると、『性的マイノリティ』で「19歳以降現在まで」が 8.2%と最も多くなっている。

	調査数	《経験がある》					経験していない	無回答	《経験がある》
		1～3 小学生の頃	4～6 小学生の頃	中学校の頃	16～18 高等学校・高校の頃	19歳以降現在まで			
全体	5,606	11	18	44	36	113	5,338	87	181
	100.0	0.2	0.3	0.8	0.6	2.0	95.2	1.6	3.2
性的マイノリティ	184	4	4	9	13	15	151	3	30
	100.0	2.2	2.2	4.9	7.1	8.2	82.1	1.6	16.3
性的マイノリティ以外	5,422	7	14	35	23	98	5,187	84	151
	100.0	0.1	0.3	0.6	0.4	1.8	95.7	1.5	2.8

※上段が件数、下段が割合

(7) 自殺を図った

《経験がある》は、『性的マイノリティ』で12.5%、『性的マイノリティ以外』で2.1%となっており、『性的マイノリティ』が『性的マイノリティ以外』より10.4ポイント多くなっている。

《経験がある》の内訳をみると、『性的マイノリティ』で「19歳以降現在まで」が6.0%と最も多くなっている。

	《経験がある》						※上段が件数、下段が割合		
	調査数	1 ～ 3 小 学 生 校 の 頃	4 ～ 6 小 学 生 校 の 頃	中 学 校 の 頃	1 6 ～ 1 8 高 等 学 校 ・ 歳 頃	1 9 歳 以 降 現 在 ま で	経 験 し て い な い	無 回 答	《 経 験 が あ る 》
全 体	5,606	8	14	31	25	87	5,375	92	139
	100.0	0.1	0.2	0.6	0.4	1.6	95.9	1.6	2.5
性的マイノリティ	184	2	4	8	4	11	158	3	23
	100.0	1.1	2.2	4.3	2.2	6.0	85.9	1.6	12.5
性的マイノリティ以外	5,422	6	10	23	21	76	5,217	89	116
	100.0	0.1	0.2	0.4	0.4	1.4	96.2	1.6	2.1

(4) ハラスメント被害の経験

問12 あなたは、次のようなことはありましたか。
 (それぞれの項目について、あてはまる時期すべてに○)

全体では、すべての項目で「経験していない」が最も多く、『(3) (1)～(2)以外のハラスメントを受けること』(67.4%)、『(2) 暴力(言葉の暴力やいじめを含む)を受けること』(61.3%)で過半数を占めている。

《経験がある》(「小学校1～3年生の頃」、「小学校4～6年生の頃」、「中学校の頃」、「高等学校・16～18歳頃」、「19歳以降現在まで」のいずれか1つでも選択した人)が、『(1) 不快な冗談、からかいを受けること』(54.9%)で最も多く、以下、『(2) 暴力(言葉の暴力やいじめを含む)を受けること』(37.0%)、『(3) (1)～(2)以外のハラスメントを受けること』(28.8%)となっている。

《経験がある》の内訳をみると、『(1) 不快な冗談、からかいを受けること』で「小学校4～6年生の頃」(28.0%)、『(2) 暴力(言葉の暴力やいじめを含む)を受けること』で「中学校の頃」(17.5%)、『(3) (1)～(2)以外のハラスメントを受けること』で「19歳以降現在まで」(21.2%)が最も多くなっている。

■全体

	《経験がある》					経験していない	無回答	《経験がある》 (%)
	1～3 小学校 の頃	4～6 小学校 の頃	中 学 校 の 頃	16高 等 学 校 ・ 18歳 頃	現19 在歳 以 降 ま で			
n = 5,606								
(1) 不快な冗談、からかいを受けること	15.6	28.0	25.7	10.6	12.1	43.4	1.6	54.9
(2) 暴力(言葉の暴力やいじめを含む)を受けること	7.8	15.0	17.5	7.0	11.0	61.3	1.8	37.0
(3) (1)～(2)以外のハラスメント※を受けること	2.7	4.7	6.2	4.1	21.2	67.4	3.8	28.8

※ハラスメント…行為者本人の意図にかかわらず不当に相手に不快感や不利益を与え、その尊厳を傷つけること

■性的マイノリティ・性的マイノリティ以外の結果

※《経験がある》は、「小学校1～3年生の頃」、「小学校4～6年生の頃」、「中学校の頃」、「高等学校・16～18歳頃」、「19歳以降現在まで」のいずれか1つでも選択した人を指す

(1) 不快な冗談、からかいを受けること

《経験がある》は、『性的マイノリティ』で82.1%、『性的マイノリティ以外』で54.0%となっており、『性的マイノリティ』が『性的マイノリティ以外』より28.1ポイント多くなっている。

《経験がある》の内訳をみると、『性的マイノリティ』で「中学校の頃」(53.8%)が最も多くなっている。

	調査数	《経験がある》					経験していない	無回答	《経験がある》
		1～3 小学生 の頃	4～6 小学生 の頃	中 学 校 の 頃	1 6 ～ 1 8 高 等 学 校 ・ 歳 頃	1 9 歳 以 降 現 在 ま で			
全 体	5,606	874	1,572	1,442	597	676	2,435	92	3,079
	100.0	15.6	28.0	25.7	10.6	12.1	43.4	1.6	54.9
性的マイノリティ	184	61	95	99	56	47	27	6	151
	100.0	33.2	51.6	53.8	30.4	25.5	14.7	3.3	82.1
性的マイノリティ以外	5,422	813	1,477	1,343	541	629	2,408	86	2,928
	100.0	15.0	27.2	24.8	10.0	11.6	44.4	1.6	54.0

(2) 暴力(言葉の暴力やいじめを含む)を受けること

《経験がある》は、『性的マイノリティ』で58.2%、『性的マイノリティ以外』で36.2%となっており、『性的マイノリティ』が『性的マイノリティ以外』より22.0ポイント多くなっている。

《経験がある》の内訳をみると、『性的マイノリティ』で「中学校の頃」(37.5%)が最も多くなっている。

	調査数	《経験がある》					経験していない	無回答	《経験がある》
		1～3 小学生 の頃	4～6 小学生 の頃	中 学 校 の 頃	1 6 ～ 1 8 高 等 学 校 ・ 歳 頃	1 9 歳 以 降 現 在 ま で			
全 体	5,606	436	841	979	395	618	3,434	100	2,072
	100.0	7.8	15.0	17.5	7.0	11.0	61.3	1.8	37.0
性的マイノリティ	184	44	57	69	29	32	70	7	107
	100.0	23.9	31.0	37.5	15.8	17.4	38.0	3.8	58.2
性的マイノリティ以外	5,422	392	784	910	366	586	3,364	93	1,965
	100.0	7.2	14.5	16.8	6.8	10.8	62.0	1.7	36.2

(3) (1) ~ (2) 以外のハラスメントを受けること

《経験がある》は、『性的マイノリティ』で52.7%、『性的マイノリティ以外』で28.0%となっており、『性的マイノリティ』が『性的マイノリティ以外』より24.7ポイント多くなっている。

《経験がある》の内訳をみると、『性的マイノリティ』で「19歳以降現在まで」(37.0%)が最も多くなっている。

	調査数	《経験がある》					※上段が件数、下段が割合		
		1 ～ 3 小学 生校 の頃	4 ～ 6 小学 生校 の頃	中 学 校 の 頃	1 6 ～ 1 8 高 等 学 校 ・ 頃	1 9 歳 以 降 現 在 ま で	経 験 し て い な い	無 回 答	《 経 験 が あ る 》
全 体	5,606	153	261	348	232	1,188	3,780	213	1,613
	100.0	2.7	4.7	6.2	4.1	21.2	67.4	3.8	28.8
性的マイノリティ	184	22	29	35	33	68	77	10	97
	100.0	12.0	15.8	19.0	17.9	37.0	41.8	5.4	52.7
性的マイノリティ以 外	5,422	131	232	313	199	1,120	3,703	203	1,516
	100.0	2.4	4.3	5.8	3.7	20.7	68.3	3.7	28.0

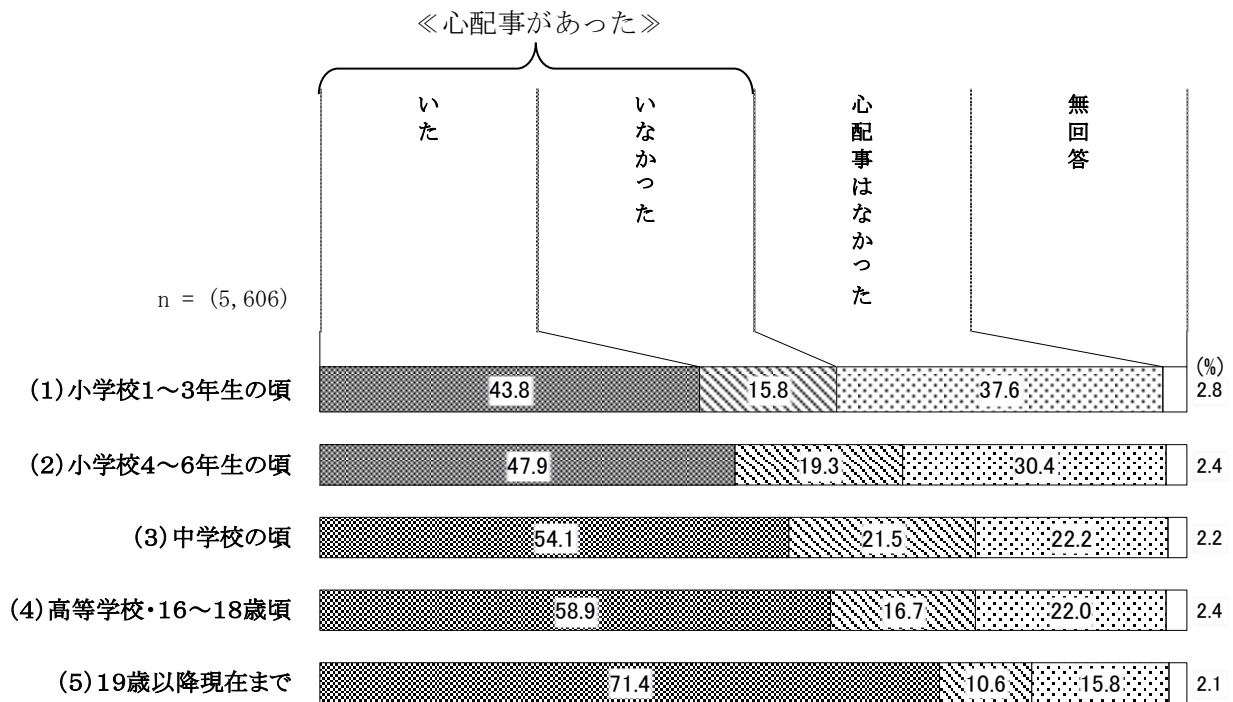
(5) 心配事を聴いてくれる人の有無

問13 あなたには、心配事を聴いてくれる人はいましたか。
 (それぞれの時期について、あてはまる番号1つに○)

全体では、「いた」が『(5) 19歳以降現在まで』で71.4%と最も多く、『(4) 高等学校・16～18歳頃』(58.9%)、『(3) 中学校の頃』(54.1%)でも過半数を占めている。「いなかった」は、『(3) 中学校の頃』(21.5%)、『(2) 小学校4～6年生の頃』(19.3%)で約2割と比較的多くなっている。「心配事はなかった」は、『(1) 小学校1～3年生の頃』(37.6%)、『(2) 小学校4～6年生の頃』(30.4%)で3割以上を占めている。

《心配事があった》(「いた」、「いなかった」の合計)は、すべての項目で過半数を占めており、『(5) 19歳以降現在まで』(82.1%)で8割以上となっている。

■全体



■性的マイノリティ・性的マイノリティ以外の結果

※《心配事があった》は、「いた」、「いなかった」の合計を指す

(1) 小学校1～3年生の頃

《心配事があった》は、『性的マイノリティ』で69.0%、『性的マイノリティ以外』で59.3%となっており、『性的マイノリティ』が『性的マイノリティ以外』より9.7ポイント多くなっている。

《心配事があった》の内訳をみると、『性的マイノリティ』で「いた」と「いなかった」が同程度となっている。

	調査数	《心配事があった》		心配事はなかった	無回答	《心配事があった》
		いた	いなかった			
全 体	5,606	2,453	888	2,107	158	3,341
	100.0	43.8	15.8	37.6	2.8	59.6
性的マイノリティ	184	63	64	45	12	127
	100.0	34.2	34.8	24.5	6.5	69.0
性的マイノリティ以外	5,422	2,390	824	2,062	146	3,214
	100.0	44.1	15.2	38.0	2.7	59.3

※上段が件数、下段が割合

(2) 小学校4～6年生の頃

《心配事があった》は、『性的マイノリティ』で81.5%、『性的マイノリティ以外』で66.7%となっており、『性的マイノリティ』が『性的マイノリティ以外』より14.8ポイント多くなっている。

《心配事があった》の内訳をみると、『性的マイノリティ』で「いなかった」(43.5%)が最も多くなっている。

	調査数	《心配事があった》		心配事はなかった	無回答	《心配事があった》
		いた	いなかった			
全 体	5,606	2,686	1,081	1,706	133	3,767
	100.0	47.9	19.3	30.4	2.4	67.2
性的マイノリティ	184	70	80	22	12	150
	100.0	38.0	43.5	12.0	6.5	81.5
性的マイノリティ以外	5,422	2,616	1,001	1,684	121	3,617
	100.0	48.2	18.5	31.1	2.2	66.7

※上段が件数、下段が割合

(3) 中学校の頃

《心配事があった》は、『性的マイノリティ』で 88.0%、『性的マイノリティ以外』で 75.1%となっており、『性的マイノリティ』が『性的マイノリティ以外』より 12.9 ポイント多くなっている。

《心配事があった》の内訳をみると、『性的マイノリティ』で「いた」と「いなかった」が同程度となっている。

	調査数	《心配事があった》		心配事はなかった	無回答	《心配事があった》
		いた	いなかった			
全体	5,606	3,032	1,203	1,246	125	4,235
	100.0	54.1	21.5	22.2	2.2	75.5
性的マイノリティ	184	83	79	14	8	162
	100.0	45.1	42.9	7.6	4.3	88.0
性的マイノリティ以外	5,422	2,949	1,124	1,232	117	4,073
	100.0	54.4	20.7	22.7	2.2	75.1

※上段が件数、下段が割合

(4) 高等学校・16～18歳頃

《心配事があった》は、『性的マイノリティ』で 88.6%、『性的マイノリティ以外』で 75.1%となっており、『性的マイノリティ』が『性的マイノリティ以外』より 13.5 ポイント多くなっている。

《心配事があった》の内訳をみると、『性的マイノリティ』で「いた」(51.1%)が最も多くなっている。

	調査数	《心配事があった》		心配事はなかった	無回答	《心配事があった》
		いた	いなかった			
全体	5,606	3,300	935	1,236	135	4,235
	100.0	58.9	16.7	22.0	2.4	75.5
性的マイノリティ	184	94	69	14	7	163
	100.0	51.1	37.5	7.6	3.8	88.6
性的マイノリティ以外	5,422	3,206	866	1,222	128	4,072
	100.0	59.1	16.0	22.5	2.4	75.1

※上段が件数、下段が割合

(5) 19歳以降現在まで

《心配事があった》は、『性的マイノリティ』で 89.7%、『性的マイノリティ以外』で 81.8%となっており、『性的マイノリティ』が『性的マイノリティ以外』より 7.9ポイント多くなっている。

《心配事があった》の内訳をみると、『性的マイノリティ』、『性的マイノリティ以外』ともに「いた」が最も多くなっている。「いなかった」は『性的マイノリティ以外』（10.3%）で約1割となっているが、『性的マイノリティ』（21.2%）で約2割と多くなっている。

	調査数	《心配事があった》		心配事はなかった	無回答	《心配事があった》
		いた	いなかった			
全体	5,606	4,005	595	888	118	4,600
	100.0	71.4	10.6	15.8	2.1	82.1
性的マイノリティ	184	126	39	15	4	165
	100.0	68.5	21.2	8.2	2.2	89.7
性的マイノリティ以外	5,422	3,879	556	873	114	4,435
	100.0	71.5	10.3	16.1	2.1	81.8

※上段が件数、下段が割合

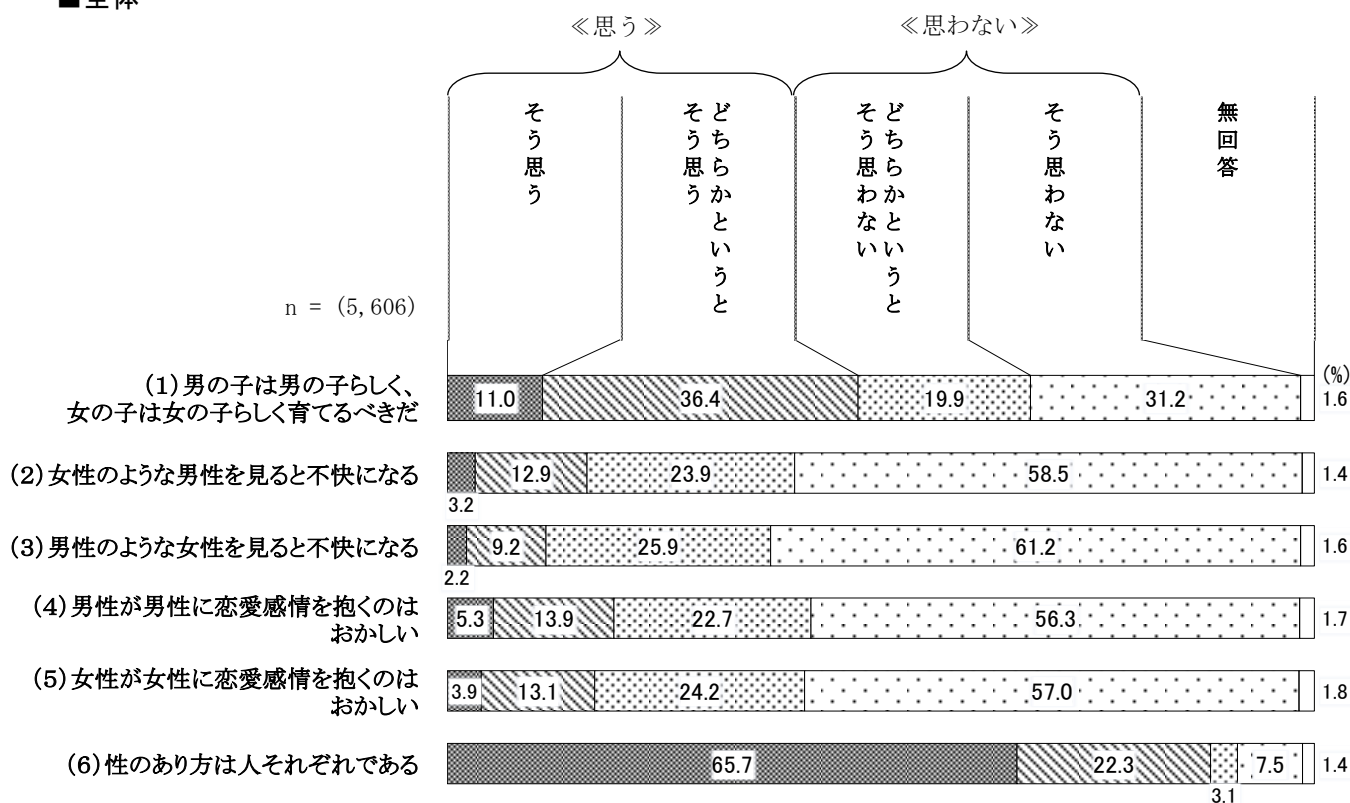
4. 性に関する考えや周囲の状況について

(1) 性の在り方に対する考え

問14 (1)～(6)のそれぞれについて、あなたのお考えやお気持ちにもっとも近いものはどれにあたりますか。(それぞれの項目について、あてはまる番号1つに○)

全体では、《思う》(「そう思う」、「どちらかというと思う」の合計)が、『(6)性のあり方は人それぞれである』(88.0%)で約9割を占めている。《思わない》(「そう思わない」、「どちらかというと思わない」の合計)は、『(2)女性のような男性を見ると不快になる』(82.5%)、『(3)男性のような女性を見ると不快になる』(87.1%)、『(4)男性が男性に恋愛感情を抱くのはおかしい』(79.1%)、『(5)女性が女性に恋愛感情を抱くのはおかしい』(81.2%)で約8割を占めている。『(1)男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てるべきだ』で、《思わない》(51.1%)が過半数を占めているが、《思う》(47.4%)も約5割と差があまり見られない。

■全体



■性的マイノリティ・性的マイノリティ以外の結果

※《思う》は、「そう思う」、「どちらかというと思う」の合計を指す

※《思わない》は、「そう思わない」、「どちらかというと思わない」の合計を指す

(1) 男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てるべきだ

『性的マイノリティ』で《思わない》(81.5%)が《思う》(17.9%)より多くなっている一方で、『性的マイノリティ以外』で《思わない》(50.0%)と《思う》(48.4%)が同程度となっている。

『性的マイノリティ』で「そう思わない」が最も多く、『性的マイノリティ以外』では「どちらかというと思う」が37.2%で最も多くなっている。

	調査数	思う		思わない		無回答	※上段が件数、下段が割合	
		そう思う	そど そう ちらか という と	そど そう ち思 らわ か な い と	そ う 思 わ な い		思 う	思 わ な い
全 体	5,606	614	2,043	1,114	1,748	87	2,657	2,862
	100.0	11.0	36.4	19.9	31.2	1.6	47.4	51.1
性的マイノリティ	184	9	24	21	129	1	33	150
	100.0	4.9	13.0	11.4	70.1	0.5	17.9	81.5
性的マイノリティ以外	5,422	605	2,019	1,093	1,619	86	2,624	2,712
	100.0	11.2	37.2	20.2	29.9	1.6	48.4	50.0

(2) 女性のような男性を見ると不快になる

『性的マイノリティ』、『性的マイノリティ以外』ともに《思わない》が《思う》より多くなっており、《思わない》が『性的マイノリティ』(89.1%)で約9割、『性的マイノリティ以外』(82.2%)で約8割となっている。

『性的マイノリティ』、『性的マイノリティ以外』ともに「そう思わない」が最も多くなっているが、『性的マイノリティ』(75.5%)で約8割を占める一方で、『性的マイノリティ以外』(58.0%)で約6割と比較的低くなっている。

	調査数	思う		思わない		無回答	※上段が件数、下段が割合	
		そう思う	そど そう ち思 ら か と い う と	そど そう ち思 ら わ か な い と	そ う 思 わ な い		思 う	思 わ な い
全 体	5,606	178	724	1,341	3,282	81	902	4,623
	100.0	3.2	12.9	23.9	58.5	1.4	16.1	82.5
性的マイノリティ	184	5	14	25	139	1	19	164
	100.0	2.7	7.6	13.6	75.5	0.5	10.3	89.1
性的マイノリティ以外	5,422	173	710	1,316	3,143	80	883	4,459
	100.0	3.2	13.1	24.3	58.0	1.5	16.3	82.2

(3) 男性のような女性を見ると不快になる

『性的マイノリティ』、『性的マイノリティ以外』ともに「思わない」が「思う」より多くなっており、「思わない」が『性的マイノリティ』(91.8%)で9割以上、『性的マイノリティ以外』(86.9%)で約9割となっている。

『性的マイノリティ』、『性的マイノリティ以外』ともに「そう思わない」が最も多くなっているが、『性的マイノリティ』(76.6%)で約8割を占める一方で、『性的マイノリティ以外』(60.6%)で約6割と比較的低くなっている。

	調査数	思う		思わない		無回答	※上段が件数、下段が割合	
		そう思う	そどち思らかという	そどち思らかという	そう思わない		思う	思わない
全体	5,606	122	513	1,453	3,429	89	635	4,882
	100.0	2.2	9.2	25.9	61.2	1.6	11.3	87.1
性的マイノリティ	184	3	10	28	141	2	13	169
	100.0	1.6	5.4	15.2	76.6	1.1	7.1	91.8
性的マイノリティ以外	5,422	119	503	1,425	3,288	87	622	4,713
	100.0	2.2	9.3	26.3	60.6	1.6	11.5	86.9

(4) 男性が男性に恋愛感情を抱くのはおかしい

『性的マイノリティ』、『性的マイノリティ以外』ともに「思わない」が「思う」より多くなっており、「思わない」が『性的マイノリティ』(92.9%)で9割以上、『性的マイノリティ以外』(78.6%)で約8割となっている。

『性的マイノリティ』、『性的マイノリティ以外』ともに「そう思わない」が最も多くなっているが、『性的マイノリティ』(83.2%)で約8割を占める一方で、『性的マイノリティ以外』(55.4%)で約6割と比較的低くなっている。

	調査数	思う		思わない		無回答	※上段が件数、下段が割合	
		そう思う	そどち思らかという	そどち思らかという	そう思わない		思う	思わない
全体	5,606	298	781	1,275	3,157	95	1,079	4,432
	100.0	5.3	13.9	22.7	56.3	1.7	19.2	79.1
性的マイノリティ	184	2	9	18	153	2	11	171
	100.0	1.1	4.9	9.8	83.2	1.1	6.0	92.9
性的マイノリティ以外	5,422	296	772	1,257	3,004	93	1,068	4,261
	100.0	5.5	14.2	23.2	55.4	1.7	19.7	78.6

(5) 女性が女性に恋愛感情を抱くのはおかしい

『性的マイノリティ』、『性的マイノリティ以外』ともに「思わない」が「思う」より多くなっており、「思わない」が『性的マイノリティ』(94.6%)で9割以上、『性的マイノリティ以外』(80.7%)で約8割となっている。

『性的マイノリティ』、『性的マイノリティ以外』ともに「そう思わない」が最も多くなっているが、『性的マイノリティ』(84.8%)で約8割を占める一方で、『性的マイノリティ以外』(56.0%)で約6割と比較的低くなっている。

	調査数	思う		思わない		無回答	※上段が件数、下段が割合	
		そう思う	そどち 思うか という と	そどち 思わ かとい いう と	そう 思わ ない		思 う	思 わ ない
全 体	5,606	218	735	1,358	3,194	101	953	4,552
	100.0	3.9	13.1	24.2	57.0	1.8	17.0	81.2
性的マイノリティ	184	3	5	18	156	2	8	174
	100.0	1.6	2.7	9.8	84.8	1.1	4.3	94.6
性的マイノリティ以 外	5,422	215	730	1,340	3,038	99	945	4,378
	100.0	4.0	13.5	24.7	56.0	1.8	17.4	80.7

(6) 性のあり方は人それぞれである

『性的マイノリティ』、『性的マイノリティ以外』ともに「思う」が「思わない」より多くなっており、「思う」が『性的マイノリティ』(89.7%)、『性的マイノリティ以外』(87.9%)ともに約9割を占めている。

『性的マイノリティ』、『性的マイノリティ以外』ともに「そう思う」が最も多くなっているが、『性的マイノリティ』(83.2%)で8割以上を占める一方で、『性的マイノリティ以外』(65.1%)で約7割と比較的低くなっている。

	調査数	思う		思わない		無回答	※上段が件数、下段が割合	
		そう 思 う	そど ち思 うか とい うと	そど ち思 わ かとい いう と	そう 思 わ ない		思 う	思 わ ない
全 体	5,606	3,682	1,249	172	423	80	4,931	595
	100.0	65.7	22.3	3.1	7.5	1.4	88.0	10.6
性的マイノリティ	184	153	12	3	14	2	165	17
	100.0	83.2	6.5	1.6	7.6	1.1	89.7	9.2
性的マイノリティ以 外	5,422	3,529	1,237	169	409	78	4,766	578
	100.0	65.1	22.8	3.1	7.5	1.4	87.9	10.7

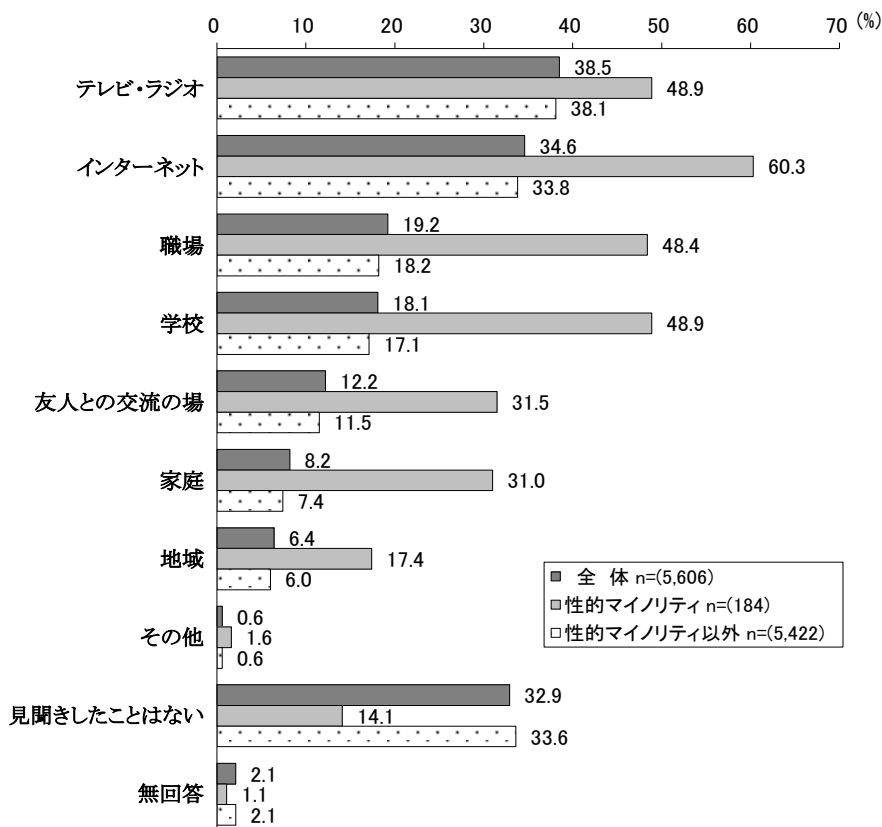
(2) 差別的な言動を見聞きした経験

問15 あなたは、性的マイノリティに対する差別的な言動を、次のところで見聞きしたことはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

全体では、「テレビ・ラジオ」が38.5%で最も多く、以下、「インターネット」(34.6%)、「職場」(19.2%)となっている。また、「見聞きしたことはない」も32.9%となっている。

『性的マイノリティ』では、「インターネット」が60.3%で最も多く、以下、「学校」(48.9%)、「テレビ・ラジオ」(48.9%)、「職場」(48.4%)となっている。『性的マイノリティ以外』では、全体と同様の結果となっている。

《見聞きしたことがある》(「職場」、「学校」、「家庭」、「地域」、「テレビ・ラジオ」、「インターネット」、「友人との交流の場」、「その他」のいずれか1つでも選択した人)は、全体で65.0%、『性的マイノリティ』で84.8%、『性的マイノリティ以外』で64.3%となっている。『性的マイノリティ』が『性的マイノリティ以外』より20.5ポイント多くなっている。



■ 構成表

※上段が件数、下段が割合

	調査数	《見聞きしたことがある》								見聞きしたことはない	無回答	《見聞きしたことがある》の割合 (%)
		職場	学校	家庭	地域	テレビ・ラジオ	インターネット	友人との交流の場	その他			
全体	5,606	1,074	1,015	458	356	2,156	1,941	684	35	1,847	116	3,643
	100.0	19.2	18.1	8.2	6.4	38.5	34.6	12.2	0.6	32.9	2.1	65.0
性的マイノリティ	184	89	90	57	32	90	111	58	3	26	2	156
	100.0	48.4	48.9	31.0	17.4	48.9	60.3	31.5	1.6	14.1	1.1	84.8
性的マイノリティ以外	5,422	985	925	401	324	2,066	1,830	626	32	1,821	114	3,487
	100.0	18.2	17.1	7.4	6.0	38.1	33.8	11.5	0.6	33.6	2.1	64.3

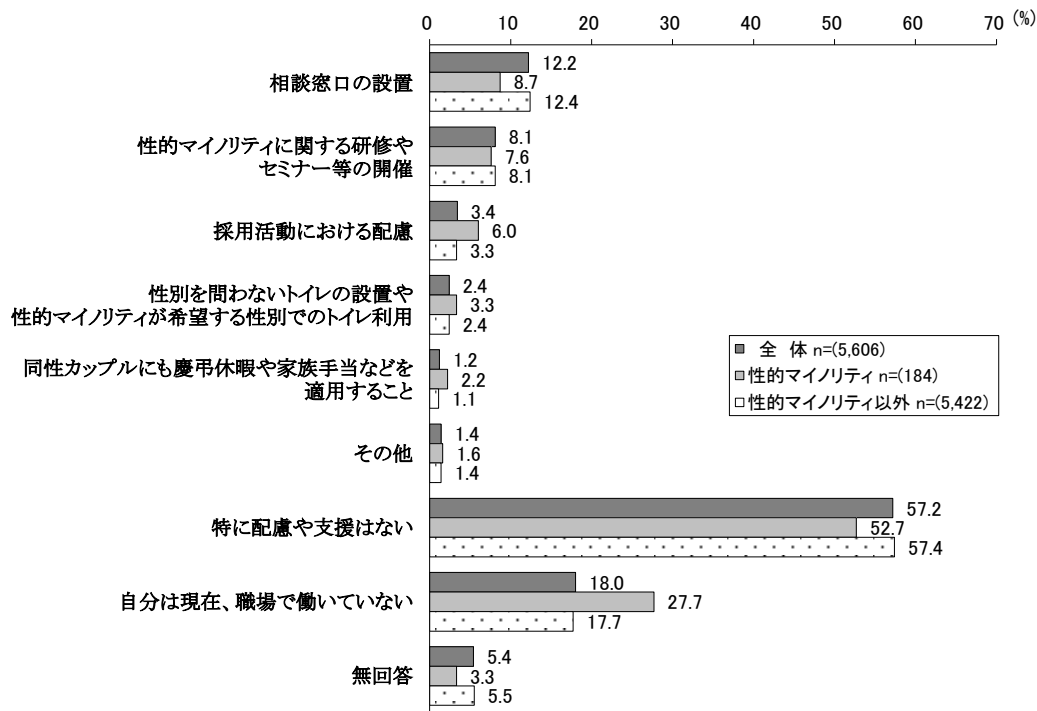
(3) 職場での性的マイノリティに対する配慮や支援

問16 あなたの職場では、性的マイノリティに対する配慮や支援はありますか。
(あてはまる番号すべてに○)

全体では、「特に配慮や支援はない」が57.2%で過半数を占めて最も多く、「自分は現在、職場で働いていない」(18.0%)も約2割となっている。配慮や支援については、「相談窓口の設置」(12.2%)、「性的マイノリティに関する研修やセミナー等の開催」(8.1%)が多くなっている。

『性的マイノリティ』では、「特に配慮や支援はない」が52.7%で過半数を占めて最も多く、「自分は現在、職場で働いていない」(27.7%)も約3割となっている。配慮や支援については、「相談窓口の設置」(8.7%)と「性的マイノリティに関する研修やセミナー等の開催」(7.6%)が比較的多く、同程度となっている。『性的マイノリティ以外』では、全体と同様の結果となっている。

《いずれかの配慮や支援がある》(「相談窓口の設置」、「性的マイノリティに関する研修やセミナー等の開催」、「採用活動における配慮」、「性別を問わないトイレの設置や性的マイノリティが希望する性別でのトイレ利用」、「同性カップルにも慶弔休暇や家族手当などを適用すること」、「その他」のいずれか1つでも選択した人)は、全体で19.4%、『性的マイノリティ』で16.3%、『性的マイノリティ以外』で19.5%となっており、『性的マイノリティ以外』が『性的マイノリティ』より3.2ポイント多くなっている。



■ 構成表

調査数	《いずれかの配慮や支援がある》							※上段が件数、下段が割合			
	相談窓口の設置	性的マイノリティに関する研修やセミナー等の開催	採用活動における配慮	性別を問わないトイレの設置や性的マイノリティが希望する性別でのトイレ利用	同性カップルにも慶弔休暇や家族手当などを適用すること	その他	特に配慮や支援はない	自分は現在、職場で働いていない	無回答	《いずれかの配慮や支援がある》	
全体	5,606	455	190	136	66	78	3,209	1,008	304	1,085	
	100.0	12.2	3.4	2.4	1.2	1.4	57.2	18.0	5.4	19.4	
性的マイノリティ	184	14	11	6	4	3	97	51	6	30	
	100.0	8.7	6.0	3.3	2.2	1.6	52.7	27.7	3.3	16.3	
性的マイノリティ以外	5,422	441	179	130	62	75	3,112	957	298	1,055	
	100.0	12.4	3.3	2.4	1.1	1.4	57.4	17.7	5.5	19.5	

(4) 学校で性的マイノリティについて学んだ経験

問17 あなたは、学校で性的マイノリティについて次のように学んだ経験がありますか。
 (それぞれの項目について、あてはまる時期すべてに○)

全体では、すべての項目で「この形で学んだことはない」が最も多く、過半数を占めている。学んだ経験のある時期についてみると、『(1) 学校で図書館などを利用し自ら調べた』(3.0%)、『(3) 学校が開催した講演会等で話を聞いた』(2.5%)、『(4) その他』(3.5%) で「19歳以降学校を出るまで」が最も多くなっているが、『(3) 学校が開催した講演会等で話を聞いた』で「高等学校・16～18歳頃」(2.3%) も同程度となっている。

《経験がある》(「小学校1～3年生の頃」、「小学校4～6年生の頃」、「中学校の頃」、「高等学校・16～18歳頃」、「19歳以降学校を出るまで」のいずれか1つでも選択した人)は、『(2) 学校の授業で学んだ』で10.9%と最も多くなっている。

■全体

	《経験がある》					この形で学んだ ことはない	無回答	《経験がある》 (%)
	1 ～ 3 小 学 校 の 頃	4 ～ 6 小 学 校 の 頃	中 学 校 の 頃	16 ～ 18 高 等 学 校 ・ 歳 頃	学 校 を 出 る ま で 19 歳 以 降			
n = 5,606								
(1) 学校で図書館などを利用し 自ら調べた	0.1	0.3	1.0	1.6	3.0	92.4	3.2	4.4
(2) 学校の授業で学んだ	0.1	1.6	3.4	4.9	4.3	86.1	3.0	10.9
(3) 学校が開催した講演会等で 話を聞いた	0.1	0.4	1.4	2.3	2.5	91.4	3.3	5.4
(4) その他	0.1	0.2	0.5	0.7	3.5	58.7	37.2	4.2

■性的マイノリティ・性的マイノリティ以外の結果

※《経験がある》は、「小学校1～3年生の頃」、「小学校4～6年生の頃」、「中学校の頃」、「高等学校・16～18歳頃」、「19歳以降学校を出るまで」のいずれか1つでも選択した人を指す

(1) 学校で図書館などを利用し自ら調べた

『性的マイノリティ』、『性的マイノリティ以外』ともに「この形で学んだことはない」が最も多く、学んだ経験のある時期については、「19歳以降学校を出るまで」が最も多くなっている。

《経験がある》は『性的マイノリティ』で23.4%、『性的マイノリティ以外』で3.8%となっており、『性的マイノリティ』が『性的マイノリティ以外』より19.6ポイント多くなっている。

	調査数	《経験がある》					この形で学んだことはない	無回答	《経験がある》
		1～3 小学生 の頃	4～6 小学生 の頃	中 学 校 の 頃	1 6～ 1 8 歳 ・ 頃	学 校 を 出 る ま で 1 9 歳 以 降			
全 体	5,606	6	18	58	90	166	5,181	178	247
	100.0	0.1	0.3	1.0	1.6	3.0	92.4	3.2	4.4
性的マイノリティ	184	3	8	18	22	31	138	3	43
	100.0	1.6	4.3	9.8	12.0	16.8	75.0	1.6	23.4
性的マイノリティ以外	5,422	3	10	40	68	135	5,043	175	204
	100.0	0.1	0.2	0.7	1.3	2.5	93.0	3.2	3.8

(2) 学校の授業で学んだ

『性的マイノリティ』、『性的マイノリティ以外』ともに「この形で学んだことはない」が最も多く、学んだ経験のある時期については、「高等学校・16～18歳頃」が最も多くなっている。

《経験がある》は『性的マイノリティ』で22.8%、『性的マイノリティ以外』で10.5%となっており、『性的マイノリティ』が『性的マイノリティ以外』より12.3ポイント多くなっている。

	調査数	《経験がある》					この形で学んだことはない	無回答	《経験がある》
		1～3 小学生 の頃	4～6 小学生 の頃	中 学 校 の 頃	1 6～ 1 8 歳 ・ 頃	学 校 を 出 る ま で 1 9 歳 以 降			
全 体	5,606	7	87	191	276	240	4,827	168	611
	100.0	0.1	1.6	3.4	4.9	4.3	86.1	3.0	10.9
性的マイノリティ	184	1	5	12	21	17	137	5	42
	100.0	0.5	2.7	6.5	11.4	9.2	74.5	2.7	22.8
性的マイノリティ以外	5,422	6	82	179	255	223	4,690	163	569
	100.0	0.1	1.5	3.3	4.7	4.1	86.5	3.0	10.5

(3) 学校が開催した講演会等で話を聞いた

『性的マイノリティ』、『性的マイノリティ以外』ともに「この形で学んだことはない」が最も多くなっている。学んだ経験のある時期については、『性的マイノリティ』で「高等学校・16～18歳頃」(4.9%)が最も多くなっている。『性的マイノリティ以外』では「19歳以降学校を出るまで」(2.5%)と「高等学校・16～18歳頃」(2.2%)が比較的多く、同程度となっている。

《経験がある》は『性的マイノリティ』で8.7%、『性的マイノリティ以外』で5.3%となっており、『性的マイノリティ』が『性的マイノリティ以外』より3.4ポイント多くなっている。

	調査数	《経験がある》					※上段が件数、下段が割合		
		1 ～ 3 小 学 生 校 の 頃	4 ～ 6 小 学 生 校 の 頃	中 学 校 の 頃	1 6 高 等 学 校 ・ 1 8 歳 頃	学 校 を 出 る ま で 1 9 歳 以 降	こ の 形 で 学 ん だ こ と は な い	無 回 答	《 経 験 が あ る 》
全 体	5,606 100.0	4 0.1	22 0.4	79 1.4	129 2.3	140 2.5	5,122 91.4	183 3.3	301 5.4
性的マイノリティ	184 100.0	- -	1 0.5	7 3.8	9 4.9	2 1.1	163 88.6	5 2.7	16 8.7
性的マイノリティ以 外	5,422 100.0	4 0.1	21 0.4	72 1.3	120 2.2	138 2.5	4,959 91.5	178 3.3	285 5.3

(4) その他

『性的マイノリティ』、『性的マイノリティ以外』ともに「この形で学んだことはない」が最も多く、学んだ経験のある時期については、「19歳以降学校を出るまで」が最も多くなっている。

《経験がある》は『性的マイノリティ』で9.8%、『性的マイノリティ以外』で4.0%となっており、『性的マイノリティ』が『性的マイノリティ以外』より5.8ポイント多くなっている。

	調査数	《経験がある》					※上段が件数、下段が割合		
		1 ～ 3 小 学 生 校 の 頃	4 ～ 6 小 学 生 校 の 頃	中 学 校 の 頃	1 6 高 等 学 校 ・ 1 8 歳 頃	学 校 を 出 る ま で 1 9 歳 以 降	こ の 形 で 学 ん だ こ と は な い	無 回 答	《 経 験 が あ る 》
全 体	5,606 100.0	5 0.1	11 0.2	30 0.5	42 0.7	194 3.5	3,289 58.7	2,084 37.2	233 4.2
性的マイノリティ	184 100.0	- -	- -	2 1.1	6 3.3	18 9.8	87 47.3	79 42.9	18 9.8
性的マイノリティ以 外	5,422 100.0	5 0.1	11 0.2	28 0.5	36 0.7	176 3.2	3,202 59.1	2,005 37.0	215 4.0

【参考】

問 17 (学校で性的マイノリティについて学んだ経験) について、年代別にみると、18～24歳のほうが、25歳以上よりも、『(4) その他』を除くすべての項目で《経験がある》が上回っている。

■問 17 (学校で性的マイノリティについて学んだ経験) 年代別結果

(1) 学校で図書館などを利用し自ら調べた

	調査数	《経験がある》					この形で学んだことはない	無回答	《経験がある》
		小学校の1～3年生	小学校の4～6年生	中学校の頃	高等学校・16～18歳の頃	19歳以降学校を出るまで			
全体	5,606	6	18	58	90	166	5,181	178	247
	100.0	0.1	0.3	1.0	1.6	3.0	92.4	3.2	4.4
18～19歳	92	-	1	3	11	6	74	3	15
	100.0	-	1.1	3.3	12.0	6.5	80.4	3.3	16.3
20～24歳	263	2	4	11	19	36	204	10	49
	100.0	0.8	1.5	4.2	7.2	13.7	77.6	3.8	18.6
25～29歳	332	1	5	9	17	18	296	5	31
	100.0	0.3	1.5	2.7	5.1	5.4	89.2	1.5	9.3
30～34歳	479	-	-	7	8	18	444	7	28
	100.0	-	-	1.5	1.7	3.8	92.7	1.5	5.8
35～39歳	563	-	-	6	10	18	524	14	25
	100.0	-	-	1.1	1.8	3.2	93.1	2.5	4.4
40～44歳	714	-	-	5	7	18	676	15	23
	100.0	-	-	0.7	1.0	2.5	94.7	2.1	3.2
45～49歳	847	1	-	4	5	14	803	25	19
	100.0	0.1	-	0.5	0.6	1.7	94.8	3.0	2.2
50～54歳	787	-	3	4	3	10	746	25	16
	100.0	-	0.4	0.5	0.4	1.3	94.8	3.2	2.0
55～59歳	775	2	4	5	4	18	725	25	25
	100.0	0.3	0.5	0.6	0.5	2.3	93.5	3.2	3.2
60～64歳	734	-	1	4	5	9	674	45	15
	100.0	-	0.1	0.5	0.7	1.2	91.8	6.1	2.0

(2) 学校の授業で学んだ

	調査数	《経験がある》					この形で学んだことはない	無回答	《経験がある》
		小学校の1～3年生	小学校の4～6年生	中学校の頃	高等学校・16～18歳の頃	19歳以降学校を出るまで			
全体	5,606	7	87	191	276	240	4,827	168	611
	100.0	0.1	1.6	3.4	4.9	4.3	86.1	3.0	10.9
18～19歳	92	2	7	27	47	15	31	2	59
	100.0	2.2	7.6	29.3	51.1	16.3	33.7	2.2	64.1
20～24歳	263	2	16	37	74	71	111	9	143
	100.0	0.8	6.1	14.1	28.1	27.0	42.2	3.4	54.4
25～29歳	332	-	11	27	43	37	237	6	89
	100.0	-	3.3	8.1	13.0	11.1	71.4	1.8	26.8
30～34歳	479	-	14	43	43	40	372	3	104
	100.0	-	2.9	9.0	9.0	8.4	77.7	0.6	21.7
35～39歳	563	1	6	15	28	32	485	11	67
	100.0	0.2	1.1	2.7	5.0	5.7	86.1	2.0	11.9
40～44歳	714	-	8	9	14	17	655	16	43
	100.0	-	1.1	1.3	2.0	2.4	91.7	2.2	6.0
45～49歳	847	1	5	9	7	8	795	23	29
	100.0	0.1	0.6	1.1	0.8	0.9	93.9	2.7	3.4
50～54歳	787	-	7	8	7	7	736	25	26
	100.0	-	0.9	1.0	0.9	0.9	93.5	3.2	3.3
55～59歳	775	1	5	5	9	10	722	26	27
	100.0	0.1	0.6	0.6	1.2	1.3	93.2	3.4	3.5
60～64歳	734	-	8	11	4	3	667	43	24
	100.0	-	1.1	1.5	0.5	0.4	90.9	5.9	3.3

第2章 調査結果の詳細

(3) 学校が開催した講演会等で話を聞いた

	調査数	《経験がある》					この形で学んだことはない	無回答	《経験がある》
		小学校の1～3年生	小学校の4～6年生	中学校の頃	高等学校・16～18歳の頃	19歳以降学校を出るまで			
全体	5,606	4	22	79	129	140	5,122	183	301
	100.0	0.1	0.4	1.4	2.3	2.5	91.4	3.3	5.4
18～19歳	92	-	3	14	34	6	51	2	39
	100.0	-	3.3	15.2	37.0	6.5	55.4	2.2	42.4
20～24歳	263	2	7	25	34	29	185	11	67
	100.0	0.8	2.7	9.5	12.9	11.0	70.3	4.2	25.5
25～29歳	332	-	3	10	17	20	284	7	41
	100.0	-	0.9	3.0	5.1	6.0	85.5	2.1	12.3
30～34歳	479	-	-	8	14	19	437	6	36
	100.0	-	-	1.7	2.9	4.0	91.2	1.3	7.5
35～39歳	563	-	1	5	9	21	516	14	33
	100.0	-	0.2	0.9	1.6	3.7	91.7	2.5	5.9
40～44歳	714	-	2	-	7	10	679	18	17
	100.0	-	0.3	-	1.0	1.4	95.1	2.5	2.4
45～49歳	847	1	3	3	3	8	805	25	17
	100.0	0.1	0.4	0.4	0.4	0.9	95.0	3.0	2.0
50～54歳	787	-	3	4	5	8	746	25	16
	100.0	-	0.4	0.5	0.6	1.0	94.8	3.2	2.0
55～59歳	775	-	-	5	3	12	729	26	20
	100.0	-	-	0.6	0.4	1.5	94.1	3.4	2.6
60～64歳	734	1	-	5	3	6	675	45	14
	100.0	0.1	-	0.7	0.4	0.8	92.0	6.1	1.9

(4) その他

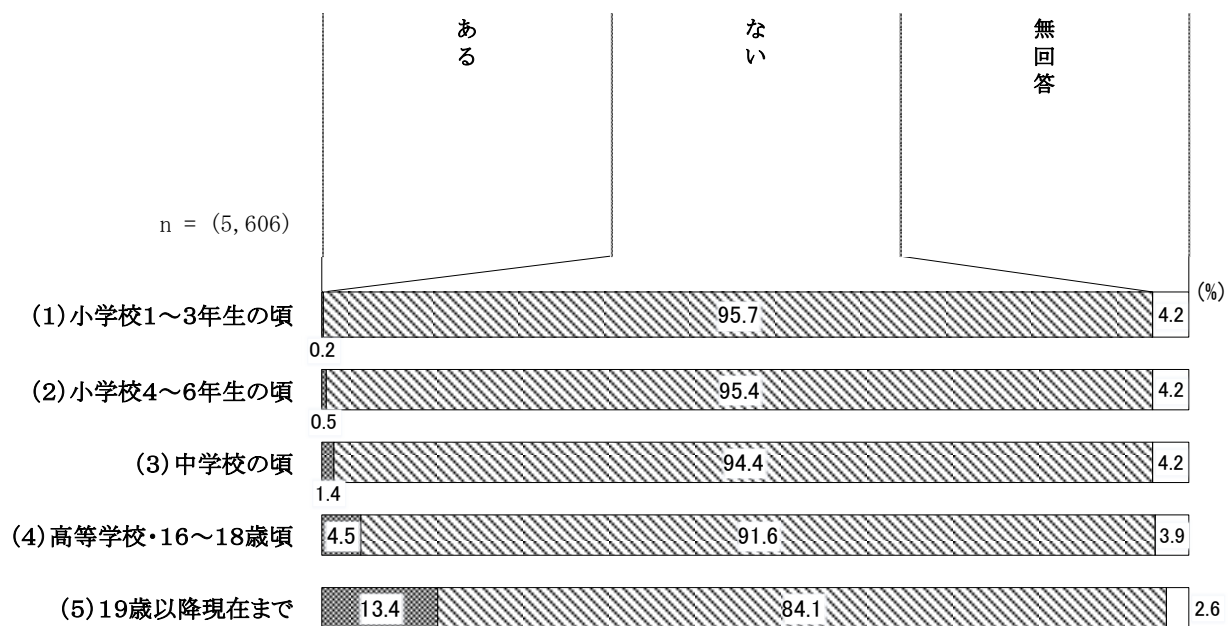
	調査数	《経験がある》					この形で学んだことはない	無回答	《経験がある》
		小学校の1～3年生	小学校の4～6年生	中学校の頃	高等学校・16～18歳の頃	19歳以降学校を出るまで			
全体	5,606	5	11	30	42	194	3,289	2,084	233
	100.0	0.1	0.2	0.5	0.7	3.5	58.7	37.2	4.2
18～19歳	92	-	-	1	1	1	46	44	2
	100.0	-	-	1.1	1.1	1.1	50.0	47.8	2.2
20～24歳	263	-	-	-	3	14	122	127	14
	100.0	-	-	-	1.1	5.3	46.4	48.3	5.3
25～29歳	332	-	-	6	7	16	184	127	21
	100.0	-	-	1.8	2.1	4.8	55.4	38.3	6.3
30～34歳	479	-	3	6	8	27	271	174	34
	100.0	-	0.6	1.3	1.7	5.6	56.6	36.3	7.1
35～39歳	563	2	3	5	8	35	325	197	41
	100.0	0.4	0.5	0.9	1.4	6.2	57.7	35.0	7.3
40～44歳	714	1	-	3	3	19	435	255	24
	100.0	0.1	-	0.4	0.4	2.7	60.9	35.7	3.4
45～49歳	847	1	-	1	2	19	527	298	22
	100.0	0.1	-	0.1	0.2	2.2	62.2	35.2	2.6
50～54歳	787	1	4	5	4	21	488	274	25
	100.0	0.1	0.5	0.6	0.5	2.7	62.0	34.8	3.2
55～59歳	775	-	1	3	4	22	461	286	28
	100.0	-	0.1	0.4	0.5	2.8	59.5	36.9	3.6
60～64歳	734	-	-	-	2	20	419	293	22
	100.0	-	-	-	0.3	2.7	57.1	39.9	3.0

(5) 性的マイノリティからカミングアウトされた経験

問18 あなたは、性的マイノリティからカミングアウト（自分が性的マイノリティである/あるいはそうかもしれないことを打ち明けること）をされたことがありますか。（それぞれの時期について、あてはまる番号1つに○）

全体では、「ない」がほとんどを占めており、『(5) 19歳以降現在まで』以外で9割以上を占めている。「ある」は、『19歳以降現在まで』（13.4%）で最も多くなっており、次いで『高等学校・16～18歳頃』（4.5%）となっている。

■全体



■性的マイノリティ・性的マイノリティ以外の結果

(1) 小学校1～3年生の頃

『性的マイノリティ』、『性的マイノリティ以外』ともに「ない」が9割以上を占めている。「ある」は『性的マイノリティ』で1.1%、『性的マイノリティ以外』で0.1%となっている。

※上段が件数、下段が割合

	調査数	ある	ない	無回答
全 体	5,606	9	5,363	234
	100.0	0.2	95.7	4.2
性的マイノリティ	184	2	175	7
	100.0	1.1	95.1	3.8
性的マイノリティ以外	5,422	7	5,188	227
	100.0	0.1	95.7	4.2

(2) 小学校4～6年生の頃

『性的マイノリティ』、『性的マイノリティ以外』ともに「ない」が9割以上を占めている。「ある」は『性的マイノリティ』で2.2%、『性的マイノリティ以外』で0.4%となっている。

※上段が件数、下段が割合

	調査数	ある	ない	無回答
全 体	5,606	26	5,347	233
	100.0	0.5	95.4	4.2
性的マイノリティ	184	4	173	7
	100.0	2.2	94.0	3.8
性的マイノリティ以外	5,422	22	5,174	226
	100.0	0.4	95.4	4.2

(3) 中学校の頃

『性的マイノリティ』、『性的マイノリティ以外』で「ない」が約9割となっている。「ある」は『性的マイノリティ』(6.0%)が『性的マイノリティ以外』(1.3%)より4.7ポイント多くなっている。

※上段が件数、下段が割合

	調査数	ある	ない	無回答
全 体	5,606	80	5,292	234
	100.0	1.4	94.4	4.2
性的マイノリティ	184	11	165	8
	100.0	6.0	89.7	4.3
性的マイノリティ以外	5,422	69	5,127	226
	100.0	1.3	94.6	4.2

(4) 高等学校・16～18歳頃

「ない」は『性的マイノリティ以外』(92.2%)で約9割となっているが、『性的マイノリティ』(73.4%)で約7割となっている。「ある」は『性的マイノリティ』(23.4%)が『性的マイノリティ以外』(3.9%)より19.5ポイント多くなっている。

※上段が件数、下段が割合

	調査数	ある	ない	無回答
全 体	5,606	254	5,133	219
	100.0	4.5	91.6	3.9
性的マイノリティ	184	43	135	6
	100.0	23.4	73.4	3.3
性的マイノリティ以外	5,422	211	4,998	213
	100.0	3.9	92.2	3.9

(5) 19歳以降現在まで

「ない」は『性的マイノリティ以外』で85.1%となっているが、『性的マイノリティ』(52.7%)で約5割となっている。「ある」は『性的マイノリティ』(45.7%)が『性的マイノリティ以外』(12.3%)より33.4ポイント多くなっている。

※上段が件数、下段が割合

	調査数	ある	ない	無回答
全 体	5,606	751	4,712	143
	100.0	13.4	84.1	2.6
性的マイノリティ	184	84	97	3
	100.0	45.7	52.7	1.6
性的マイノリティ以外	5,422	667	4,615	140
	100.0	12.3	85.1	2.6

(6) 知人が性的マイノリティであることで悩んでいる (いた) ことの有無

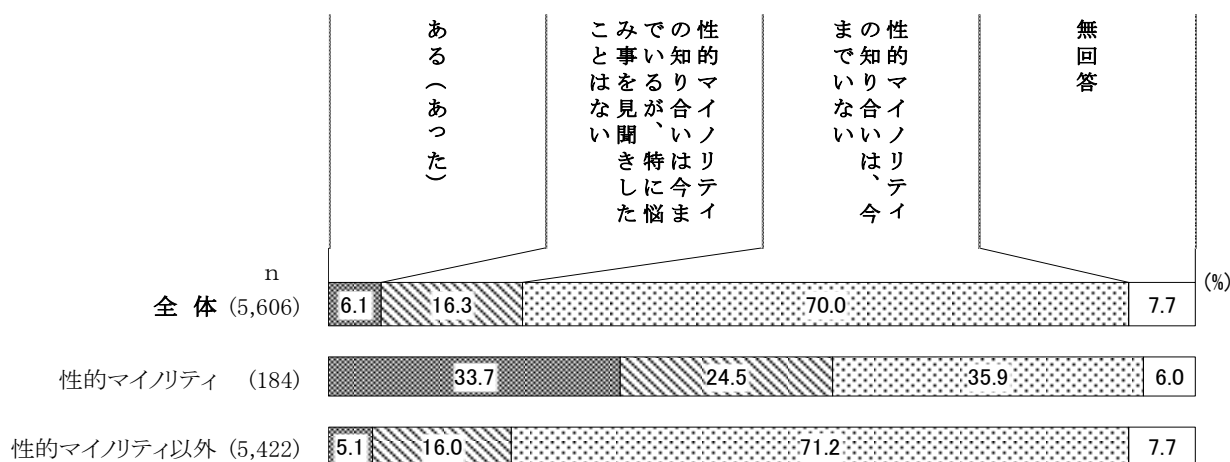
問19 あなたの知り合いが、性的マイノリティであることで悩んだり困ったりしている (いた) ことはありますか (した) か。(あてはまる番号1つに○)

全体では、「性的マイノリティの知り合いは、今までいない」が70.0%で最も多く、以下、「性的マイノリティの知り合いは今までいるが、特に悩み事を見聞きしたことはない」(16.3%)、「ある (あった)」(6.1%) となっている。

『性的マイノリティ』では、「性的マイノリティの知り合いは、今までいない」が35.9%で最も多くなっているが、「ある (あった)」も33.7%と同程度となっている。『性的マイノリティ以外』では、全体と同様の結果となっている。

《性的マイノリティの知り合いがいる (いた) 》(「ある (あった)」、「性的マイノリティの知り合いは今までいるが、特に悩み事を見聞きしたことはない」の合計) は、『性的マイノリティ』で58.2%、『性的マイノリティ以外』で21.1%となっており、『性的マイノリティ』が『性的マイノリティ以外』より37.1ポイント多くなっている。

■全体



■構成表

	調査数	性的マイノリティの知り合いがいる (いた)				無回答	性的マイノリティの知り合いがいない (いた)
		ある (あった)	性的マイノリティの知り合いは今までいるが、特に悩み事を見聞きしたことはない	性的マイノリティの知り合いは今までいない	性的マイノリティの知り合いは今までいるが、特に悩み事を見聞きしたことはない		
全体	5,606	340	911	3,924	431	1,251	
	100.0	6.1	16.3	70.0	7.7	22.3	
性的マイノリティ	184	62	45	66	11	107	
	100.0	33.7	24.5	35.9	6.0	58.2	
性的マイノリティ以外	5,422	278	866	3,858	420	1,144	
	100.0	5.1	16.0	71.2	7.7	21.1	

※上段が件数、下段が割合

(7) 知人が性的マイノリティであることで悩んでいる(いた)事柄

【問19で「ある(あった)」と答えた方】

問19-1 あなたの知り合いが、性的マイノリティであることで悩んだり困ったりしている(いた)ことは、次のどの事柄になりますか。

(それぞれの項目について、その知り合いが悩んだり困ったりした時期すべてに○)

全体では、《いずれかの時期にあった》(「小学校1～3年生の頃」、「小学校4～6年生の頃」、「中学校の頃」、「高等学校・16～18歳頃」、「19歳以降現在まで」のいずれか1つでも選択した人)が、『(3) 家族に理解してもらえないこと』(53.8%)、『(1) 性的マイノリティを差別する言動を見聞きすること』(53.5%)で過半数を占めており、特に多くなっている。以下、『(18) 同性パートナーを公的に認証する制度がない、または不十分なこと』(42.4%)、『(14) 将来の生活プランを描けないこと』(42.1%)となっている。

経験がある時期についてみると、すべての項目で「19歳以降現在まで」が最も多く、『(3) 家族に理解してもらえないこと』(44.1%)、『(1) 性的マイノリティを差別する言動を見聞きすること』(41.8%)、『(18) 同性パートナーを公的に認証する制度がない、または不十分なこと』(40.3%)で4割以上を占めている。

『(1) 性的マイノリティを差別する言動を見聞きすること』、『(3) 家族に理解してもらえないこと』を除くすべての項目で「なかった」が最も多く、『(13) 冠婚葬祭などの出席を断られること』(82.9%)、『(12) 外国籍の同性パートナーの在留資格が申請しにくいこと』(79.7%)で特に多くなっている。

■全体

	《いずれかの時期にあった》						無回答	(%) 《いずれかの時期 にあった》
	1 ～ 3 小学 生の 頃	4 ～ 6 小学 生の 頃	中 学 校 の 頃	16 ～ 18 高等 学校 ・ 歳 頃	現 在 19 歳 以 降 ま で	な か っ た		
n = 340								
(1) 性的マイノリティを差別する言動を見聞きすること	3.8	6.8	12.1	18.8	41.8	41.8	4.7	53.5
(2) 性的マイノリティであることを理由に差別的な言動やいじめ・ハラスメント・暴力を受けること	2.6	4.1	10.3	10.9	22.4	60.3	7.4	32.4
(3) 家族に理解してもらえないこと	3.5	5.3	8.5	16.2	44.1	39.1	7.1	53.8
(4) 更衣室、トイレなど男女区別のある施設が利用しづらいこと	2.6	3.5	7.1	12.6	28.8	57.1	7.6	35.3
(5) 医療・福祉・住まい(賃貸)面で性的マイノリティに配慮した対応がなされないこと	1.2	1.5	2.4	5.3	23.2	66.2	9.1	24.7

第2章 調査結果の詳細

	《いずれかの時期にあった》						（%）	
	1 ～ 3 小学生 の頃	4 ～ 6 小学生 の頃	中 学 校 の 頃	16 ～ 18 高等 学校 ・ 歳頃	現 在 19 歳 以 降 ま で	な か っ た	無 回 答	《 い ず れ か の 時 期 に あ っ た 》
n = 340								
(6) 行政窓口で性的マイノリティへの配慮が足りないこと	0.9	0.9	1.5	3.8	21.5	67.6	9.1	23.2
(7) 同性パートナーが遺族年金や扶養控除、手当などを受けられないこと	0.3	0.6	0.6	1.8	24.4	63.2	11.2	25.6
(8) 学校や修学旅行などの宿泊行事で風呂や就寝場所が希望どおりとならないこと	1.8	2.1	6.8	10.9	15.0	66.2	9.1	24.7
(9) 学校や職場の制服が性的マイノリティに配慮されないこと	1.5	1.2	8.2	12.4	22.6	56.2	8.5	35.3
(10) 学校や職場で通称名を使用できないこと	1.2	1.2	0.9	2.4	14.4	72.9	10.3	16.8
(11) 入学試験や就職の際の面接等で差別やハラスメントを受けること	0.3	0.3	0.6	2.1	12.1	76.8	10.0	13.2
(12) 外国籍の同性パートナーの在留資格が申請しにくいこと	0.3	0.6	0.3	0.6	7.4	79.7	12.1	8.2
(13) 冠婚葬祭などの出席を断られること	-	-	0.3	-	6.2	82.9	10.6	6.5
(14) 将来の生活プランを描けないこと	0.3	0.9	1.2	6.5	37.9	49.7	8.2	42.1
(15) 老後の生活に不安があること	0.3	0.3	0.3	2.4	29.7	60.0	9.4	30.6
(16) アウティング（性的マイノリティ本人の了解なしに他人に暴露してしまうこと）されること	0.6	1.2	3.8	7.1	23.5	61.5	9.7	28.8
(17) 他の性的マイノリティと交流する機会がないこと	0.9	1.5	1.5	3.2	15.9	71.5	10.0	18.5
(18) 同性パートナーを公的に認証する制度がない、または不十分なこと	0.6	0.6	1.5	3.5	40.3	47.6	10.0	42.4
(19) その他	0.6	1.5	1.8	2.6	6.5	43.2	47.6	9.1

■性的マイノリティ・性的マイノリティ以外の結果

※《いずれかの時期にあった》は、「小学校1～3年生の頃」、「小学校4～6年生の頃」、「中学校の頃」、「高等学校・16～18歳頃」、「19歳以降現在まで」のいずれか1つでも選択した人を指す

(1) 性的マイノリティを差別する言動を見聞きすること

性的マイノリティの知り合いがこの事柄で悩んでいる(いた)時期について、回答者を『性的マイノリティ』と『性的マイノリティ以外』に分けて集計した結果、『性的マイノリティ』、『性的マイノリティ以外』ともに「19歳以降現在まで」(51.6%、39.6%)が最も多くなっている。また、『性的マイノリティ』で「高等学校・16～18歳頃」(33.9%)と「中学校の頃」(29.0%)が約3割で比較的多くなっている。

《いずれかの時期にあった》は『性的マイノリティ』(64.5%)、『性的マイノリティ以外』(51.1%)ともに過半数を占めており、『性的マイノリティ』が『性的マイノリティ以外』より13.4ポイント多くなっている。

	調査数	《いずれかの時期にあった》					※上段が件数、下段が割合			
		1～3 小学生 の頃	4～6 小学生 の頃	中 学 校 の 頃	1 6 ～ 1 8 高 等 学 校 ・ 歳 頃	1 9 歳 以 降 現 在 ま で	な か っ た	無 回 答	《 い ず れ か の 時 期 に あ っ た か の 時 期	
全 体	340	13	23	41	64	142	142	16	182	
	100.0	3.8	6.8	12.1	18.8	41.8	41.8	4.7	53.5	
性的マイノリティ	62	6	11	18	21	32	20	2	40	
	100.0	9.7	17.7	29.0	33.9	51.6	32.3	3.2	64.5	
性的マイノリティ以外	278	7	12	23	43	110	122	14	142	
	100.0	2.5	4.3	8.3	15.5	39.6	43.9	5.0	51.1	

(2) 性的マイノリティであることを理由に差別的な言動やいじめ・ハラスメント・暴力を受けること

性的マイノリティの知り合いがこの事柄で悩んでいる(いた)時期について、回答者を『性的マイノリティ』と『性的マイノリティ以外』に分けて集計した結果、『性的マイノリティ』、『性的マイノリティ以外』ともに「19歳以降現在まで」(32.3%、20.1%)で最も多く、『性的マイノリティ』で約3割となっている。『性的マイノリティ』で「中学校の頃」(24.2%)と「高等学校・16～18歳頃」(21.0%)がそれぞれ約2割となっている。

《いずれかの時期にあった》は『性的マイノリティ』で46.8%、『性的マイノリティ以外』で29.1%となっており、『性的マイノリティ』が『性的マイノリティ以外』より17.7ポイント多くなっている。

	調査数	《いずれかの時期にあった》					※上段が件数、下段が割合			
		1～3 小学生 の頃	4～6 小学生 の頃	中 学 校 の 頃	1 6 ～ 1 8 高 等 学 校 ・ 歳 頃	1 9 歳 以 降 現 在 ま で	な か っ た	無 回 答	《 い ず れ か の 時 期 に あ っ た か の 時 期	
全 体	340	9	14	35	37	76	205	25	110	
	100.0	2.6	4.1	10.3	10.9	22.4	60.3	7.4	32.4	
性的マイノリティ	62	4	7	15	13	20	29	4	29	
	100.0	6.5	11.3	24.2	21.0	32.3	46.8	6.5	46.8	
性的マイノリティ以外	278	5	7	20	24	56	176	21	81	
	100.0	1.8	2.5	7.2	8.6	20.1	63.3	7.6	29.1	

(3) 家族に理解してもらえないこと

性的マイノリティの知り合いがこの事柄で悩んでいる(いた)時期について、回答者を『性的マイノリティ』と『性的マイノリティ以外』に分けて集計した結果、『性的マイノリティ』、『性的マイノリティ以外』ともに「19歳以降現在まで」(54.8%、41.7%)で最も多くなっている。また、『性的マイノリティ』で「高等学校・16～18歳頃」(33.9%)が約3割、「中学校の頃」(22.6%)が約2割となっている。

《いずれかの時期にあった》は『性的マイノリティ』(71.0%)、『性的マイノリティ以外』(50.0%)ともに半数以上を占めており、『性的マイノリティ』が『性的マイノリティ以外』より21.0ポイント多くなっている。

	調査数	《いずれかの時期にあった》					※上段が件数、下段が割合			
		1～3 小学生校 の頃	4～6 小学生校 の頃	中学校 の頃	16～18 高等学校・ 頃	19歳以 降 現在まで	な か つ た	無 回 答	に い あ ず つ れ た か の 時 期	
全 体	340	12	18	29	55	150	133	24	183	
	100.0	3.5	5.3	8.5	16.2	44.1	39.1	7.1	53.8	
性的マイノリティ	62	7	11	14	21	34	13	5	44	
	100.0	11.3	17.7	22.6	33.9	54.8	21.0	8.1	71.0	
性的マイノリティ以外	278	5	7	15	34	116	120	19	139	
	100.0	1.8	2.5	5.4	12.2	41.7	43.2	6.8	50.0	

(4) 更衣室、トイレなど男女区別のある施設が利用しづらいこと

性的マイノリティの知り合いがこの事柄で悩んでいる(いた)時期について、回答者を『性的マイノリティ』と『性的マイノリティ以外』に分けて集計した結果、『性的マイノリティ』、『性的マイノリティ以外』ともに「19歳以降現在まで」(30.6%、28.4%)で最も多くなっている。また、『性的マイノリティ』で「高等学校・16～18歳頃」(22.6%)、「中学校の頃」(16.1%)がそれぞれ約2割となっている。

《いずれかの時期にあった》は『性的マイノリティ』で37.1%、『性的マイノリティ以外』で34.9%となっており、『性的マイノリティ』と『性的マイノリティ以外』であまり差は見られなかった。

	調査数	《いずれかの時期にあった》					※上段が件数、下段が割合			
		1～3 小学生校 の頃	4～6 小学生校 の頃	中学校 の頃	16～18 高等 学校・ 頃	19歳以 降 現在まで	な か つ た	無 回 答	に い あ ず つ れ た か の 時 期	
全 体	340	9	12	24	43	98	194	26	120	
	100.0	2.6	3.5	7.1	12.6	28.8	57.1	7.6	35.3	
性的マイノリティ	62	5	6	10	14	19	35	4	23	
	100.0	8.1	9.7	16.1	22.6	30.6	56.5	6.5	37.1	
性的マイノリティ以外	278	4	6	14	29	79	159	22	97	
	100.0	1.4	2.2	5.0	10.4	28.4	57.2	7.9	34.9	

(5) 医療・福祉・住まい（賃貸）面で性的マイノリティに配慮した対応がなされないこと

性的マイノリティの知り合いがこの事柄で悩んでいる（いた）時期について、回答者を『性的マイノリティ』と『性的マイノリティ以外』に分けて集計した結果、『性的マイノリティ』、『性的マイノリティ以外』ともに「19歳以降現在まで」（50.0%、17.3%）で最も多くなっている。

《いずれかの時期にあった》は『性的マイノリティ』で53.2%と過半数を占めているが、『性的マイノリティ以外』で18.3%となっており、『性的マイノリティ』が『性的マイノリティ以外』より34.9ポイント多くなっている。

	調査数	《いずれかの時期にあった》					※上段が件数、下段が割合		
		1 ～ 3 小 学 生 校 の 頃	4 ～ 6 小 学 生 校 の 頃	中 学 校 の 頃	1 6 ～ 1 8 高 等 学 校 ・ 歳 頃	1 9 歳 以 降 現 在 ま で	な か っ た	無 回 答	に い あ ず れ た か の 時 期
全 体	340	4	5	8	18	79	225	31	84
	100.0	1.2	1.5	2.4	5.3	23.2	66.2	9.1	24.7
性的マイノリティ	62	2	3	4	8	31	25	4	33
	100.0	3.2	4.8	6.5	12.9	50.0	40.3	6.5	53.2
性的マイノリティ以外	278	2	2	4	10	48	200	27	51
	100.0	0.7	0.7	1.4	3.6	17.3	71.9	9.7	18.3

(6) 行政窓口で性的マイノリティへの配慮が足りないこと

性的マイノリティの知り合いがこの事柄で悩んでいる（いた）時期について、回答者を『性的マイノリティ』と『性的マイノリティ以外』に分けて集計した結果、『性的マイノリティ』、『性的マイノリティ以外』ともに「19歳以降現在まで」（46.8%、15.8%）で最も多くなっている。

《いずれかの時期にあった》は『性的マイノリティ』で51.6%と過半数を占めているが、『性的マイノリティ以外』で16.9%となっており、『性的マイノリティ』が『性的マイノリティ以外』より34.7ポイント多くなっている。

	調査数	《いずれかの時期にあった》					※上段が件数、下段が割合		
		1 ～ 3 小 学 生 校 の 頃	4 ～ 6 小 学 生 校 の 頃	中 学 校 の 頃	1 6 ～ 1 8 高 等 学 校 ・ 歳 頃	1 9 歳 以 降 現 在 ま で	な か っ た	無 回 答	に い あ ず れ た か の 時 期
全 体	340	3	3	5	13	73	230	31	79
	100.0	0.9	0.9	1.5	3.8	21.5	67.6	9.1	23.2
性的マイノリティ	62	1	1	2	6	29	26	4	32
	100.0	1.6	1.6	3.2	9.7	46.8	41.9	6.5	51.6
性的マイノリティ以外	278	2	2	3	7	44	204	27	47
	100.0	0.7	0.7	1.1	2.5	15.8	73.4	9.7	16.9

第2章 調査結果の詳細

(7) 同性パートナーが遺族年金や扶養控除、手当などを受けられないこと

性的マイノリティの知り合いがこの事柄で悩んでいる（いた）時期について、回答者を『性的マイノリティ』と『性的マイノリティ以外』に分けて集計した結果、『性的マイノリティ』、『性的マイノリティ以外』ともに「19歳以降現在まで」（51.6%、18.3%）で最も多くなっている。

《いずれかの時期にあった》は『性的マイノリティ』で54.8%と過半数を占めているが、『性的マイノリティ以外』で19.1%となっており、『性的マイノリティ』が『性的マイノリティ以外』より35.7ポイント多くなっている。

	調査数	《いずれかの時期にあった》					※上段が件数、下段が割合			
		1 ～ 3 小 学 生 校 の 頃	4 ～ 6 小 学 生 校 の 頃	中 学 校 の 頃	1 6 ～ 1 8 高 等 学 校 ・ 歳 頃	1 9 歳 以 降 現 在 ま で	な か っ た	無 回 答	に い あ づ れ た か の 時 期	
全 体	340	1	2	2	6	83	215	38	87	
	100.0	0.3	0.6	0.6	1.8	24.4	63.2	11.2	25.6	
性的マイノリティ	62	1	2	2	4	32	23	5	34	
	100.0	1.6	3.2	3.2	6.5	51.6	37.1	8.1	54.8	
性的マイノリティ以外	278	-	-	-	2	51	192	33	53	
	100.0	-	-	-	0.7	18.3	69.1	11.9	19.1	

(8) 学校や修学旅行などの宿泊行事で風呂や就寝場所が希望どおりとならないこと

性的マイノリティの知り合いがこの事柄で悩んでいる（いた）時期について、回答者を『性的マイノリティ』と『性的マイノリティ以外』に分けて集計した結果、『性的マイノリティ』、『性的マイノリティ以外』ともに「19歳以降現在まで」（24.2%、12.9%）で最も多くなっている。また、『性的マイノリティ』では「高等学校・16～18歳頃」（22.6%）も同程度となっている。

《いずれかの時期にあった》は『性的マイノリティ』で40.3%、『性的マイノリティ以外』で21.2%となっており、『性的マイノリティ』が『性的マイノリティ以外』より19.1ポイント多くなっている。

	調査数	《いずれかの時期にあった》					※上段が件数、下段が割合			
		1 ～ 3 小 学 生 校 の 頃	4 ～ 6 小 学 生 校 の 頃	中 学 校 の 頃	1 6 ～ 1 8 高 等 学 校 ・ 歳 頃	1 9 歳 以 降 現 在 ま で	な か っ た	無 回 答	に い あ づ れ た か の 時 期	
全 体	340	6	7	23	37	51	225	31	84	
	100.0	1.8	2.1	6.8	10.9	15.0	66.2	9.1	24.7	
性的マイノリティ	62	4	3	9	14	15	33	4	25	
	100.0	6.5	4.8	14.5	22.6	24.2	53.2	6.5	40.3	
性的マイノリティ以外	278	2	4	14	23	36	192	27	59	
	100.0	0.7	1.4	5.0	8.3	12.9	69.1	9.7	21.2	

(9) 学校や職場の制服が性的マイノリティに配慮されないこと

性的マイノリティの知り合いがこの事柄で悩んでいる（いた）時期について、回答者を『性的マイノリティ』と『性的マイノリティ以外』に分けて集計した結果、『性的マイノリティ』、『性的マイノリティ以外』ともに「19歳以降現在まで」（35.5%、19.8%）で最も多くなっている。『性的マイノリティ』で「高等学校・16～18歳頃」（21.0%）が約2割となっている。

《いずれかの時期にあった》は『性的マイノリティ』で46.8%、『性的マイノリティ以外』で32.7%となっており、『性的マイノリティ』が『性的マイノリティ以外』より14.1ポイント多くなっている。

	調査数	《いずれかの時期にあった》					※上段が件数、下段が割合		
		1～3 小学生校 の頃	4～6 小学生校 の頃	中学校 の頃	16～18 高等学校・ 頃	19歳以降 現在まで	な か っ た	無 回 答	い づ れ か の 時 期
全 体	340	5	4	28	42	77	191	29	120
	100.0	1.5	1.2	8.2	12.4	22.6	56.2	8.5	35.3
性的マイノリティ	62	1	1	7	13	22	28	5	29
	100.0	1.6	1.6	11.3	21.0	35.5	45.2	8.1	46.8
性的マイノリティ以外	278	4	3	21	29	55	163	24	91
	100.0	1.4	1.1	7.6	10.4	19.8	58.6	8.6	32.7

(10) 学校や職場で通称名を使用できないこと

性的マイノリティの知り合いがこの事柄で悩んでいる（いた）時期について、回答者を『性的マイノリティ』と『性的マイノリティ以外』に分けて集計した結果、『性的マイノリティ』、『性的マイノリティ以外』ともに「19歳以降現在まで」（25.8%、11.9%）で最も多くなっており、「19歳以降現在まで」以外は1割未満となっている。

《いずれかの時期にあった》は『性的マイノリティ』で30.6%、『性的マイノリティ以外』で13.7%となっており、『性的マイノリティ』が『性的マイノリティ以外』より16.9ポイント多くなっている。

	調査数	《いずれかの時期にあった》					※上段が件数、下段が割合		
		1～3 小学生校 の頃	4～6 小学生校 の頃	中学校 の頃	16～18 高等学校・ 頃	19歳以降 現在まで	な か っ た	無 回 答	い づ れ か の 時 期 に
全 体	340	4	4	3	8	49	248	35	57
	100.0	1.2	1.2	0.9	2.4	14.4	72.9	10.3	16.8
性的マイノリティ	62	2	3	2	4	16	37	6	19
	100.0	3.2	4.8	3.2	6.5	25.8	59.7	9.7	30.6
性的マイノリティ以外	278	2	1	1	4	33	211	29	38
	100.0	0.7	0.4	0.4	1.4	11.9	75.9	10.4	13.7

(11) 入学試験や就職の際の面接等で差別やハラスメントを受けること

性的マイノリティの知り合いがこの事柄で悩んでいる（いた）時期について、回答者を『性的マイノリティ』と『性的マイノリティ以外』に分けて集計した結果、『性的マイノリティ』、『性的マイノリティ以外』ともに「19歳以降現在まで」（24.2%、9.4%）で最も多くなっている。『性的マイノリティ』で「19歳以降現在まで」以外は1割未満で、『性的マイノリティ以外』では、その他の時期では「高等学校・16～18歳頃」以外の回答は見られない。

《いずれかの時期にあった》は『性的マイノリティ』で29.0%、『性的マイノリティ以外』で9.7%となっており、『性的マイノリティ』が『性的マイノリティ以外』より19.3ポイント多くなっている。

	調査数	《いずれかの時期にあった》					※上段が件数、下段が割合		
		1～3 小学生校 の頃	4～6 小学生校 の頃	中学校 の頃	16～18 高等学校 ・ 8歳頃	19歳 以降 現在まで	な か つ た	無 回 答	あ い づ れ か の 時 期 に
全 体	340	1	1	2	7	41	261	34	45
	100.0	0.3	0.3	0.6	2.1	12.1	76.8	10.0	13.2
性的マイノリティ	62	1	1	2	4	15	39	5	18
	100.0	1.6	1.6	3.2	6.5	24.2	62.9	8.1	29.0
性的マイノリティ以外	278	-	-	-	3	26	222	29	27
	100.0	-	-	-	1.1	9.4	79.9	10.4	9.7

(12) 外国籍の同性パートナーの在留資格が申請しにくいこと

性的マイノリティの知り合いがこの事柄で悩んでいる（いた）時期について、回答者を『性的マイノリティ』と『性的マイノリティ以外』に分けて集計した結果、『性的マイノリティ』、『性的マイノリティ以外』ともに「19歳以降現在まで」（17.7%、5.0%）で最も多くなっている。『性的マイノリティ以外』では、その他の時期では「高等学校・16～18歳頃」以外の回答は見られない。

《いずれかの時期にあった》は『性的マイノリティ』で21.0%、『性的マイノリティ以外』で5.4%となっており、『性的マイノリティ』が『性的マイノリティ以外』より15.6ポイント多くなっている。

	調査数	《いずれかの時期にあった》					※上段が件数、下段が割合		
		1～3 小学生校 の頃	4～6 小学生校 の頃	中学校 の頃	16～18 高等学校 ・ 8歳頃	19歳 以降 現在まで	な か つ た	無 回 答	あ い づ れ か の 時 期 に
全 体	340	1	2	1	2	25	271	41	28
	100.0	0.3	0.6	0.3	0.6	7.4	79.7	12.1	8.2
性的マイノリティ	62	1	2	1	1	11	43	6	13
	100.0	1.6	3.2	1.6	1.6	17.7	69.4	9.7	21.0
性的マイノリティ以外	278	-	-	-	1	14	228	35	15
	100.0	-	-	-	0.4	5.0	82.0	12.6	5.4

(13) 冠婚葬祭などの出席を断られること

性的マイノリティの知り合いがこの事柄で悩んでいる（いた）時期について、回答者を『性的マイノリティ』と『性的マイノリティ以外』に分けて集計した結果、『性的マイノリティ』、『性的マイノリティ以外』ともに「19歳以降現在まで」（17.7%、3.6%）で最も多くなっている。『性的マイノリティ』では、その他の時期では「中学校の頃」以外の回答は見られない。

《いずれかの時期にあった》は『性的マイノリティ』で 19.4%、『性的マイノリティ以外』で 3.6%となっており、『性的マイノリティ』が『性的マイノリティ以外』より 15.8ポイント多くなっている。

	調査数	《いずれかの時期にあった》					※上段が件数、下段が割合			
		1 3 小学生校 の頃	4 6 小学生校 の頃	中 学 校 の 頃	1 6 高 等 学 校 ・ 1 8 歳 頃	1 9 歳 以 降 現 在 ま で	な か っ た	無 回 答	に い あ ず れ た か の 時 期	
全 体	340	-	-	1	-	21	282	36	22	
	100.0	-	-	0.3	-	6.2	82.9	10.6	6.5	
性的マイノリティ	62	-	-	1	-	11	44	6	12	
	100.0	-	-	1.6	-	17.7	71.0	9.7	19.4	
性的マイノリティ以外	278	-	-	-	-	10	238	30	10	
	100.0	-	-	-	-	3.6	85.6	10.8	3.6	

(14) 将来の生活プランを描けないこと

性的マイノリティの知り合いがこの事柄で悩んでいる（いた）時期について、回答者を『性的マイノリティ』と『性的マイノリティ以外』に分けて集計した結果、『性的マイノリティ』、『性的マイノリティ以外』ともに「19歳以降現在まで」（54.8%、34.2%）で最も多くなっている。『性的マイノリティ』で「高等学校・16～18歳頃」（19.4%）が約2割で比較的多くなっている。

《いずれかの時期にあった》は『性的マイノリティ』で 62.9%と過半数を占めているが、『性的マイノリティ以外』で 37.4%となっており、『性的マイノリティ』が『性的マイノリティ以外』より 25.5ポイント多くなっている。

	調査数	《いずれかの時期にあった》					※上段が件数、下段が割合			
		1 3 小学生校 の頃	4 6 小学生校 の頃	中 学 校 の 頃	1 6 高 等 学 校 ・ 1 8 歳 頃	1 9 歳 以 降 現 在 ま で	な か っ た	無 回 答	に い あ ず れ た か の 時 期	
全 体	340	1	3	4	22	129	169	28	143	
	100.0	0.3	0.9	1.2	6.5	37.9	49.7	8.2	42.1	
性的マイノリティ	62	1	2	2	12	34	17	6	39	
	100.0	1.6	3.2	3.2	19.4	54.8	27.4	9.7	62.9	
性的マイノリティ以外	278	-	1	2	10	95	152	22	104	
	100.0	-	0.4	0.7	3.6	34.2	54.7	7.9	37.4	

(15) 老後の生活に不安があること

性的マイノリティの知り合いがこの事柄で悩んでいる（いた）時期について、回答者を『性的マイノリティ』と『性的マイノリティ以外』に分けて集計した結果、『性的マイノリティ』、『性的マイノリティ以外』ともに「19歳以降現在まで」（58.1%、23.4%）で最も多くなっている。『性的マイノリティ以外』では、その他の時期では「高等学校・16～18歳頃」以外の回答は見られない。《いずれかの時期にあった》は『性的マイノリティ』で59.7%と過半数を占めているが、『性的マイノリティ以外』で24.1%となっており、『性的マイノリティ』が『性的マイノリティ以外』より35.6ポイント多くなっている。

	調査数	《いずれかの時期にあった》					※上段が件数、下段が割合		
		1～3 小学生の頃	4～6 小学生の頃	中学校の頃	16～18 高等学校・ 18歳頃	19歳以降 現在まで	なかった	無回答	あいづれたかの時期
全 体	340	1	1	1	8	101	204	32	104
	100.0	0.3	0.3	0.3	2.4	29.7	60.0	9.4	30.6
性的マイノリティ	62	1	1	1	6	36	19	6	37
	100.0	1.6	1.6	1.6	9.7	58.1	30.6	9.7	59.7
性的マイノリティ以外	278	-	-	-	2	65	185	26	67
	100.0	-	-	-	0.7	23.4	66.5	9.4	24.1

(16) アウティング（性的マイノリティ本人の了解なしに他人に暴露してしまうこと）されること

性的マイノリティの知り合いがこの事柄で悩んでいる（いた）時期について、回答者を『性的マイノリティ』と『性的マイノリティ以外』に分けて集計した結果、『性的マイノリティ』、『性的マイノリティ以外』ともに「19歳以降現在まで」（41.9%、19.4%）で最も多くなっている。『性的マイノリティ』で「高等学校・16～18歳頃」（21.0%）が約2割で比較的多くなっている。《いずれかの時期にあった》は『性的マイノリティ』で53.2%と過半数を占めているが、『性的マイノリティ以外』で23.4%となっており、『性的マイノリティ』が『性的マイノリティ以外』より29.8ポイント多くなっている。

	調査数	《いずれかの時期にあった》					※上段が件数、下段が割合		
		1～3 小学生の頃	4～6 小学生の頃	中学校の頃	16～18 高等学校・ 18歳頃	19歳以降 現在まで	なかった	無回答	あいづれたかの時期に
全 体	340	2	4	13	24	80	209	33	98
	100.0	0.6	1.2	3.8	7.1	23.5	61.5	9.7	28.8
性的マイノリティ	62	2	2	7	13	26	25	4	33
	100.0	3.2	3.2	11.3	21.0	41.9	40.3	6.5	53.2
性的マイノリティ以外	278	-	2	6	11	54	184	29	65
	100.0	-	0.7	2.2	4.0	19.4	66.2	10.4	23.4

(17) 他の性的マイノリティと交流する機会がないこと

性的マイノリティの知り合いがこの事柄で悩んでいる（いた）時期について、回答者を『性的マイノリティ』と『性的マイノリティ以外』に分けて集計した結果、『性的マイノリティ』、『性的マイノリティ以外』ともに「19歳以降現在まで」（32.3%、12.2%）で最も多くなっている。

《いずれかの時期にあった》は『性的マイノリティ』で41.9%、『性的マイノリティ以外』で13.3%となっており、『性的マイノリティ』が『性的マイノリティ以外』より28.6ポイント多くなっている。

	調査数	《いずれかの時期にあった》					※上段が件数、下段が割合		
		1 ～ 3 小 学 生 校 の 頃	4 ～ 6 小 学 生 校 の 頃	中 学 校 の 頃	1 6 ～ 1 8 高 等 学 校 ・ 頃	1 9 歳 以 降 現 在 ま で	な か っ た	無 回 答	あ い づ れ か の 時 期 に
全 体	340	3	5	5	11	54	243	34	63
	100.0	0.9	1.5	1.5	3.2	15.9	71.5	10.0	18.5
性的マイノリティ	62	3	5	4	8	20	32	4	26
	100.0	4.8	8.1	6.5	12.9	32.3	51.6	6.5	41.9
性的マイノリティ以外	278	-	-	1	3	34	211	30	37
	100.0	-	-	0.4	1.1	12.2	75.9	10.8	13.3

(18) 同性パートナーを公的に認証する制度がない、または不十分なこと

性的マイノリティの知り合いがこの事柄で悩んでいる（いた）時期について、回答者を『性的マイノリティ』と『性的マイノリティ以外』に分けて集計した結果、『性的マイノリティ』、『性的マイノリティ以外』ともに「19歳以降現在まで」（69.4%、33.8%）で最も多くなっている。

《いずれかの時期にあった》は『性的マイノリティ』で74.2%と過半数を占めているが、『性的マイノリティ以外』で35.3%となっており、『性的マイノリティ』が『性的マイノリティ以外』より38.9ポイント多くなっている。

	調査数	《いずれかの時期にあった》					※上段が件数、下段が割合		
		1 ～ 3 小 学 生 校 の 頃	4 ～ 6 小 学 生 校 の 頃	中 学 校 の 頃	1 6 ～ 1 8 高 等 学 校 ・ 頃	1 9 歳 以 降 現 在 ま で	な か っ た	無 回 答	あ い づ れ か の 時 期 に
全 体	340	2	2	5	12	137	162	34	144
	100.0	0.6	0.6	1.5	3.5	40.3	47.6	10.0	42.4
性的マイノリティ	62	2	2	4	5	43	12	4	46
	100.0	3.2	3.2	6.5	8.1	69.4	19.4	6.5	74.2
性的マイノリティ以外	278	-	-	1	7	94	150	30	98
	100.0	-	-	0.4	2.5	33.8	54.0	10.8	35.3

(19) その他

性的マイノリティの知り合いがこの事柄で悩んでいる（いた）時期について、回答者を『性的マイノリティ』と『性的マイノリティ以外』に分けて集計した結果、『性的マイノリティ』、『性的マイノリティ以外』ともに「19歳以降現在まで」（12.9%、5.0%）で最も多くなっている。

《いずれかの時期にあった》は『性的マイノリティ』で14.5%、『性的マイノリティ以外』で7.9%となっており、『性的マイノリティ』が『性的マイノリティ以外』より6.6ポイント多くなっている。

	調査数	《いずれかの時期にあった》					※上段が件数、下段が割合		
		1 ～ 3 小 年学 生校 の 頃	4 ～ 6 小 年学 生校 の 頃	中 学 校 の 頃	1 6 ～ 1 8 高 等 学 校 ・ 頃	1 9 歳 以 降 現 在 ま で	な か っ た	無 回 答	に い あ ず れ た か の 時 期
全 体	340	2	5	6	9	22	147	162	31
	100.0	0.6	1.5	1.8	2.6	6.5	43.2	47.6	9.1
性的マイノリティ	62	2	2	3	4	8	20	33	9
	100.0	3.2	3.2	4.8	6.5	12.9	32.3	53.2	14.5
性的マイノリティ以外	278	-	3	3	5	14	127	129	22
	100.0	-	1.1	1.1	1.8	5.0	45.7	46.4	7.9

(8) 性的マイノリティへの配慮・支援で国や地方自治体ができるべき取組

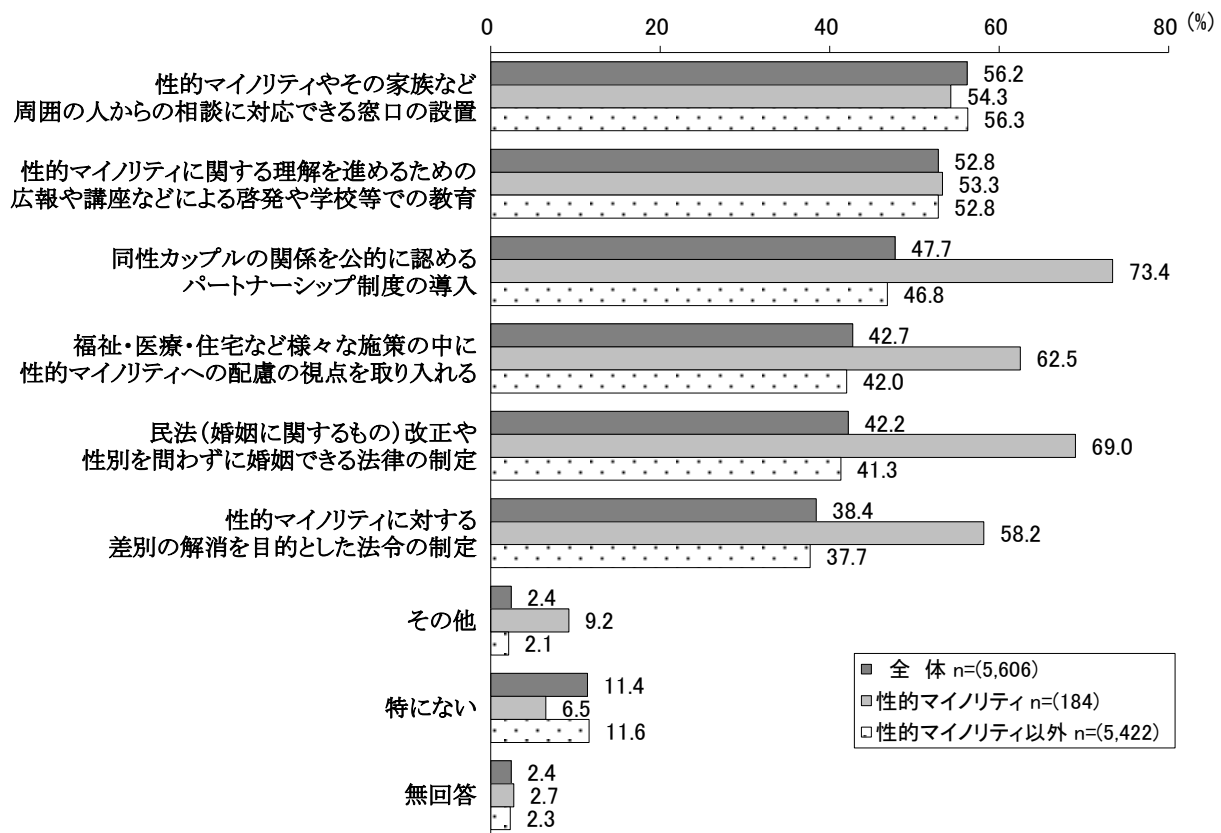
問20 性的マイノリティへの配慮・支援に関して、国や地方自治体ができるべき取組は次のうちどれですか。(あてはまる番号すべてに○)

全体では、「性的マイノリティやその家族など周囲の人からの相談に対応できる窓口の設置」が56.2%で最も多く、以下、「性的マイノリティに関する理解を進めるための広報や講座などによる啓発や学校等での教育」(52.8%)、「同性カップルの関係を公的に認めるパートナーシップ制度の導入」(47.7%)となっている。また、「特にない」(11.4%)は約1割となっている。

『性的マイノリティ』では、「同性カップルの関係を公的に認めるパートナーシップ制度の導入」が73.4%で最も多く、以下、「民法(婚姻に関するもの)改正や性別を問わずに婚姻できる法律の制定」(69.0%)、「福祉・医療・住宅など様々な施策の中に性的マイノリティへの配慮の視点を取り入れる」(62.5%)となっている。『性的マイノリティ以外』では、全体と同様の結果となっている。

「民法(婚姻に関するもの)改正や性別を問わずに婚姻できる法律の制定」は『性的マイノリティ』(69.0%)が『性的マイノリティ以外』(41.3%)より27.7ポイント、「同性カップルの関係を公的に認めるパートナーシップ制度の導入」は『性的マイノリティ』(73.4%)が『性的マイノリティ以外』(46.8%)より26.6ポイント多くなっている。

一方で、「特にない」は『性的マイノリティ以外』(11.6%)が『性的マイノリティ』(6.5%)より5.1ポイント多くなっている。



第2章 調査結果の詳細

■構成表

※上段が件数、下段が割合

	調査数	性的マイノリティの啓発や学校での教育	性的マイノリティの啓発や学校での教育	性的マイノリティの啓発や学校での教育	性的マイノリティの啓発や学校での教育	性的マイノリティの啓発や学校での教育	性的マイノリティの啓発や学校での教育	性的マイノリティの啓発や学校での教育	性的マイノリティの啓発や学校での教育	性的マイノリティの啓発や学校での教育	性的マイノリティの啓発や学校での教育
全体	5,606	2,961	3,151	2,393	2,674	2,368	2,153	132	640	132	
	100.0	52.8	56.2	42.7	47.7	42.2	38.4	2.4	11.4	2.4	
性的マイノリティ	184	98	100	115	135	127	107	17	12	5	
	100.0	53.3	54.3	62.5	73.4	69.0	58.2	9.2	6.5	2.7	
性的マイノリティ以外	5,422	2,863	3,051	2,278	2,539	2,241	2,046	115	628	127	
	100.0	52.8	56.3	42.0	46.8	41.3	37.7	2.1	11.6	2.3	

(9) 性的マイノリティへの配慮・支援で学校がすべき取組

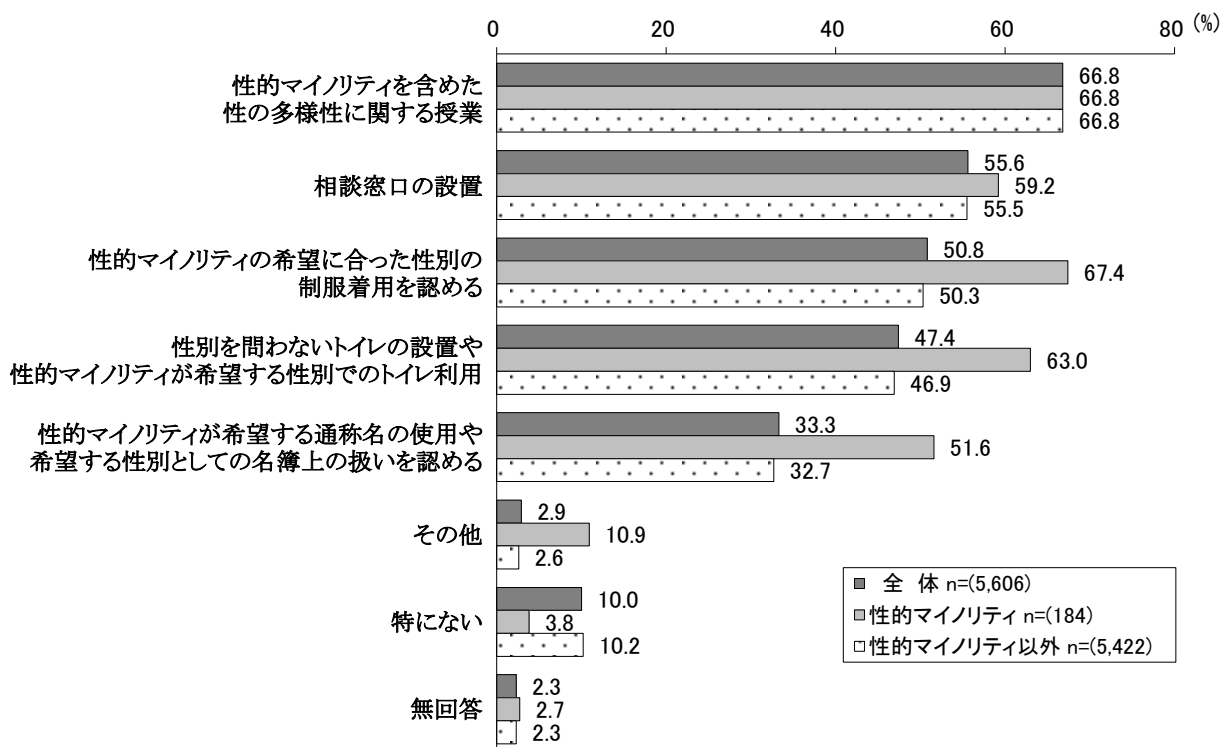
問21 性的マイノリティへの配慮・支援に関して、学校がすべき取組は次のうちどれですか。(あてはまる番号すべてに○)

全体では、「性的マイノリティを含めた性の多様性に関する授業」が66.8%で最も多く、以下、「相談窓口の設置」(55.6%)、「性的マイノリティの希望に合った性別の制服着用を認める」(50.8%)、となっている。

『性的マイノリティ』では、「性的マイノリティの希望に合った性別の制服着用を認める」が67.4%と最も多く、以下、「性的マイノリティを含めた性の多様性に関する授業」(66.8%)、「性別を問わないトイレの設置や性的マイノリティが希望する性別でのトイレ利用」(63.0%)となっている。『性的マイノリティ以外』では、全体と同様の結果となっている。

「性的マイノリティを含めた性の多様性に関する授業」を除いたすべての項目で、『性的マイノリティ』が『性的マイノリティ以外』を上回っており、特に「性的マイノリティが希望する通称名の使用や希望する性別としての名簿上の扱いを認める」は『性的マイノリティ』(51.6%)が『性的マイノリティ以外』(32.7%)より18.9ポイント、「性的マイノリティの希望に合った性別の制服着用を認める」は『性的マイノリティ』(67.4%)が『性的マイノリティ以外』(50.3%)より17.1ポイント多くなっている。また、「性的マイノリティを含めた性の多様性に関する授業」は『性的マイノリティ』と『性的マイノリティ以外』で同値(66.8%)となっている。

一方で、「特にない」は『性的マイノリティ以外』(10.2%)が『性的マイノリティ』(3.8%)より6.4ポイント多くなっている。



第2章 調査結果の詳細

■構成表

※上段が件数、下段が割合

	調査数	性的マイノリティに関する業務	相談窓口の設置	性的マイノリティの着用を認める	性的マイノリティの制服	性別を問わないトイレの設置	性的マイノリティの希望する通称の扱いを認める	その他	特になし	無回答
全 体	5,606	3,746	3,117	2,850	2,657	1,867	162	559	127	
	100.0	66.8	55.6	50.8	47.4	33.3	2.9	10.0	2.3	
性的マイノリティ	184	123	109	124	116	95	20	7	5	
	100.0	66.8	59.2	67.4	63.0	51.6	10.9	3.8	2.7	
性的マイノリティ以外	5,422	3,623	3,008	2,726	2,541	1,772	142	552	122	
	100.0	66.8	55.5	50.3	46.9	32.7	2.6	10.2	2.3	

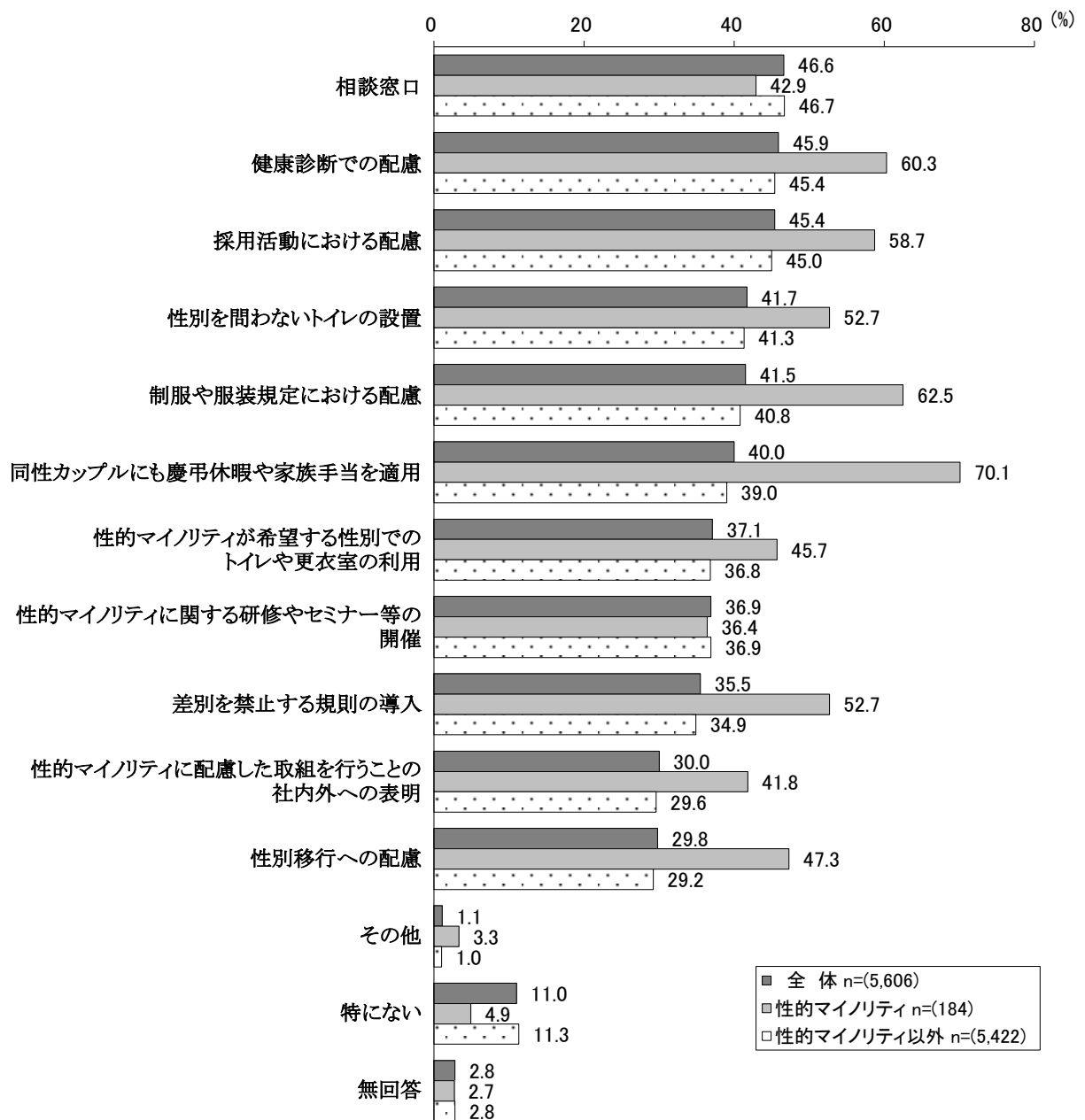
(10) 性的マイノリティへの配慮・支援で職場がするべき取組

問22 性的マイノリティへの配慮・支援に関して、職場がするべき取組は次のうちどれですか。(あてはまる番号すべてに○)

全体では、「相談窓口」が46.6%で最も多く、以下、「健康診断での配慮」(45.9%)、「採用活動における配慮」(45.4%)、「性別を問わないトイレの設置」(41.7%)、「制服や服装規定における配慮」(41.5%)となっている。

『性的マイノリティ』では、「同性カップルにも慶弔休暇や家族手当を適用」が70.1%で最も多く、以下、「制服や服装規定における配慮」(62.5%)、「健康診断での配慮」(60.3%)となっている。『性的マイノリティ以外』では、全体と同様の結果となっている。

「同性カップルにも慶弔休暇や家族手当を適用」は『性的マイノリティ』(70.1%)が『性的マイノリティ以外』(39.0%)より31.1ポイント、「制服や服装規定における配慮」は『性的マイノリティ』(62.5%)が『性的マイノリティ以外』(40.8%)より21.7ポイント多くなっている。



第2章 調査結果の詳細

■構成表

※上段が件数、下段が割合

	調査数	性的マイノリティに関する研修やセミナー等開催	採用活動における配慮	休暇や家族手当にも適用	健康診断での配慮	相談窓口	性別を問わないトイレの設置	性的マイノリティが希望する更衣室の利用	制服や服装規定における配慮	性別移行への配慮	差別を禁止する規則の導入	性的マイノリティに対する社内取組を行うこと	その他	特になし	無回答
全体	5,606	2,070	2,546	2,243	2,573	2,611	2,338	2,081	2,327	1,671	1,988	1,684	60	619	158
	100.0	36.9	45.4	40.0	45.9	46.6	41.7	37.1	41.5	29.8	35.5	30.0	1.1	11.0	2.8
性的マイノリティ	184	67	108	129	111	79	97	84	115	87	97	77	6	9	5
	100.0	36.4	58.7	70.1	60.3	42.9	52.7	45.7	62.5	47.3	52.7	41.8	3.3	4.9	2.7
性的マイノリティ以外	5,422	2,003	2,438	2,114	2,462	2,532	2,241	1,997	2,212	1,584	1,891	1,607	54	610	153
	100.0	36.9	45.0	39.0	45.4	46.7	41.3	36.8	40.8	29.2	34.9	29.6	1.0	11.3	2.8

5. 性別、恋愛、性について

(1) 性別（出生時の戸籍・出生時の性別）

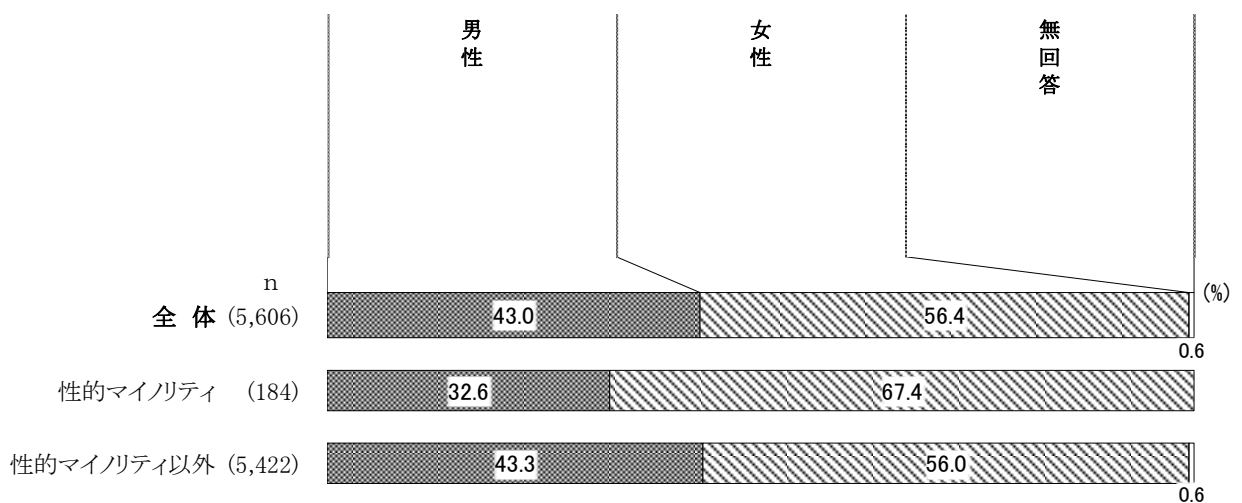
問23 あなたの性別をお答えください。（出生時の戸籍・出生届の性別）

※「出生時」とは、生まれたときにもっとも近い時点のことを指します。

（あてはまる番号1つに○）

全体では、「女性」が56.4%、「男性」が43.0%となっている。

『性的マイノリティ』では、「女性」が67.4%、「男性」が32.6%となっている。『性的マイノリティ以外』では、全体と同様の傾向となっている。



■構成表

※上段が件数、下段が割合

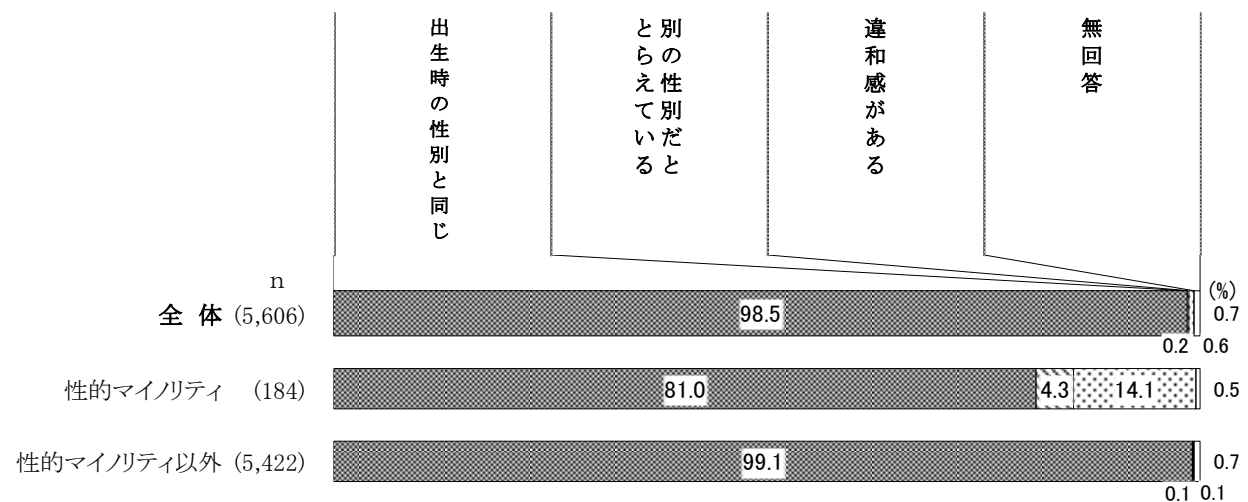
	調査数	男性	女性	無回答
全体	5,606	2,409	3,163	34
	100.0	43.0	56.4	0.6
性的マイノリティ	184	60	124	-
	100.0	32.6	67.4	-
性的マイノリティ以外	5,422	2,349	3,039	34
	100.0	43.3	56.0	0.6

(2) 今の性別と出生時の性別の認識

問24 あなたは今のご自分の性別を、出生時の性別（問23で○をつけたもの）と同じだととらえていますか。（あてはまる番号1つに○）

全体では、「出生時の性別と同じ」が98.5%、「違和感がある」が0.6%、「別の性別だととらえている」が0.2%となっている。

『性的マイノリティ』では、「出生時の性別と同じ」が81.0%、「違和感がある」が14.1%、「別の性別だととらえている」が4.3%となっている。『性的マイノリティ以外』では、全体と同様の傾向となっている。



■構成表

※上段が件数、下段が割合

	調査数	出生時の性別と同じ	別の性別だととらえている	違和感がある	無回答
全体	5,606	5,523	13	32	38
	100.0	98.5	0.2	0.6	0.7
性的マイノリティ	184	149	8	26	1
	100.0	81.0	4.3	14.1	0.5
性的マイノリティ以外	5,422	5,374	5	6	37
	100.0	99.1	0.1	0.1	0.7

※『性的マイノリティ以外』に分類した方の中にも、問24で「別の性別だととらえている」や「違和感がある」と回答した方がいるが、性的マイノリティの分類については問23や問25とも関連付けて行っているためこのような結果となる。

(例) 問23で「1. 男性」、問24で「2. 別の性別」、問25で「1. 男性」と回答した方は、『性的マイノリティ以外』に分類される)

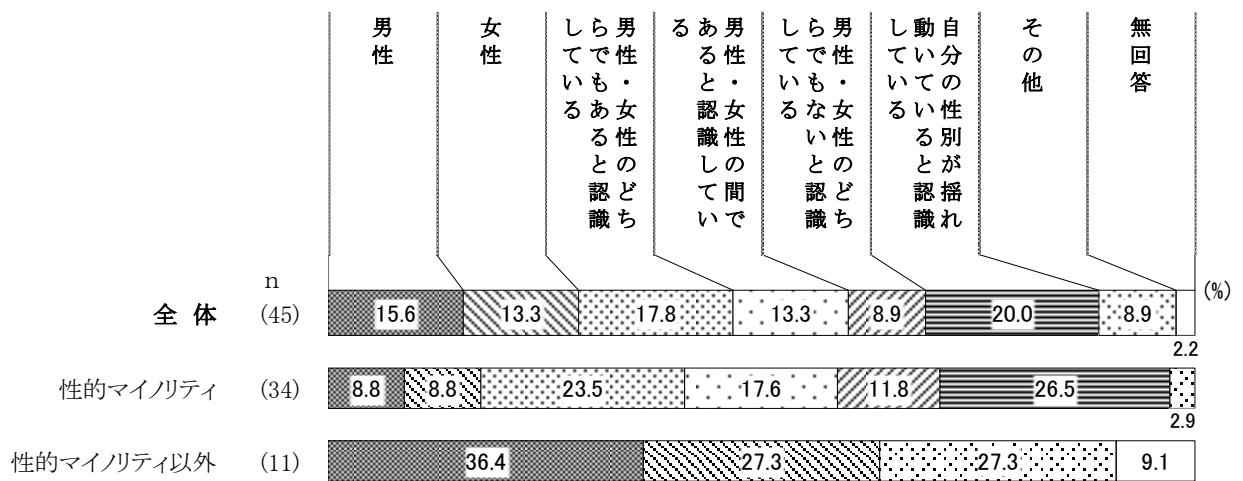
本調査における性的マイノリティの分類は、「第1章 調査の概要」の「6 報告書の見方」(6ページ)にて説明している。

(3) 現在の性自認

【問24で「別の性別だととらえている」や「違和感がある」と答えた方】
 問25 今の認識にもっとも近い性別をお答えください。(あてはまる番号1つに○)

全体では、「自分の性別が揺れ動いていると認識している」が20.0%で最も多く、以下、「男性・女性のどちらでもあると認識している」(17.8%)、「男性」(15.6%)、「女性」(13.3%)、「男性・女性の間であると認識している」(13.3%)となっている。

『性的マイノリティ』では、「自分の性別が揺れ動いていると認識している」が26.5%で最も多く、以下、「男性・女性のどちらでもあると認識している」(23.5%)、「男性・女性の間であると認識している」(17.6%)となっている。



■構成表

※上段が件数、下段が割合

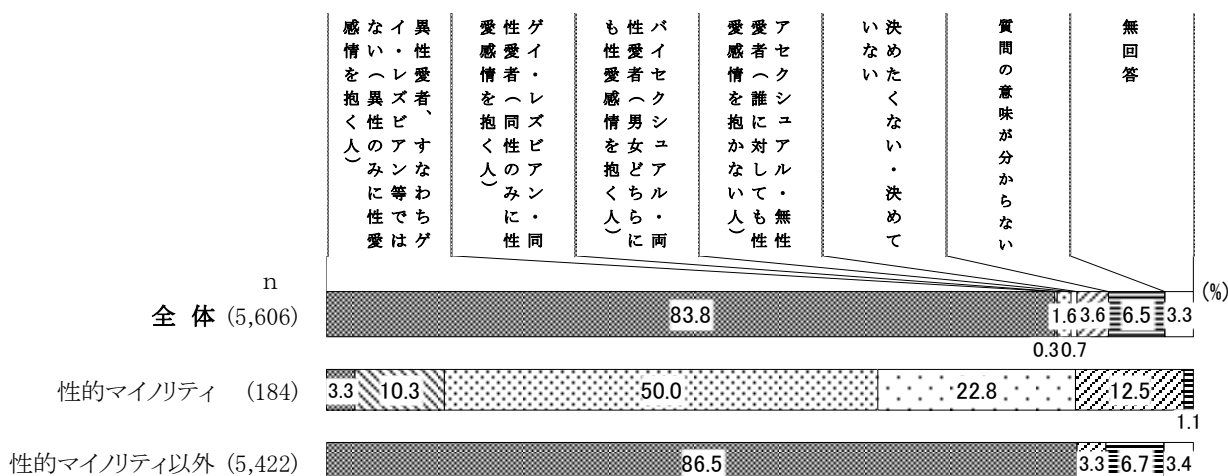
	調査数	男性	女性	しら男性 らでも いるあ る女性 とのど ち認識	ある男 性と女 性の間 いで	しら男 性でも いない 女性と の認識	し動自 ている 自分の 性別が 揺れ動 いている と認識	その他	無回答
全体	45	7	6	8	6	4	9	4	1
	100.0	15.6	13.3	17.8	13.3	8.9	20.0	8.9	2.2
性的マイノリティ	34	3	3	8	6	4	9	1	-
	100.0	8.8	8.8	23.5	17.6	11.8	26.5	2.9	-
性的マイノリティ以外	11	4	3	-	-	-	-	3	1
	100.0	36.4	27.3	-	-	-	-	27.3	9.1

(4) 性的指向

問26 次の中で、あなたにもっとも近いと思うものに○をつけてください。
(あてはまる番号1つに○)

全体では、「異性愛者、すなわちゲイ・レズビアン等ではない（異性のみに性愛感情を抱く人）」が83.8%で最も多く、以下、「質問の意味が分からない」（6.5%）、「決めたくない・決めていない」（3.6%）、「バイセクシュアル・両性愛者（男女どちらにも性愛感情を抱く人）」（1.6%）となっている。

『性的マイノリティ』では、「バイセクシュアル・両性愛者（男女どちらにも性愛感情を抱く人）」が50.0%で最も多く、以下、「アセクシュアル・無性愛者（誰に対しても性愛感情を抱かない人）」（22.8%）、「決めたくない・決めていない」（12.5%）、「ゲイ・レズビアン・同性愛者（同性のみに性愛感情を抱く人）」（10.3%）となっている。『性的マイノリティ以外』では、全体と同様の傾向となっている。



■構成表

※上段が件数、下段が割合

	調査数	異性愛者等ではない	ゲイ・レズビアン	バイセクシュアル・両性愛者	アセクシュアル・無性愛者	決めたくない・決めていない	質問の意味が分からない	無回答
全体	5,606	4,697	19	92	42	204	366	186
	100.0	83.8	0.3	1.6	0.7	3.6	6.5	3.3
性的マイノリティ	184	6	19	92	42	23	2	-
	100.0	3.3	10.3	50.0	22.8	12.5	1.1	-
性的マイノリティ以外	5,422	4,691	-	-	-	181	364	186
	100.0	86.5	-	-	-	3.3	6.7	3.4

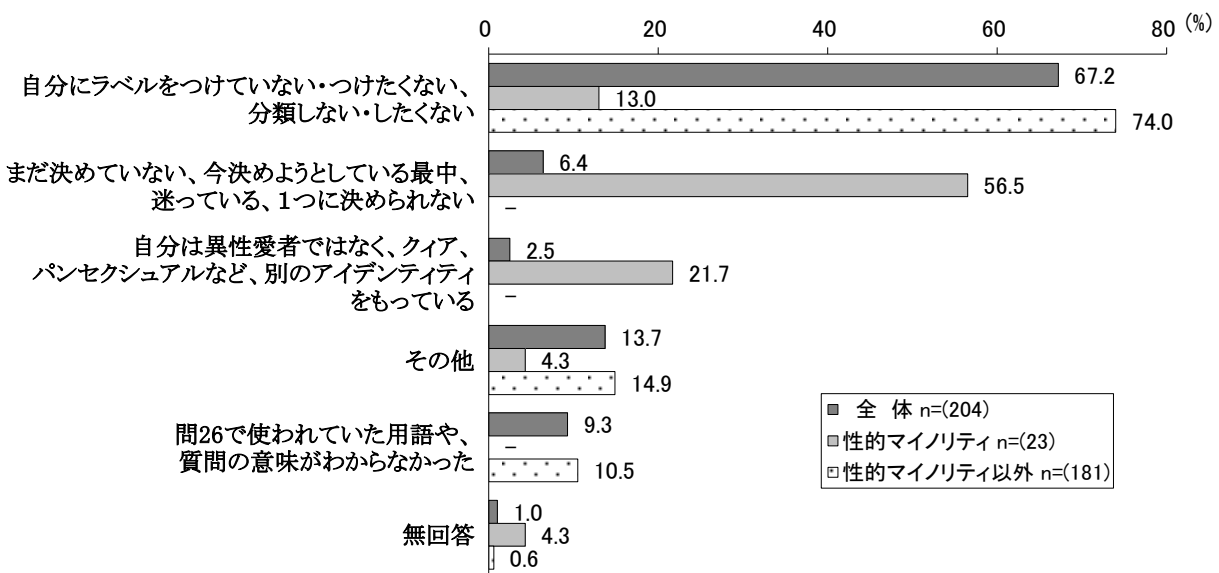
(5) 性的指向を決めたくない・決めていない理由

【問26で「決めたくない・決めていない」と答えた方】
 問27 その理由でもっとも近いものは次のうちどれですか。(あてはまる番号1つに○)

全体では、「自分にラベルをつけていない・つけたくない、分類しない・したくない」が67.2%で最も多く、以下、「問26で使われていた用語や、質問の意味がわからなかった」(9.3%)、「まだ決めていない、今決めようとしている最中、迷っている、1つに決められない」(6.4%)、「自分は異性愛者ではなく、クィア、パンセクシュアルなど、別のアイデンティティをもっている」(2.5%)となっている。

『性的マイノリティ』は回答者数が少ないため参考にみると、「まだ決めていない、今決めようとしている最中、迷っている、1つに決められない」が56.5%で最も多く、以下、「自分は異性愛者ではなく、クィア、パンセクシュアルなど、別のアイデンティティをもっている」が21.7%、「自分にラベルをつけていない・つけたくない、分類しない・したくない」が13.0%となっている。

『性的マイノリティ以外』では、「自分にラベルをつけていない・つけたくない、分類しない・したくない」(74.0%)が多くなっている。



■ 構成表

※上段が件数、下段が割合

	調査数	ていし、く自分 いデクは るンアク テルイ異 イなア性 テど、愛 イ、バ者 を別で ものセは っアクな	に中決ま 決、めだ め迷よ決 らつうめ れてとて ないしい いるてな 、いい、 1る、 っ最今	くない自 な、な分 い、分に 類・ラ しつべ なけれ いたを ・くっ しなけ たて	そ の 他	わ用問 か語2 らや、6 な、で か質使 つ問わ たのれ 意て 味が た	無 回 答
全体	204	5	13	137	28	19	2
	100.0	2.5	6.4	67.2	13.7	9.3	1.0
性的マイノリティ	23	5	13	3	1	-	1
	100.0	21.7	56.5	13.0	4.3	-	4.3
性的マイノリティ以外	181	-	-	134	27	19	1
	100.0	-	-	74.0	14.9	10.5	0.6

【性的マイノリティの分類について】

6 ページに記載の定義に従い、本調査で性的マイノリティに分類した人の数は 184 人（回答者 5,606 人の 3.3%）だった。

また、内訳の人数は次の表となった。

性自認に関する 性的マイノリティ：30 人	トランスジェンダー (生まれたときに割り当てられた性別と自認する性別が一致しない人)	男女いずれかの性を自認している (割り当てられた性別が男性で現在の自認が女性である人及び割り当てられた性別が女性で現在の自認が男性である人)	3 人
		男女いずれの性も自認していない (Xジェンダー・ノンバイナリー)	27 人
性的指向に関する 性的マイノリティ：171 人	同性愛者		19 人
	両性愛者		92 人
	無性愛者		42 人
	クエスチョニング		18 人

※『性自認に関するマイノリティ』(30 人)と『性的指向に関するマイノリティ』(171 人)の両方に分類した人がいるので、両方の合計人数(201 人)と『性的マイノリティ』の人数(184 人)は一致しない。

なお、問 25 (現在の性自認)で「その他」を選択した人のうち、「性転換手術をして戸籍上男性になった」等と回答した人がいた。これらの方々が現在も自分を性的マイノリティと認識しているか分からないため、本調査では性的マイノリティに分類しなかった。

以降の「6. カミングアウトについて」、「7. 性的マイノリティについて (悩んだ経験や相談状況)」については、性的マイノリティのみ回答することを想定しているため、集計対象を『性的マイノリティ』に限定している。

6. カミングアウトについて

(1) 最初にカミングアウトした時期

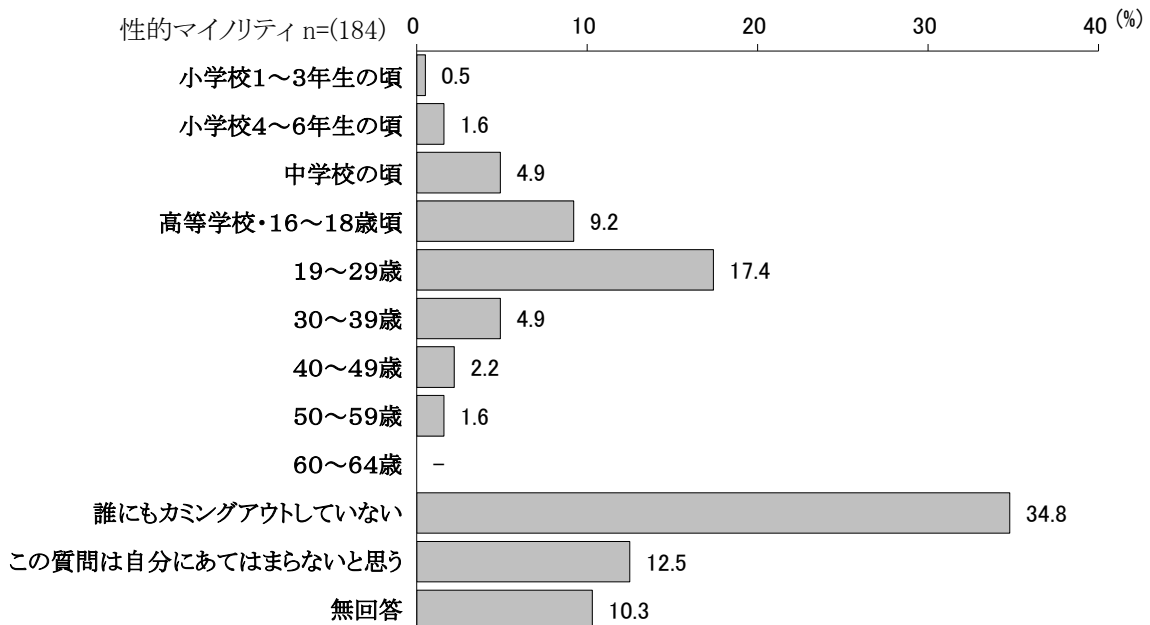
問28 あなたが、最初にカミングアウト※した時期はいつですか。

(あてはまる番号1つに○)

※カミングアウト…自分が性的マイノリティである/あるいはそうかもしれないことを打ち明けること

『性的マイノリティ』では、「誰にもカミングアウトしていない」が34.8%で最も多く、「この質問は自分にあてはまらないと思う」(12.5%)も1割以上となっている。カミングアウトした時期については、「19～29歳」(17.4%)、「高等学校・16～18歳頃」(9.2%)が多くなっている。

《いずれかの時期にカミングアウトした》(「小学校1～3年生の頃」、「小学校4～6年生の頃」、「中学校の頃」、「高等学校・16～18歳頃」、「19～29歳」、「30～39歳」、「40～49歳」、「50～59歳」、「60～64歳」のいずれか1つでも選択した人)は、『性的マイノリティ』で42.4%となっている。



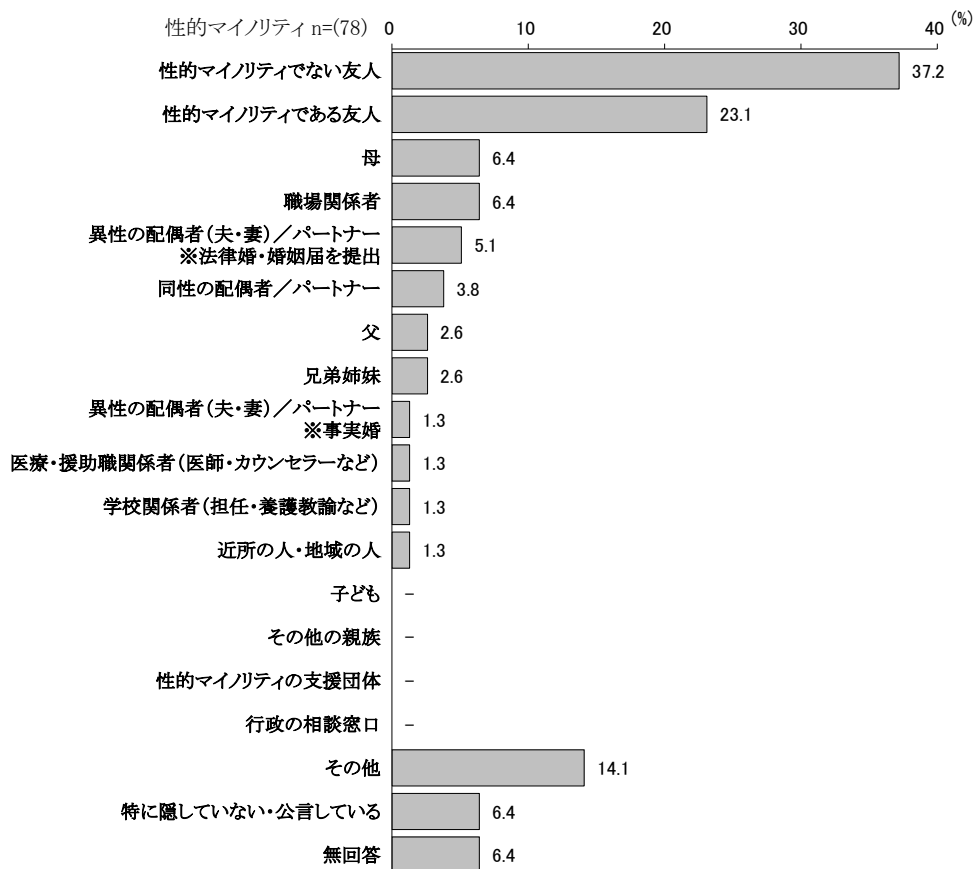
■構成表

	調査数	《いずれかの時期にカミングアウトした》										※上段が件数、下段が割合			
		1 小 3 学 年 校 生 生 の 生 頃 頃	4 小 6 小 年 学 生 校 の 生 頃 頃	中 学 校 の 頃	1 高 6 等 学 1 校 8・ 歳 歳 頃	1 9 歳	3 0 歳	4 0 歳	5 0 歳	6 0 歳	6 4 歳	誰 に も カ ミ ン グ ア ウ ト し て い な い	こ の 質 問 は 自 分 に あ て は ま ら な い と 思 う	無 回 答	期 間 に い ず れ か の 時 期 に カ ミ ン グ ア ウ ト し た
性的マイノリティ	184	1	3	9	17	32	9	4	3	-	64	23	19	78	
	100.0	0.5	1.6	4.9	9.2	17.4	4.9	2.2	1.6	-	34.8	12.5	10.3	42.4	

(2) 最初にカミングアウトした相手

【問28でいずれかの時期にカミングアウトしたと答えた方】
 問29 最初にカミングアウトした相手は誰ですか。(あてはまる番号すべてに○)

『性的マイノリティ』では、「性的マイノリティでない友人」(37.2%)、「性的マイノリティである友人」(23.1%)が特に多く、以下、「母」(6.4%)、「職場関係者」(6.4%)、「異性の配偶者(夫・妻)／パートナー※法律婚・婚姻届を提出」(5.1%)となっている。「特に隠していない・公言している」は6.4%となっている。「子ども」、「その他の親族」、「性的マイノリティの支援団体」、「行政の相談窓口」は回答が見られなかった。



■構成表

※上段が件数、下段が割合

調査数	性的マイノリティでない友人	性的マイノリティである友人	法律婚・異性の配偶者(夫・妻)／パートナー※法	実婚・異性の配偶者(夫・妻)／パートナー※事	同性の配偶者／パート	父	母	子ども	兄弟姉妹	その他の親族
	78	29	18	4	1	3	2	5	-	2
100.0	37.2	23.1	5.1	1.3	3.8	2.6	6.4	-	2.6	-
調査数	職場関係者	性的マイノリティの支援団体	医療・援助職関係者(医師・カウンセラーなど)	学校関係者(担任・養護教諭など)	行政の相談窓口	近所の人・地域の人	その他	特に隠していない・公言している	無回答	
78	5	-	1	1	-	1	11	5	5	
100.0	6.4	-	1.3	1.3	-	1.3	14.1	6.4	6.4	

(3) それ以外にカミングアウトした相手

【問29でカミングアウトした相手をいずれか答えた方】

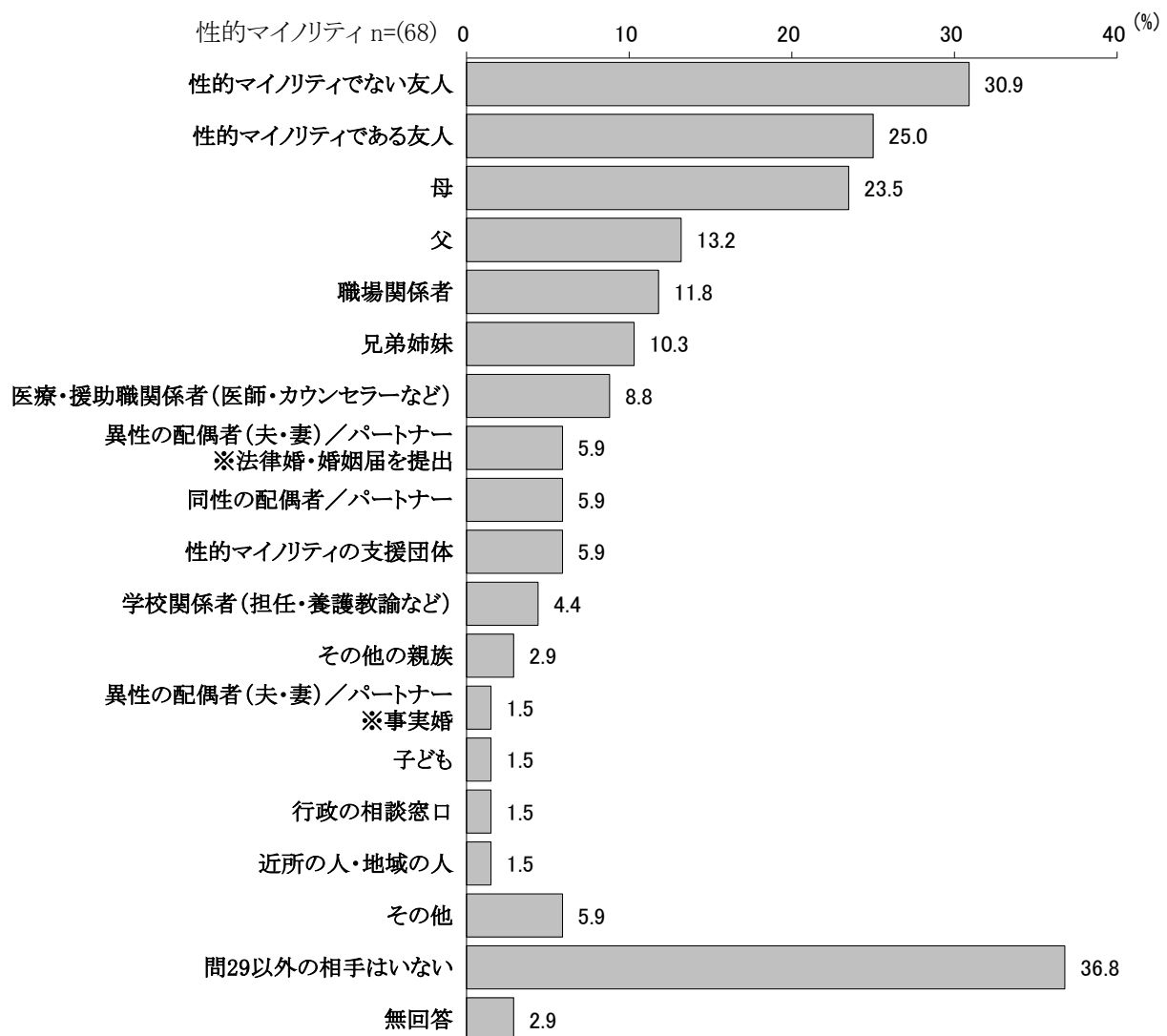
問30 問29で選んだ相手以外でこれまでにカミングアウトした相手は誰ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

※問30は、問29でいずれかの相手を選択した（「特に隠していない・公言している」以外を選択した）68人を対象に集計

『性的マイノリティ』では、「問29以外の相手はいない」が36.8%で最も多くなっている。カミングアウトした相手についてみると、「性的マイノリティでない友人」(30.9%)、「性的マイノリティである友人」(25.0%)、「母」(23.5%)が多くなっている。

《いずれかの相手にカミングアウトした》（「性的マイノリティでない友人」、「性的マイノリティである友人」、「異性の配偶者（夫・妻）／パートナー※法律婚・婚姻届を提出」、「異性の配偶者（夫・妻）／パートナー※事実婚」、「同性の配偶者／パートナー」、「父」、「母」、「子ども」、「兄弟姉妹」、「その他の親族」、「職場関係者」、「性的マイノリティの支援団体」、「医療・援助職関係者（医師・カウンセラーなど）」、「学校関係者（担任・養護教諭など）」、「行政の相談窓口」、「近所の人・地域の人」、「その他」のいずれか1つでも選択した人）は、『性的マイノリティ』で60.3%となっている。



第2章 調査結果の詳細

■構成表

※《いずれかの相手にカミングアウトした》は、「性的マイノリティでない友人」、「性的マイノリティである友人」、「異性の配偶者（夫・妻）／パートナー※法律婚・婚姻届を提出」、「異性の配偶者（夫・妻）／パートナー※事実婚」、「同性の配偶者／パートナー」、「父」、「母」、「子ども」、「兄弟姉妹」、「その他の親族」、「職場関係者」、「性的マイノリティの支援団体」、「医療・援助職関係者（医師・カウンセラーなど）」、「学校関係者（担任・養護教諭など）」、「行政の相談窓口」、「近所の人・地域の人」、「その他」のいずれか1つでも選択した人を指す

※上段が件数、下段が割合

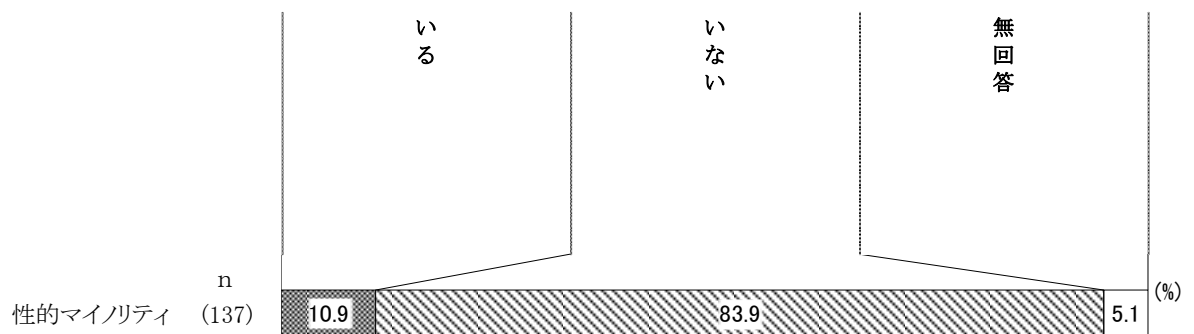
	調査数	性的マイノリティでない友人	性的マイノリティである友人	異性の配偶者（夫・妻）／パートナー※法律婚・婚姻届を提出	異性の配偶者（夫・妻）／パートナー※事実婚	同性の配偶者／パートナー	父	母	子ども	兄弟姉妹	その他の親族
性的マイノリティ	68	21	17	4	1	4	9	16	1	7	2
	100.0	30.9	25.0	5.9	1.5	5.9	13.2	23.5	1.5	10.3	2.9
	調査数	職場関係者	性的マイノリティの支援団体	医療・援助職関係者（医師・カウンセラーなど）	学校関係者（担任・養護教諭など）	行政の相談窓口	近所の人・地域の人	その他	間29以外の相手はいない	無回答	《いずれかの相手にカミングアウトした》
性的マイノリティ	68	8	4	6	3	1	1	4	25	2	41
	100.0	11.8	5.9	8.8	4.4	1.5	1.5	5.9	36.8	2.9	60.3

(4) 今後カミングアウトしたい相手の有無

問31 (今後) カミングアウトしたいと思っている相手はいますか。
(あてはまる番号1つに○)

※問31は、問28で「誰にもカミングアウトしていない」を選択した64人と、問29で「特に隠していない・公言している」以外を選択した73人（無回答を含む）を合わせた137人を対象に集計

『性的マイノリティ』では、「いない」が83.9%、「いる」が10.9%となっている。



■構成表

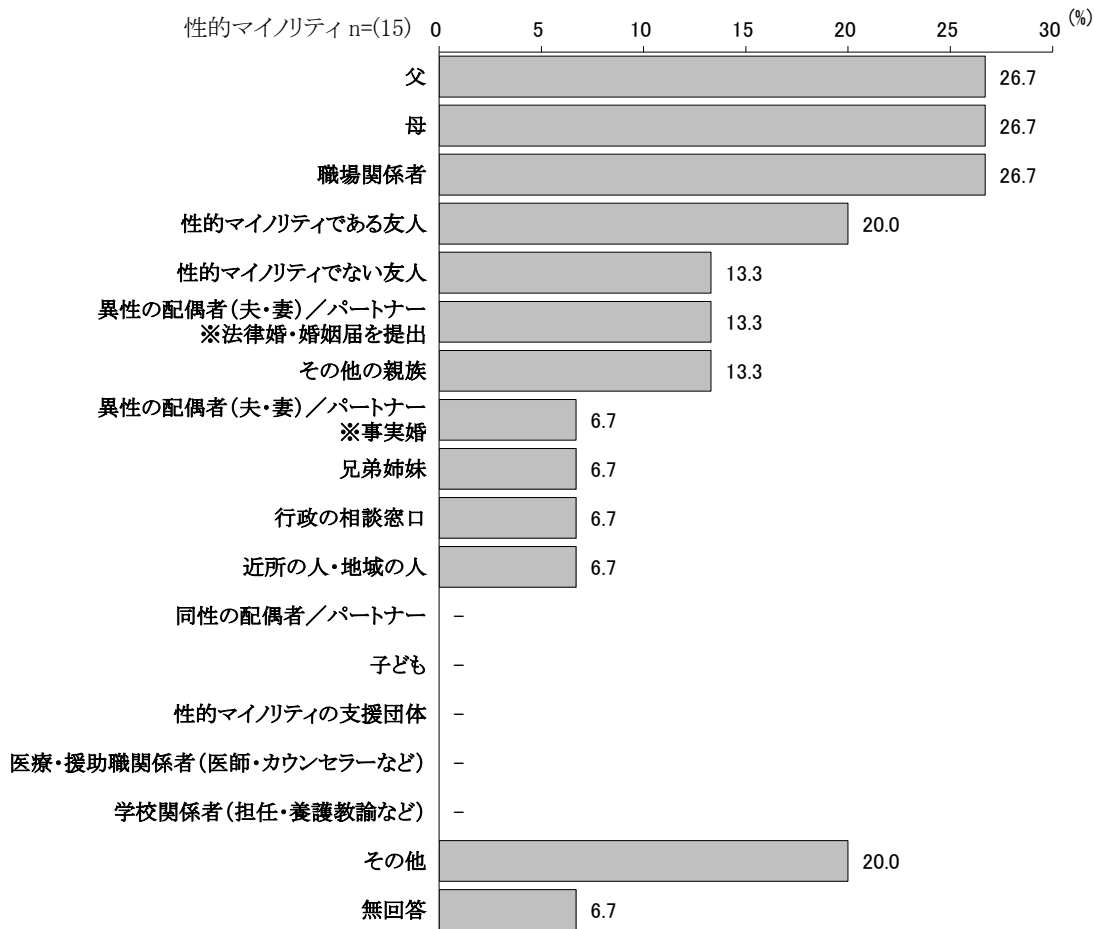
※上段が件数、下段が割合

	調査数	いる	いない	無回答
性的マイノリティ	137	15	115	7
	100.0	10.9	83.9	5.1

(5) 今後カミングアウトしたい相手

問31-1 【問31で「いる」と答えた方】
 カミングアウトしたいと思っている人について、当てはまるものをすべてお答えください。
 (あてはまる番号1つに○)

回答者数が少ないため参考にみると、『性的マイノリティ』では、「父」、「母」、「職場関係者」がそれぞれ26.7%で最も多く、次いで、「性的マイノリティである友人」(20.0%)となっている。「同性の配偶者／パートナー」、「子ども」、「性的マイノリティの支援団体」、「医療・援助職関係者(医師・カウンセラーなど)」、「学校関係者(担任・養護教諭など)」は回答が見られなかった。



■構成表

※上段が件数、下段が割合

	調査数	性的マイノリティでない友人	性的マイノリティである友人	異性の配偶者(夫・妻)/パートナー ※法律婚・婚姻届を提出	異性の配偶者(夫・妻)/パートナー ※事実婚	同性の配偶者／パートナー	父	母	子ども	兄弟姉妹	その他の親族
性的マイノリティ	15	2	3	2	1	-	4	4	-	1	2
	100.0	13.3	20.0	13.3	6.7	-	26.7	26.7	-	6.7	13.3

	調査数	職場関係者	性的マイノリティの支援団体	医療・援助職関係者(医師・カウンセラーなど)	学校関係者(担任・養護教諭など)	行政の相談窓口	近所の人・地域の人	その他	無回答
性的マイノリティ	15	4	-	-	-	1	1	3	1
	100.0	26.7	-	-	-	6.7	6.7	20.0	6.7

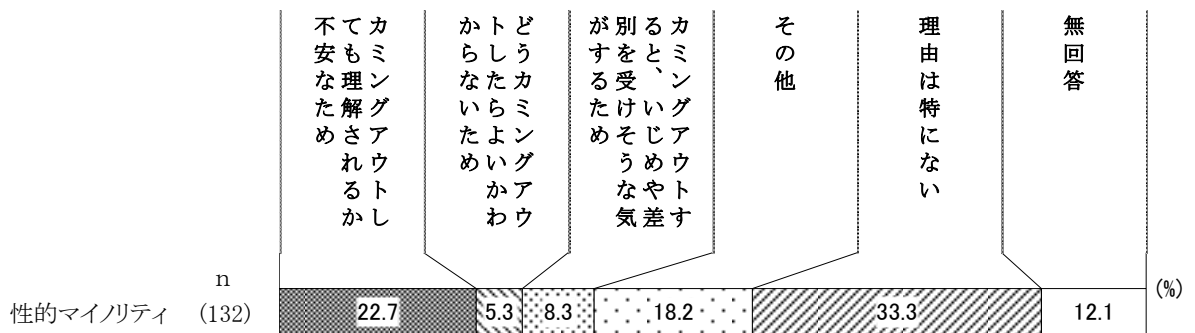
(6) カミングアウトしていない、カミングアウトしたいと思う相手がいない理由

【問28で「誰にもカミングアウトしていない」、もしくは問29で「特に隠していない・公言している」以外と答えた方】

問32 誰にもカミングアウトしていない、カミングアウトしたいと思っている相手にカミングアウトしていない、あるいは（今後）カミングアウトしたいと思う相手はいない、主な理由は次のうちどれですか。（あてはまる番号1つに○）

※問32は、問28で「誰にもカミングアウトしていない」を選択した64人と、問29でいずれかの相手を選択した（「特に隠していない・公言している」以外を選択した）68人を合わせた132人を対象に集計

『性的マイノリティ』では、「理由は特にない」が33.3%で最も多く、以下、「カミングアウトしても理解されるか不安なため」(22.7%)、「カミングアウトすると、いじめや差別を受けそうな気がするため」(8.3%)、「どうカミングアウトしたらよいかわからないため」(5.3%)となっている。



■ 構成表

※上段が件数、下段が割合

	調査数	不安なため	カミングアウトすると、いじめや差別を受けそうな気がする	どうカミングアウトしたらよいかわからない	理由が特別ない	無回答
性的マイノリティ	132	30	7	11	24	16
	100.0	22.7	5.3	8.3	18.2	12.1

6. 性的マイノリティについて（悩んだ経験や相談状況）

（1）学生時代に性的マイノリティであること／関連したことで悩んだ経験

問33 あなたは、学校に通っていたころ、性的マイノリティである/あるいは関連したことで、次のような、悩んだこと、困ったこと、不安だったこと、気になったことはありましたか。（それぞれの時期、それぞれの内容について、あてはまる番号すべてに○）

『性的マイノリティ』では、《経験がある》（「小学校1～3年生の頃」、「小学校4～6年生の頃」、「中学校の頃」、「高等学校の頃」、「左の欄以降の学校（大学等）」のいずれか1つでも選択した人）が、『（1）性的マイノリティを差別する言動を見聞きすること』が46.7%で最も多くなっており、以下、『（5）学校で性的マイノリティに関する授業がない、あるいは十分でないこと』（42.9%）、『（4）誰に相談したらよいか分からないこと』（32.1%）となっている。ほとんどの項目で「どの学校でもなかった」が多くを占めているが、『（1）性的マイノリティを差別する言動を見聞きすること』で《経験がある》（46.7%）が「どの学校でもなかった」（40.8%）より多く、『（5）学校で性的マイノリティに関する授業がない、あるいは十分でないこと』で《経験がある》（42.9%）と「どの学校でもなかった」（43.5%）が同程度となっている。

悩んだ時期についてみると、「高等学校の頃」が『（5）学校で性的マイノリティに関する授業がない、あるいは十分でないこと』（33.2%）、『（1）性的マイノリティを差別する言動を見聞きすること』（30.4%）で特に多くなっている。

※上段が件数、下段が割合

	調査数	《経験がある》						無回答	《経験がある》
		1～3 小学生の頃	4～6 小学生の頃	中学校の頃	高等学校の頃	左の欄以降の 学校（大学等）	どの学校でも なかった		
（1）性的マイノリティを差別する言動を見聞きすること	184	18	34	51	56	30	75	23	86
	100.0	9.8	18.5	27.7	30.4	16.3	40.8	12.5	46.7
（2）性的マイノリティであることを理由とした差別的な言動やいじめ・暴力を受けること	184	9	18	29	24	15	109	24	51
	100.0	4.9	9.8	15.8	13.0	8.2	59.2	13.0	27.7
（3）家族に理解してもらえないこと	184	8	13	24	28	29	106	26	52
	100.0	4.3	7.1	13.0	15.2	15.8	57.6	14.1	28.3
（4）誰に相談したらよいか分からないこと	184	6	13	28	32	30	99	26	59
	100.0	3.3	7.1	15.2	17.4	16.3	53.8	14.1	32.1
（5）学校で性的マイノリティに関する授業がない、あるいは十分でないこと	184	31	40	50	61	38	80	25	79
	100.0	16.8	21.7	27.2	33.2	20.7	43.5	13.6	42.9
（6）学校で更衣室、トイレなど男女区別のある施設が利用しづらいこと	184	9	12	19	20	14	130	26	28
	100.0	4.9	6.5	10.3	10.9	7.6	70.7	14.1	15.2
（7）学校で制服を自由に選べないこと	184	9	9	42	38	11	104	26	54
	100.0	4.9	4.9	22.8	20.7	6.0	56.5	14.1	29.3
（8）学校の修学旅行などの宿泊行事で風呂や就寝場所が希望どおりとならないこと	184	8	14	25	25	11	118	28	38
	100.0	4.3	7.6	13.6	13.6	6.0	64.1	15.2	20.7
（9）学校で通称名で呼ばれることができないこと	184	4	6	13	9	8	135	30	19
	100.0	2.2	3.3	7.1	4.9	4.3	73.4	16.3	10.3
（10）肯定的な将来像を描けないこと	184	9	12	26	27	30	105	30	49
	100.0	4.9	6.5	14.1	14.7	16.3	57.1	16.3	26.6
（11）アウティング（性的マイノリティ本人の了解なしに他人に暴露してしまうこと）されること	184	-	3	17	19	18	122	28	34
	100.0	-	1.6	9.2	10.3	9.8	66.3	15.2	18.5
（12）その他	184	-	-	1	2	3	62	117	5
	100.0	-	-	0.5	1.1	1.6	33.7	63.6	2.7

(2) 職場で性的マイノリティであること／関連したことで悩んだこと

問34 あなたは、性的マイノリティとして/あるいは関連したことで、これまでに、職場で悩んだこと、困ったこと、不安だったこと、気になったことはありましたか。

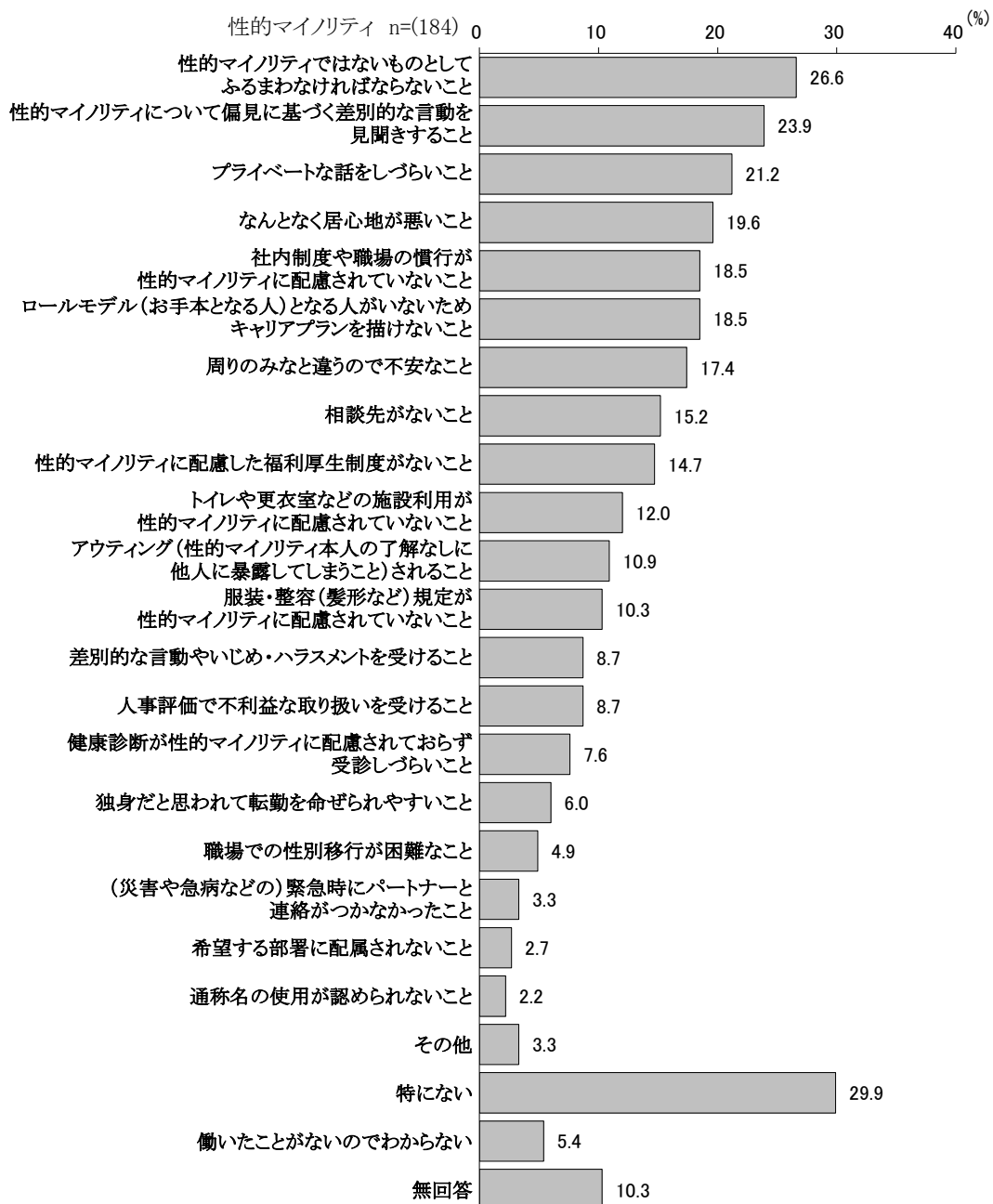
(あてはまるものすべてに○)

※一度も働いたことがない方は、「働いたことがないのでわからない」を選んでください。

『性的マイノリティ』では、「特にない」が29.9%で最も多くなっている。

悩んだことについてみると、「性的マイノリティではないものとしてふるまわなければならないこと」(26.6%)、「性的マイノリティについて偏見に基づく差別的な言動を見聞きすること」(23.9%)、「プライベートな話をしづらいこと」(21.2%)となっている。

《悩んだことがあった》(「特にない」、「働いたことがないのでわからない」を除いたいずれかに1つでも選択した人)は、『性的マイノリティ』で54.3%となっており、過半数を占めている。



第2章 調査結果の詳細

■構成表

※「悩んだことがあった」は、「特にない」、「働いたことがないのでわからない」を除いたいずれかに1つでも選択した人を指す

※上段が件数、下段が割合

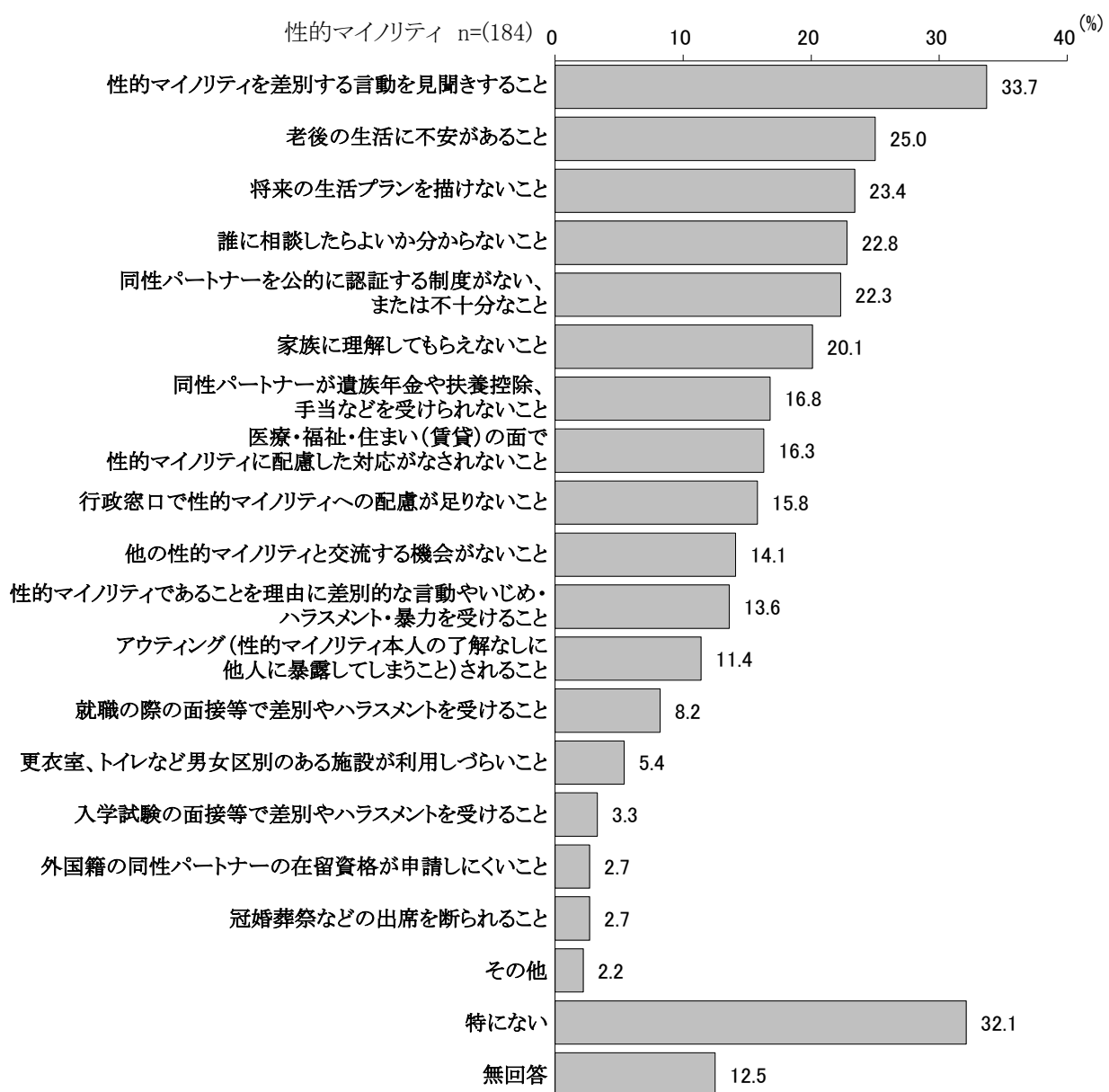
	調査数	プライベートな話をしづらいこと	性的マイノリティではないものとしてふるまわなければならないこと	相談先がないこと	社内制度や職場の慣行が性的マイノリティに配慮されていないこと	ロールモデル（お手本となる人）と描けないこと そのためキャリアプラン	性的マイノリティについて偏見に基づく差別的な言動を見聞きすること	差別的な言動やいじめ・ハラスメントを受けること	服装・整容（髪形など）規定が性的マイノリティに配慮されていないこと	トイレや更衣室などの施設利用が性的マイノリティに配慮されていないこと	健康診断が性的マイノリティに配慮されておらず受診しづらいこと	性的マイノリティに配慮した福利厚生制度がないこと	人事評価で不利益な取り扱いを受けること	
性的マイノリティ	184	39	49	28	34	34	44	16	19	22	14	27	16	
	100.0	21.2	26.6	15.2	18.5	18.5	23.9	8.7	10.3	12.0	7.6	14.7	8.7	
	調査数	と希望する部署に配属されないこと	独身だと思われることで転勤を命ぜられやすいこと	と通称名の使用が認められないこと	アウトティング（性的マイノリティ本人の了解なしに他人に暴露してしまうこと）されること	職場での性別移行が困難なこと	（災害や急病などの）緊急時にパートナーと連絡がつかないこと	なんとなく居心地が悪いこと	と周りのみなど違うので不安なこと	その他	特にない	働いたことがないのでわからない	無回答	悩んだことがあった
性的マイノリティ	184	5	11	4	20	9	6	36	32	6	55	10	19	100
	100.0	2.7	6.0	2.2	10.9	4.9	3.3	19.6	17.4	3.3	29.9	5.4	10.3	54.3

(3) 学校卒業後、職場以外で性的マイノリティであること／関連したことで悩んだこと

問35 学校を出てから現在まで、性的マイノリティとして/あるいは関連したことで、職場以外で悩んだこと、困ったこと、不安だったこと、気になったことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

『性的マイノリティ』では、「性的マイノリティを差別する言動を見聞きすること」が33.7%で最も多く、以下、「老後の生活に不安があること」(25.0%)、「将来の生活プランを描けないこと」(23.4%)、「誰に相談したらよいか分からないこと」(22.8%)となっている。一方で、「特にない」(32.1%)も3割以上と多くなっている。

《悩んだことがあった》(「特にない」を除いたいずれかに1つでも選択した人)は、『性的マイノリティ』で55.4%となっており、過半数を占めている。



第2章 調査結果の詳細

■構成表

※《悩んだことがあった》は、「特になし」を除いたいずれかに1つでも選択した人を指す

※上段が件数、下段が割合

	調査数	性的マイノリティを見聞きすること	性的マイノリティであることとハラスメント・暴力を受けること	家族に理解してもらえないこと	誰に相談したらよいか分からないこと	更衣室、トイレなど男女区別のある施設が利用しづらいこと	医療・福祉・住まい（賃貸）の面で性的マイノリティに配慮しなかったこと	行政窓口で性的マイノリティへの配慮が足りないこと	同性パートナーが遺族年金や扶養控除、手当などを受けられないこと	入学試験の面接等で差別やハラスメントを受けること	就職の際の面接等で差別やハラスメントを受けること
性的マイノリティ	184	62	25	37	42	10	30	29	31	6	15
	100.0	33.7	13.6	20.1	22.8	5.4	16.3	15.8	16.8	3.3	8.2

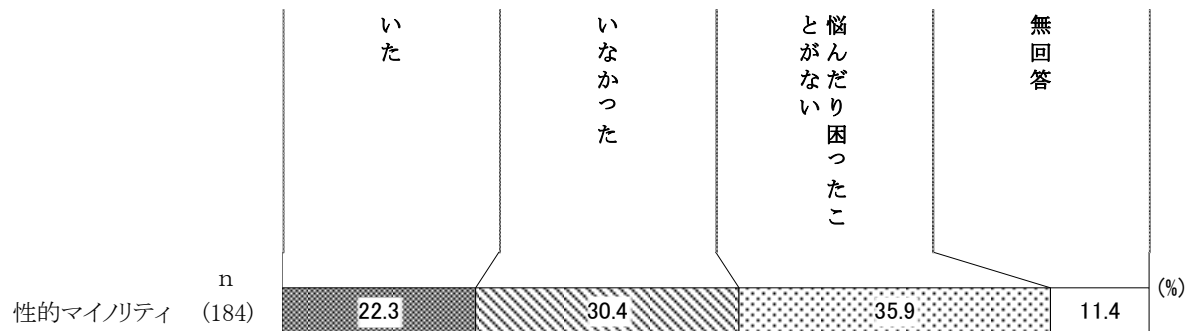
	調査数	外国籍の同性パートナーの在留資格が申請しにくいこと	冠婚葬祭などの出席を断られること	将来の生活プランを描けないこと	老後の生活に不安があること	アウトイング（性的マイノリティ本人の了解なしに他人に暴露してしまうこと）されること	他の性的マイノリティと交流する機会がないこと	同性パートナーを公的に認証すること	その他	特になし	無回答	悩んだことがあった
性的マイノリティ	184	5	5	43	46	21	26	41	4	59	23	102
	100.0	2.7	2.7	23.4	25.0	11.4	14.1	22.3	2.2	32.1	12.5	55.4

(4) 性的マイノリティであること／関連したことで悩んだときの相談相手の有無

問36 あなたは、性的マイノリティとして/あるいは関連したことで、悩んだり困ったとき、相談相手がありましたか。(あてはまるもの1つに○)

『性的マイノリティ』では、「悩んだり困ったことがない」が35.9%で最も多く、以下、「いなかった」(30.4%)、「いた」(22.3%)となっている。

《悩みがあった》(「いた」、「いなかった」の合計)は、『性的マイノリティ』で52.7%となっており、過半数を占めている。



■構成表

	調査数	《悩みがあった》			無回答	《悩みがあった》
		いた	いなかった	悩んだり困ったことがない		
性的マイノリティ	184	41	56	66	21	97
	100.0	22.3	30.4	35.9	11.4	52.7

※上段が件数、下段が割合

(5) 性的マイノリティであること／関連したことで悩んだときの相談相手がいた時期

【問36で「いた」と答えた方】

問37 あなたが性的マイノリティとして／あるいは関連したことで悩んだり困ったとき、いつ頃、次のような相談相手がいましたか。

(それぞれの相手、それぞれの時期について、あてはまるものすべてに○)

『性的マイノリティ』では、《いずれかの時期にいた》(「小学校1～3年生の頃」、「小学校4～6年生の頃」、「中学校の頃」、「高等学校・16～18歳頃」、「19歳以降現在まで」のいずれか1つでも選択した人)が、『(2) 性的マイノリティである友人』(78.0%)で最も多く、以下、『(1) 性的マイノリティでない友人』(53.7%)、『(5) 同性の配偶者／パートナー』(24.4%)となっている。

相談相手がいた時期についてみると、『(14) 学校関係者(担任・養護教諭など)』を除くすべての項目で「19歳以降現在まで」が最も多くなっており、『(14) 学校関係者(担任・養護教諭など)』では「高等学校・16～18歳の頃」が最も多くなっている。『(7) 母』はすべての時期に回答があるが、『(6) 父』は「19歳以降現在まで」以外の時期に回答が見られなかった。また、『(3) 異性の配偶者(夫・妻)／パートナー ※法律婚・婚姻届を提出』、『(10) その他の親族』、『(12) 性的マイノリティの支援団体』、『(15) 行政の相談窓口』、『(16) 近所の人・地域の人』、『(17) その他』でも「19歳以降現在まで」以外の時期に回答が見られなかった。

「どの時期にもいなかった」は、『(8) 子ども』が75.6%で最も多く、どの時期にも回答がない。

	調査数	《いずれかの時期にいた》						※上段が件数、下段が割合		
		1～3 小学校 の頃	4～6 小学校 の頃	中 学 校 の 頃	1 6 高 等 学 校 ・ 1 8 歳 頃	1 9 歳 以 降 現 在 ま で	ど の 時 期 に も い な か つ た	無 回 答	期 《 い ず れ か の 時 期 》	
(1) 性的マイノリティでない友人	41	1	2	3	9	15	12	7	22	
	100.0	2.4	4.9	7.3	22.0	36.6	29.3	17.1	53.7	
(2) 性的マイノリティである友人	41	-	1	4	10	27	8	1	32	
	100.0	-	2.4	9.8	24.4	65.9	19.5	2.4	78.0	
(3) 異性の配偶者(夫・妻)／パートナー ※法律婚・婚姻届を提出	41	-	-	-	-	3	28	10	3	
	100.0	-	-	-	-	7.3	68.3	24.4	7.3	
(4) 異性の配偶者(夫・妻)／パートナー ※事実婚	41	-	-	1	1	5	29	7	5	
	100.0	-	-	2.4	2.4	12.2	70.7	17.1	12.2	
(5) 同性の配偶者／パートナー	41	-	-	-	1	10	24	7	10	
	100.0	-	-	-	2.4	24.4	58.5	17.1	24.4	
(6) 父	41	-	-	-	-	3	29	9	3	
	100.0	-	-	-	-	7.3	70.7	22.0	7.3	
(7) 母	41	1	1	1	1	5	27	8	6	
	100.0	2.4	2.4	2.4	2.4	12.2	65.9	19.5	14.6	
(8) 子ども	41	-	-	-	-	-	31	10	-	
	100.0	-	-	-	-	-	75.6	24.4	-	
(9) 兄弟姉妹	41	-	-	2	1	5	26	9	6	
	100.0	-	-	4.9	2.4	12.2	63.4	22.0	14.6	
(10) その他の親族	41	-	-	-	-	3	28	10	3	
	100.0	-	-	-	-	7.3	68.3	24.4	7.3	
(11) 職場関係者	41	-	-	-	1	8	24	9	8	
	100.0	-	-	-	2.4	19.5	58.5	22.0	19.5	
(12) 性的マイノリティの支援団体	41	-	-	-	-	4	28	9	4	
	100.0	-	-	-	-	9.8	68.3	22.0	9.8	
(13) 医療・援助職関係者(医師・カウンセラーなど)	41	-	-	2	2	6	26	8	7	
	100.0	-	-	4.9	4.9	14.6	63.4	19.5	17.1	
(14) 学校関係者(担任・養護教諭など)	41	-	-	1	3	2	27	8	6	
	100.0	-	-	2.4	7.3	4.9	65.9	19.5	14.6	
(15) 行政の相談窓口	41	-	-	-	-	1	31	9	1	
	100.0	-	-	-	-	2.4	75.6	22.0	2.4	
(16) 近所の人・地域の人	41	-	-	-	-	1	31	9	1	
	100.0	-	-	-	-	2.4	75.6	22.0	2.4	
(17) その他	41	-	-	-	-	2	18	21	2	
	100.0	-	-	-	-	4.9	43.9	51.2	4.9	

第3章 集計表（参考資料）

1. 本人や家族について

(1) 年齢 (問1)

※上段が件数、下段が割合

	調査数	18 ～ 19歳	20 ～ 24歳	25 ～ 29歳	30 ～ 34歳	35 ～ 39歳	40 ～ 44歳	45 ～ 49歳	50 ～ 54歳	55 ～ 59歳	60 ～ 64歳	無 回 答
性自認に関する性的 マイノリティ	30	3	7	6	2	2	2	2	2	1	3	-
	100.0	10.0	23.3	20.0	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7	3.3	10.0	-
性的指向に関する性的 マイノリティ	171	5	26	32	28	10	20	19	14	10	7	-
	100.0	2.9	15.2	18.7	16.4	5.8	11.7	11.1	8.2	5.8	4.1	-

(2) 居住地域 (問2)

※上段が件数、下段が割合

	調査数	南部 地域	南 西 部 地 域	東 部 地 域	さい たま 地 域	県 央 地 域	川 越 比 企 地 域	西 部 地 域	利 根 地 域	北 部 地 域	秩 父 地 域	無 回 答
性自認に関する性的 マイノリティ	30	3	5	8	2	1	1	3	3	3	1	-
	100.0	10.0	16.7	26.7	6.7	3.3	3.3	10.0	10.0	10.0	3.3	-
性的指向に関する性的 マイノリティ	171	18	22	28	20	18	18	19	16	10	2	-
	100.0	10.5	12.9	16.4	11.7	10.5	10.5	11.1	9.4	5.8	1.2	-

(3) 同居者 (問3)

※上段が件数、下段が割合

	調査数	婚 ト ナ ー ※ 法 律 婚 ・ パ ー ト ナ ー ※ 事 実 婚	異 性 の 配 偶 者 / (夫・妻) ※ 事 実 配 偶 者 / (夫・妻) ※ 事 実 婚	同 性 の 配 偶 者 / パ ー ト ナ ー	子 ど も	父	母	義 父	義 母	
性自認に関する性的 マイノリティ	30	6	3	2	4	12	13	2	2	
	100.0	20.0	10.0	6.7	13.3	40.0	43.3	6.7	6.7	
性的指向に関する性的 マイノリティ	171	55	5	5	37	55	71	4	4	
	100.0	32.2	2.9	2.9	21.6	32.2	41.5	2.3	2.3	
	調査数	祖 父 ・ 祖 母	兄 弟 姉 妹	上 記 以 外 の 親 族	職 障 害 者 福 祉 施 設 等	ム ス リ ム 等 の 利 用 者	友 人 や グ ル ー プ ホ ウ ス 等	そ の 他	一 人 暮 ら し	無 回 答
性自認に関する性的 マイノリティ	30	2	6	1	-	-	-	-	2	-
	100.0	6.7	20.0	3.3	-	-	-	-	6.7	-
性的指向に関する性的 マイノリティ	171	4	42	3	-	1	2	30	-	-
	100.0	2.3	24.6	1.8	-	0.6	1.2	17.5	-	-

(4) 最終学歴 (問4)

※上段が件数、下段が割合

	調査数	小 ・ 中 学 校	(高 校 ・ 専 修 学 校 (高 等 課 程))	(専 門 ・ 専 修 学 校 (高 卒 後))	短 大 ・ 高 専	大 学	大 学 院	特 別 支 援 学 校	そ の 他	無 回 答
性自認に関する性的 マイノリティ	30	1	13	4	-	11	-	-	-	1
	100.0	3.3	43.3	13.3	-	36.7	-	-	-	3.3
性的指向に関する性的 マイノリティ	171	7	45	27	20	67	4	1	-	-
	100.0	4.1	26.3	15.8	11.7	39.2	2.3	0.6	-	-

2. 今の仕事や仕事の経験について

(1) 現在の仕事 (問5)

※上段が件数、下段が割合

	調査数	正社員	パート・臨時・アルバイト	派遣社員	契約社員・嘱託	会社などの経営者・役員	自営業者・自由業者	家族従業者(家業の手伝い)	内職	その他のお仕事
性自認に関する性的マイノリティ	30	9	3	1	3	-	3	-	-	-
	100.0	30.0	10.0	3.3	10.0	-	10.0	-	-	-
性的指向に関する性的マイノリティ	171	70	26	5	10	1	6	1	-	-
	100.0	40.9	15.2	2.9	5.8	0.6	3.5	0.6	-	-
	調査数	学生	家事育児(家族介護を含む)	定年退職・高齢のため無職	心身の事情で働けない	失業中	理由で仕事をしない	無回答		
性自認に関する性的マイノリティ	30	4	1	1	2	3	-	-		
	100.0	13.3	3.3	3.3	6.7	10.0	-	-		
性的指向に関する性的マイノリティ	171	14	17	-	7	12	1	1		
	100.0	8.2	9.9	-	4.1	7.0	0.6	0.6		

(2) 勤務先の業種 (問6)

※上段が件数、下段が割合

	調査数	農業、林業	漁業	鉱業、採石業、砂利採取	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業(出版、マスコミ業を含む)	運輸業、郵便業	卸売業、小売業	金融業、保険業	不動産業、物品賃貸業	
性自認に関する性的マイノリティ	19	-	-	-	2	1	1	1	1	4	2	-	
	100.0	-	-	-	10.5	5.3	5.3	5.3	5.3	21.1	10.5	-	
性的指向に関する性的マイノリティ	119	-	-	-	1	20	3	12	5	19	4	2	
	100.0	-	-	-	0.8	16.8	2.5	10.1	4.2	16.0	3.4	1.7	
	調査数	学術研究、専門・技術・芸術家業を含む	宿泊業、飲食サービス業	生活関連サービス業、娯楽業(洗濯・理美容・浴場業を含む)	教育、学習支援業	医療、福祉(保健衛生、社会保険・介護事業を含む)	複合サービス事業(郵便局、協同組合)	その他のサービス業(廃棄物処理、整備、修理を含む)	職業紹介・派遣事業を含む	政治・経済・文化団体、宗教団体	公務(政府・地方自治体の業務)	その他	無回答
性自認に関する性的マイノリティ	19	1	1	-	-	3	-	2	-	-	-	-	
	100.0	5.3	5.3	-	-	15.8	-	10.5	-	-	-	-	
性的指向に関する性的マイノリティ	119	4	5	7	4	18	-	8	-	4	2	1	
	100.0	3.4	4.2	5.9	3.4	15.1	-	6.7	-	3.4	1.7	0.8	

(3) 勤務先の職種 (問7)

※上段が件数、下段が割合

調査数	管理職 役職 (課長相当職以上の)	専門職・ 技術職	事務職	販売・ 営業職	アルバイト ・美容師、 接客業、 ビル 管理人を 含む)	サービス の 仕事 (介護職 、 美容師、 接客業、 ビル 管理人を 含む)	保安の 仕事 (自衛官、 警察 官、 消防士、 警備員 など)	農林 漁業 の 仕事	モノを 製造・ 加工 する 仕事	機械や 設備・ 乗物を 運転す る 仕事	建設 現場 の 仕事 ・ 採掘 の 仕 事	運搬・ 清掃・ 包装 の 仕 事	その他	無 回 答
性的自認に関する性的 マイノリティ	100.0	-	26.3	10.5	21.1	21.1	-	-	-	5.3	5.3	10.5	-	-
性的指向に関する性的 マイノリティ	119	5	33	20	17	17	2	-	8	3	-	8	3	3
	100.0	4.2	27.7	16.8	14.3	14.3	1.7	-	6.7	2.5	-	6.7	2.5	2.5

(4) 1年間の個人収入 (問8)

※上段が件数、下段が割合

調査数	100万円未満	100万円～ 200万円未満	200万円～ 300万円未満	300万円～ 400万円未満	400万円～ 500万円未満	500万円～ 700万円未満	700万円～ 1,000万円未満	1,000万円以上	得た収入は なかった	無 回 答	
											30
性的自認に関する性的 マイノリティ	100.0	36.7	20.0	16.7	16.7	-	6.7	-	-	3.3	-
性的指向に関する性的 マイノリティ	171	29	30	29	24	14	11	4	1	25	4
	100.0	17.0	17.5	17.0	14.0	8.2	6.4	2.3	0.6	14.6	2.3

3. 健康や経験について

(1) 長期的な健康上の問題や慢性的な病気 (問9)

※上段が件数、下段が割合

調査数	いずれかの長期的な健康上の問題や慢性的な病気を抱えている													特になし	無 回 答	えない 健康 上の 問題 を抱 える 長 期 的 な 病 気 を 抱 える 人 の 数 の 割 合
	心血管疾患	慢性腎臓病	悪性腫瘍(がん)	骨粗しょう症	脳梗塞	糖尿病	うつ病や他のこころの病気	HIV/エイズ	依存症(アルコールなど)	性同一性障害(医学的診断名)	性別違和・性別不一致(医学的診断名)	その他				
性的自認に関する性的 マイノリティ	30	-	-	-	-	-	1	8	-	1	5	6	13	2	15	
	100.0	-	-	-	-	-	3.3	26.7	-	3.3	16.7	20.0	43.3	6.7	50.0	
性的指向に関する性的 マイノリティ	171	2	1	1	1	1	5	31	1	1	5	16	115	7	49	
	100.0	1.2	0.6	0.6	0.6	0.6	2.9	18.1	0.6	0.6	2.9	9.4	67.3	4.1	28.7	

(2) 最近1か月間のこころの状況 (問10)

(1) 神経過敏に感じたこと

	調査数	《ある》					無回答	《ある》	《高い頻度である》
		《高い頻度である》							
		いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	まったくくない			
性自認に関する性的マイノリティ	30	3	2	13	3	9	-	21	5
	100.0	10.0	6.7	43.3	10.0	30.0	-	70.0	16.7
性的指向に関する性的マイノリティ	171	15	18	45	46	47	-	124	33
	100.0	8.8	10.5	26.3	26.9	27.5	-	72.5	19.3

※上段が件数、下段が割合

(2) 絶望的だと感じたこと

	調査数	《ある》					無回答	《ある》	《高い頻度である》
		《高い頻度である》							
		いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	まったくくない			
性自認に関する性的マイノリティ	30	1	4	7	8	10	-	20	5
	100.0	3.3	13.3	23.3	26.7	33.3	-	66.7	16.7
性的指向に関する性的マイノリティ	171	8	19	38	38	67	1	103	27
	100.0	4.7	11.1	22.2	22.2	39.2	0.6	60.2	15.8

※上段が件数、下段が割合

(3) そわそわ落ち着かなく感じたこと

	調査数	《ある》					無回答	《ある》	《高い頻度である》
		《高い頻度である》							
		いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	まったくくない			
性自認に関する性的マイノリティ	30	3	3	9	7	8	-	22	6
	100.0	10.0	10.0	30.0	23.3	26.7	-	73.3	20.0
性的指向に関する性的マイノリティ	171	9	26	41	52	43	-	128	35
	100.0	5.3	15.2	24.0	30.4	25.1	-	74.9	20.5

※上段が件数、下段が割合

(4) 気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じたこと

	調査数	《ある》					無回答	《ある》	《高い頻度である》
		《高い頻度である》							
		いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	まったくくない			
性自認に関する性的マイノリティ	30	1	9	10	6	4	-	26	10
	100.0	3.3	30.0	33.3	20.0	13.3	-	86.7	33.3
性的指向に関する性的マイノリティ	171	15	32	33	45	45	1	125	47
	100.0	8.8	18.7	19.3	26.3	26.3	0.6	73.1	27.5

※上段が件数、下段が割合

(5) 何をするのも骨折りだと感じたこと

	調査数	《ある》					まったくくない	無回答	《ある》	《高い頻度である》
		《高い頻度である》		ときどき	少しだけ					
		いつも	たいてい							
性自認に関する性的マイノリティ	30	3	7	6	7	6	1	23	10	
	100.0	10.0	23.3	20.0	23.3	20.0	3.3	76.7	33.3	
性的指向に関する性的マイノリティ	171	15	25	33	44	54	-	117	40	
	100.0	8.8	14.6	19.3	25.7	31.6	-	68.4	23.4	

(6) 自分は価値のない人間だと感じたこと

	調査数	《ある》				まったくくない	無回答	《ある》	《高い頻度である》
		《高い頻度である》		ときどき	少しだけ				
		いつも	たいてい						
性自認に関する性的マイノリティ	30	3	3	9	5	10	-	20	6
	100.0	10.0	10.0	30.0	16.7	33.3	-	66.7	20.0
性的指向に関する性的マイノリティ	171	22	21	26	36	65	1	105	43
	100.0	12.9	12.3	15.2	21.1	38.0	0.6	61.4	25.1

(3) 精神的に追い込まれた経験 (問11)

(1) 家にひきこもった、またはそれに近い状態になった

	調査数	《経験がある》						経験していない	無回答	《経験がある》
		1～3 小学生の頃	4～6 小学生の頃	中学校の頃	16～18 高等学校・高校の頃	19歳以降 現在まで				
性自認に関する性的マイノリティ	30	3	5	6	6	9	13	-	17	
	100.0	10.0	16.7	20.0	20.0	30.0	43.3	-	56.7	
性的指向に関する性的マイノリティ	171	5	13	21	18	43	95	3	73	
	100.0	2.9	7.6	12.3	10.5	25.1	55.6	1.8	42.7	

(2) 生きる価値がないと感じた

	調査数	《経験がある》						経験していない	無回答	《経験がある》
		1～3 小学生の頃	4～6 小学生の頃	中学校の頃	16～18 高等学校・高校の頃	19歳以降 現在まで				
性自認に関する性的マイノリティ	30	2	4	9	12	12	8	-	22	
	100.0	6.7	13.3	30.0	40.0	40.0	26.7	-	73.3	
性的指向に関する性的マイノリティ	171	12	21	38	50	66	67	2	102	
	100.0	7.0	12.3	22.2	29.2	38.6	39.2	1.2	59.6	

(3) 死ねたらと思った、または自死の可能性を考えた

	調査数	《経験がある》					経験していない	無回答	《経験がある》
		1～3 小学校の頃	4～6 小学校の頃	中学校の頃	16～18 高等学校・18歳頃	19歳以降 現在まで			
性自認に関する性的マイノリティ	30	3	5	11	9	15	9	-	21
	100.0	10.0	16.7	36.7	30.0	50.0	30.0	-	70.0
性的指向に関する性的マイノリティ	171	12	22	43	48	74	56	2	113
	100.0	7.0	12.9	25.1	28.1	43.3	32.7	1.2	66.1

※上段が件数、下段が割合

(4) 自殺をほのめかす行動をとった

	調査数	《経験がある》					経験していない	無回答	《経験がある》
		1～3 小学校の頃	4～6 小学校の頃	中学校の頃	16～18 高等学校・18歳頃	19歳以降 現在まで			
性自認に関する性的マイノリティ	30	2	4	5	3	9	17	-	13
	100.0	6.7	13.3	16.7	10.0	30.0	56.7	-	43.3
性的指向に関する性的マイノリティ	171	4	9	17	21	39	110	1	60
	100.0	2.3	5.3	9.9	12.3	22.8	64.3	0.6	35.1

※上段が件数、下段が割合

(5) 手段など具体的に自殺について考えた

	調査数	《経験がある》					経験していない	無回答	《経験がある》
		1～3 小学校の頃	4～6 小学校の頃	中学校の頃	16～18 高等学校・18歳頃	19歳以降 現在まで			
性自認に関する性的マイノリティ	30	3	5	6	7	10	14	-	16
	100.0	10.0	16.7	20.0	23.3	33.3	46.7	-	53.3
性的指向に関する性的マイノリティ	171	6	16	23	32	49	94	3	74
	100.0	3.5	9.4	13.5	18.7	28.7	55.0	1.8	43.3

※上段が件数、下段が割合

(6) 遺書を書くなどの自殺の準備をした

	調査数	《経験がある》					経験していない	無回答	《経験がある》
		1～3 小学校の頃	4～6 小学校の頃	中学校の頃	16～18 高等学校・18歳頃	19歳以降 現在まで			
性自認に関する性的マイノリティ	30	2	2	3	4	3	21	-	9
	100.0	6.7	6.7	10.0	13.3	10.0	70.0	-	30.0
性的指向に関する性的マイノリティ	171	3	4	8	12	14	142	3	26
	100.0	1.8	2.3	4.7	7.0	8.2	83.0	1.8	15.2

※上段が件数、下段が割合

(7) 自殺を図った

	調査数	《経験がある》					経験していない	無回答	《経験がある》
		1～3 小学校の頃	4～6 小学校の頃	中学校の頃	16～18 高等学校・18歳頃	19歳以降 現在まで			
性自認に関する性的マイノリティ	30	1	3	3	-	1	25	-	5
	100.0	3.3	10.0	10.0	-	3.3	83.3	-	16.7
性的指向に関する性的マイノリティ	171	2	4	7	4	11	146	3	22
	100.0	1.2	2.3	4.1	2.3	6.4	85.4	1.8	12.9

※上段が件数、下段が割合

(4) ハラスメント被害の経験 (問12)

(1) 不快な冗談、からかいを受けること

※上段が件数、下段が割合

	調査数	《経験がある》					経験していない	無回答	《経験がある》
		1～3 小学生の頃	4～6 小学生の頃	中学校の頃	16～18 高等学校・高校の頃	19歳以降 現在まで			
性自認に関する性的マイノリティ	30	13	21	17	8	10	3	1	26
	100.0	43.3	70.0	56.7	26.7	33.3	10.0	3.3	86.7
性的指向に関する性的マイノリティ	171	56	87	93	53	41	26	6	139
	100.0	32.7	50.9	54.4	31.0	24.0	15.2	3.5	81.3

(2) 暴力 (言葉の暴力やいじめを含む) を受けること

※上段が件数、下段が割合

	調査数	《経験がある》					経験していない	無回答	《経験がある》
		1～3 小学生の頃	4～6 小学生の頃	中学校の頃	16～18 高等学校・高校の頃	19歳以降 現在まで			
性自認に関する性的マイノリティ	30	13	17	13	6	5	8	1	21
	100.0	43.3	56.7	43.3	20.0	16.7	26.7	3.3	70.0
性的指向に関する性的マイノリティ	171	40	50	65	27	29	66	7	98
	100.0	23.4	29.2	38.0	15.8	17.0	38.6	4.1	57.3

(3) (1) ~ (2) 以外のハラスメントを受けること

※上段が件数、下段が割合

	調査数	《経験がある》					経験していない	無回答	《経験がある》
		1～3 小学生の頃	4～6 小学生の頃	中学校の頃	16～18 高等学校・高校の頃	19歳以降 現在まで			
性自認に関する性的マイノリティ	30	8	8	9	11	13	10	2	18
	100.0	26.7	26.7	30.0	36.7	43.3	33.3	6.7	60.0
性的指向に関する性的マイノリティ	171	20	27	33	31	64	70	9	92
	100.0	11.7	15.8	19.3	18.1	37.4	40.9	5.3	53.8

(5) 心配事を聴いてくれる人の有無 (問13)

(1) 小学校1～3年生の頃

	調査数	《心配事があった》		心配事はなかった	無回答	《心配事があった》
		いた	いなかった			
性自認に関する性的マイノリティ	30	6	16	5	3	22
	100.0	20.0	53.3	16.7	10.0	73.3
性的指向に関する性的マイノリティ	171	60	59	41	11	119
	100.0	35.1	34.5	24.0	6.4	69.6

(2) 小学校4～6年生の頃

	調査数	《心配事があった》		心配事はなかった	無回答	《心配事があった》
		いた	いなかった			
性自認に関する性的マイノリティ	30	5	19	3	3	24
	100.0	16.7	63.3	10.0	10.0	80.0
性的指向に関する性的マイノリティ	171	68	73	19	11	141
	100.0	39.8	42.7	11.1	6.4	82.5

(3) 中学校の頃

	調査数	《心配事があった》		心配事はなかった	無回答	《心配事があった》
		いた	いなかった			
性自認に関する性的マイノリティ	30	7	20	1	2	27
	100.0	23.3	66.7	3.3	6.7	90.0
性的指向に関する性的マイノリティ	171	80	70	13	8	150
	100.0	46.8	40.9	7.6	4.7	87.7

(4) 高等学校・16～18歳頃

	調査数	《心配事があった》		心配事はなかった	無回答	《心配事があった》
		いた	いなかった			
性自認に関する性的マイノリティ	30	13	16	-	1	29
	100.0	43.3	53.3	-	3.3	96.7
性的指向に関する性的マイノリティ	171	90	60	14	7	150
	100.0	52.6	35.1	8.2	4.1	87.7

(5) 19歳以降現在まで

	調査数	《心配事があった》		※上段が件数、下段が割合		
		いた	いなかった	心配事はなかった	無回答	《心配事があった》
性自認に関する性的マイノリティ	30	20	7	1	2	27
	100.0	66.7	23.3	3.3	6.7	90.0
性的指向に関する性的マイノリティ	171	117	36	14	4	153
	100.0	68.4	21.1	8.2	2.3	89.5

4. 性に関する考えや周囲の状況について

(1) 性の在り方に対する考え (問14)

(1) 男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てるべきだ

	調査数	思う		思わない		無回答	※上段が件数、下段が割合	
		そう思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	そう思わない		思う	思わない
性自認に関する性的マイノリティ	30	2	1	1	26	-	3	27
	100.0	6.7	3.3	3.3	86.7	-	10.0	90.0
性的指向に関する性的マイノリティ	171	7	24	20	119	1	31	139
	100.0	4.1	14.0	11.7	69.6	0.6	18.1	81.3

(2) 女性のような男性を見ると不快になる

	調査数	思う		思わない		無回答	※上段が件数、下段が割合	
		そう思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	そう思わない		思う	思わない
性自認に関する性的マイノリティ	30	1	1	3	25	-	2	28
	100.0	3.3	3.3	10.0	83.3	-	6.7	93.3
性的指向に関する性的マイノリティ	171	4	13	23	130	1	17	153
	100.0	2.3	7.6	13.5	76.0	0.6	9.9	89.5

(3) 男性のような女性を見ると不快になる

	調査数	思う		思わない		無回答	※上段が件数、下段が割合	
		そう思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	そう思わない		思う	思わない
性自認に関する性的マイノリティ	30	1	1	3	25	-	2	28
	100.0	3.3	3.3	10.0	83.3	-	6.7	93.3
性的指向に関する性的マイノリティ	171	2	9	26	132	2	11	158
	100.0	1.2	5.3	15.2	77.2	1.2	6.4	92.4

(4) 男性が男性に恋愛感情を抱くのはおかしい

	調査数	思う		思わない		無回答	※上段が件数、下段が割合	
		そう思う	どちらかという と	そう 思わない	どちらかという と		思う	思わない
性自認に関する性的 マイノリティ	30	1	3	3	23	-	4	26
	100.0	3.3	10.0	10.0	76.7	-	13.3	86.7
性的指向に関する性的 マイノリティ	171	1	7	16	145	2	8	161
	100.0	0.6	4.1	9.4	84.8	1.2	4.7	94.2

(5) 女性が女性に恋愛感情を抱くのはおかしい

	調査数	思う		思わない		無回答	※上段が件数、下段が割合	
		そう思う	どちらかという と	そう 思わない	どちらかという と		思う	思わない
性自認に関する性的 マイノリティ	30	1	2	4	23	-	3	27
	100.0	3.3	6.7	13.3	76.7	-	10.0	90.0
性的指向に関する性的 マイノリティ	171	2	4	15	148	2	6	163
	100.0	1.2	2.3	8.8	86.5	1.2	3.5	95.3

(6) 性のあり方は人それぞれである

	調査数	思う		思わない		無回答	※上段が件数、下段が割合	
		そう思う	どちらかという と	そう 思わない	どちらかという と		思う	思わない
性自認に関する性的 マイノリティ	30	28	1	1	-	-	29	1
	100.0	93.3	3.3	3.3	-	-	96.7	3.3
性的指向に関する性的 マイノリティ	171	141	11	3	14	2	152	17
	100.0	82.5	6.4	1.8	8.2	1.2	88.9	9.9

(2) 差別的な言動を見聞きした経験 (問15)

※上段が件数、下段が割合

	調査数	《見聞きしたことがある》								は 見 聞 き し た こ と	無 回 答	と 《 見 聞 き し た こ と が あ る 》
		職 場	学 校	家 庭	地 域	テ レ ビ ・ ラ ジ オ	イ ン タ ー ネ ッ ト	場 友 人 と の 交 流 の	そ の 他			
性自認に関する性的 マイノリティ	30	21	21	13	9	18	22	15	2	1	-	29
	100.0	70.0	70.0	43.3	30.0	60.0	73.3	50.0	6.7	3.3	-	96.7
性的指向に関する性的 マイノリティ	171	81	81	53	28	84	104	53	2	25	2	144
	100.0	47.4	47.4	31.0	16.4	49.1	60.8	31.0	1.2	14.6	1.2	84.2

(3) 職場での性的マイノリティに対する配慮や支援 (問16)

	調査数	《いずれかの配慮や支援がある》						※上段が件数、下段が割合				
		相談窓口の設置	性的マイノリティに関する研修やセミナー等	採用活動における配慮	トイレ利用希望者の利用	性別を問わないトイレ	同性カプセル風呂など	その他	特に配慮や支援はない	自分は現在、職場で働いていない	無回答	《いずれかの配慮や支援がある》
性自認に関する性的マイノリティ	30	2	4	1	2	-	1	11	11	1	7	
	100.0	6.7	13.3	3.3	6.7	-	3.3	36.7	36.7	3.3	23.3	
性的指向に関する性的マイノリティ	171	14	12	10	4	4	3	94	46	5	26	
	100.0	8.2	7.0	5.8	2.3	2.3	1.8	55.0	26.9	2.9	15.2	

(4) 学校で性的マイノリティについて学んだ経験 (問17)

(1) 学校で図書館などを利用し自ら調べた

※上段が件数、下段が割合

	調査数	《経験がある》						この形で学んだことはない	無回答	《経験がある》
		1～3年生の頃	4～6年生の頃	中学校の頃	16～18歳頃	19歳以降	学校を出るまで			
性自認に関する性的マイノリティ	30	-	2	6	8	9	15	1	14	
	100.0	-	6.7	20.0	26.7	30.0	50.0	3.3	46.7	
性的指向に関する性的マイノリティ	171	3	7	16	19	26	133	2	36	
	100.0	1.8	4.1	9.4	11.1	15.2	77.8	1.2	21.1	

(2) 学校の授業で学んだ

※上段が件数、下段が割合

	調査数	《経験がある》						この形で学んだことはない	無回答	《経験がある》
		1～3年生の頃	4～6年生の頃	中学校の頃	16～18歳頃	19歳以降	学校を出るまで			
性自認に関する性的マイノリティ	30	-	1	3	3	4	18	3	9	
	100.0	-	3.3	10.0	10.0	13.3	60.0	10.0	30.0	
性的指向に関する性的マイノリティ	171	1	4	10	18	15	132	3	36	
	100.0	0.6	2.3	5.8	10.5	8.8	77.2	1.8	21.1	

(3) 学校が開催した講演会等で話を聞いた

※上段が件数、下段が割合

	調査数	《経験がある》						この形で学んだことはない	無回答	《経験がある》
		1～3年生の頃	4～6年生の頃	中学校の頃	16～18歳頃	19歳以降	学校を出るまで			
性自認に関する性的マイノリティ	30	-	-	3	1	-	25	2	3	
	100.0	-	-	10.0	3.3	-	83.3	6.7	10.0	
性的指向に関する性的マイノリティ	171	-	1	5	8	2	153	4	14	
	100.0	-	0.6	2.9	4.7	1.2	89.5	2.3	8.2	

(4) その他

※上段が件数、下段が割合

	調査数	《経験がある》						この形で学んだことはない	無回答	《経験がある》
		1～3年生の頃	4～6年生の頃	中学校の頃	16～18歳頃	19歳以降	学校を出るまで			
性自認に関する性的マイノリティ	30	-	-	1	4	8	11	11	8	
	100.0	-	-	3.3	13.3	26.7	36.7	36.7	26.7	
性的指向に関する性的マイノリティ	171	-	-	2	5	15	82	74	15	
	100.0	-	-	1.2	2.9	8.8	48.0	43.3	8.8	

(5) 性的マイノリティからカミングアウトされた経験 (問18) ※上段が件数、下段が割合

(1) 小学校1～3年生の頃

	調査数	ある	ない	無回答
性自認に関する性的マイノリティ	30	-	28	2
	100.0	-	93.3	6.7
性的指向に関する性的マイノリティ	171	2	164	5
	100.0	1.2	95.9	2.9

(2) 小学校4～6年生の頃

	調査数	ある	ない	無回答
性自認に関する性的マイノリティ	30	1	27	2
	100.0	3.3	90.0	6.7
性的指向に関する性的マイノリティ	171	4	162	5
	100.0	2.3	94.7	2.9

(3) 中学校の頃

	調査数	ある	ない	無回答
性自認に関する性的マイノリティ	30	4	24	2
	100.0	13.3	80.0	6.7
性的指向に関する性的マイノリティ	171	10	155	6
	100.0	5.8	90.6	3.5

(4) 高等学校・16～18歳頃

	調査数	ある	ない	無回答
性自認に関する性的マイノリティ	30	10	18	2
	100.0	33.3	60.0	6.7
性的指向に関する性的マイノリティ	171	41	126	4
	100.0	24.0	73.7	2.3

(5) 19歳以降現在まで

	調査数	ある	ない	無回答
性自認に関する性的マイノリティ	30	14	14	2
	100.0	46.7	46.7	6.7
性的指向に関する性的マイノリティ	171	81	88	2
	100.0	47.4	51.5	1.2

(6) 知人が性的マイノリティであることで悩んでいる(いた)ことの有無 (問19)

性的マイノリティの知り合いがいる(いた)

※上段が件数、下段が割合

	調査数	性的マイノリティの知り合いがいる(いた)			無回答	(の性的マイノリティが悩んでいる)
		ある(あった)	こみでの性的マイノリティは、聞き取りしただけで、いまだに悩んでいる	まの性的マイノリティは、いまだに悩んでいる		
性自認に関する性的マイノリティ	30	11	6	9	4	17
	100.0	36.7	20.0	30.0	13.3	56.7
性的指向に関する性的マイノリティ	171	59	43	61	8	102
	100.0	34.5	25.1	35.7	4.7	59.6

(7) 知人が性的マイノリティであることで悩んでいる (いた) 事柄 (問19-1)

(1) 性的マイノリティを差別する言動を見聞きすること

	調査数	《いずれかの時期にあった》					なかった	無回答	期へ 《いずれかの時 期にあった》
		1 3 小学生校 の頃	4 6 小学生校 の頃	中学校 の頃	1 6 1 8 高等学 校・ 頃	1 9 歳以 降 現在 まで			
性自認に関する性的 マイノリティ	11	3	4	4	4	10	1	-	10
	100.0	27.3	36.4	36.4	36.4	90.9	9.1	-	90.9
性的指向に関する性 的マイノリティ	59	6	11	18	21	30	19	2	38
	100.0	10.2	18.6	30.5	35.6	50.8	32.2	3.4	64.4

※上段が件数、下段が割合

(2) 性的マイノリティであることを理由に差別的な言動やいじめ・ハラスメント・暴力を受けること

	調査数	《いずれかの時期にあった》					なかった	無回答	期へ 《いずれかの時 期にあった》
		1 3 小学生校 の頃	4 6 小学生校 の頃	中学校 の頃	1 6 1 8 高等学 校・ 頃	1 9 歳以 降 現在 まで			
性自認に関する性的 マイノリティ	11	2	3	3	3	7	3	-	8
	100.0	18.2	27.3	27.3	27.3	63.6	27.3	-	72.7
性的指向に関する性 的マイノリティ	59	4	7	15	13	18	28	4	27
	100.0	6.8	11.9	25.4	22.0	30.5	47.5	6.8	45.8

※上段が件数、下段が割合

(3) 家族に理解してもらえないこと

	調査数	《いずれかの時期にあった》					なかった	無回答	期へ 《いずれかの時 期にあった》
		1 3 小学生校 の頃	4 6 小学生校 の頃	中学校 の頃	1 6 1 8 高等学 校・ 頃	1 9 歳以 降 現在 まで			
性自認に関する性的 マイノリティ	11	2	3	4	4	7	2	2	7
	100.0	18.2	27.3	36.4	36.4	63.6	18.2	18.2	63.6
性的指向に関する性 的マイノリティ	59	7	11	14	21	33	12	4	43
	100.0	11.9	18.6	23.7	35.6	55.9	20.3	6.8	72.9

※上段が件数、下段が割合

(4) 更衣室、トイレなど男女区別のある施設が利用しづらいこと

	調査数	《いずれかの時期にあった》					なかった	無回答	期へ 《いずれかの時 期にあった》
		1 3 小学生校 の頃	4 6 小学生校 の頃	中学校 の頃	1 6 1 8 高等学 校・ 頃	1 9 歳以 降 現在 まで			
性自認に関する性的 マイノリティ	11	3	3	4	5	6	4	-	7
	100.0	27.3	27.3	36.4	45.5	54.5	36.4	-	63.6
性的指向に関する性 的マイノリティ	59	4	5	9	12	17	35	4	20
	100.0	6.8	8.5	15.3	20.3	28.8	59.3	6.8	33.9

※上段が件数、下段が割合

(5) 医療・福祉・住まい (賃貸) 面で性的マイノリティに配慮した対応がなされないこと

	調査数	《いずれかの時期にあった》					なかった	無回答	期へ 《いずれかの時 期にあった》
		1 3 小学生校 の頃	4 6 小学生校 の頃	中学校 の頃	1 6 1 8 高等学 校・ 頃	1 9 歳以 降 現在 まで			
性自認に関する性的 マイノリティ	11	1	1	2	2	9	2	-	9
	100.0	9.1	9.1	18.2	18.2	81.8	18.2	-	81.8
性的指向に関する性 的マイノリティ	59	2	3	4	8	29	24	4	31
	100.0	3.4	5.1	6.8	13.6	49.2	40.7	6.8	52.5

※上段が件数、下段が割合

(6) 行政窓口で性的マイノリティへの配慮が足りないこと

	調査数	《いずれかの時期にあった》					なかった	無回答	期(≒いずれかの時期)にあつた《》
		1 3 小学生校の頃	4 6 小学生校の頃	中学校の頃	1 6 1 8 高等学校・ 歳頃	1 9 歳以降 現在まで			
性自認に関する性的マイノリティ	11	1	1	1	3	9	2	-	9
	100.0	9.1	9.1	9.1	27.3	81.8	18.2	-	81.8
性的指向に関する性的マイノリティ	59	1	1	2	6	27	25	4	30
	100.0	1.7	1.7	3.4	10.2	45.8	42.4	6.8	50.8

※上段が件数、下段が割合

(7) 同性パートナーが遺族年金や扶養控除、手当などを受けられないこと

	調査数	《いずれかの時期にあった》					なかった	無回答	期(≒いずれかの時期)にあつた《》
		1 3 小学生校の頃	4 6 小学生校の頃	中学校の頃	1 6 1 8 高等学校・ 歳頃	1 9 歳以降 現在まで			
性自認に関する性的マイノリティ	11	1	1	1	1	7	3	1	7
	100.0	9.1	9.1	9.1	9.1	63.6	27.3	9.1	63.6
性的指向に関する性的マイノリティ	59	1	2	2	4	30	22	5	32
	100.0	1.7	3.4	3.4	6.8	50.8	37.3	8.5	54.2

※上段が件数、下段が割合

(8) 学校や修学旅行などの宿泊行事で風呂や就寝場所が希望どおりとならない

	調査数	《いずれかの時期にあった》					なかった	無回答	期(≒いずれかの時期)にあつた《》
		1 3 小学生校の頃	4 6 小学生校の頃	中学校の頃	1 6 1 8 高等学校・ 歳頃	1 9 歳以降 現在まで			
性自認に関する性的マイノリティ	11	3	3	4	5	5	2	-	9
	100.0	27.3	27.3	36.4	45.5	45.5	18.2	-	81.8
性的指向に関する性的マイノリティ	59	3	2	8	12	14	33	4	22
	100.0	5.1	3.4	13.6	20.3	23.7	55.9	6.8	37.3

※上段が件数、下段が割合

(9) 学校や職場の制服が性的マイノリティに配慮されないこと

	調査数	《いずれかの時期にあった》					なかった	無回答	期(≒いずれかの時期)にあつた《》
		1 3 小学生校の頃	4 6 小学生校の頃	中学校の頃	1 6 1 8 高等学校・ 歳頃	1 9 歳以降 現在まで			
性自認に関する性的マイノリティ	11	1	1	2	4	6	2	1	8
	100.0	9.1	9.1	18.2	36.4	54.5	18.2	9.1	72.7
性的指向に関する性的マイノリティ	59	1	1	7	12	20	28	5	26
	100.0	1.7	1.7	11.9	20.3	33.9	47.5	8.5	44.1

※上段が件数、下段が割合

(10) 学校や職場で通称名を使用できないこと

	調査数	《いずれかの時期にあった》					なかった	無回答	期(≒いずれかの時期)にあつた《》
		1 3 小学生校の頃	4 6 小学生校の頃	中学校の頃	1 6 1 8 高等学校・ 歳頃	1 9 歳以降 現在まで			
性自認に関する性的マイノリティ	11	1	1	1	1	4	4	2	5
	100.0	9.1	9.1	9.1	9.1	36.4	36.4	18.2	45.5
性的指向に関する性的マイノリティ	59	2	3	2	4	15	36	5	18
	100.0	3.4	5.1	3.4	6.8	25.4	61.0	8.5	30.5

※上段が件数、下段が割合

(11) 入学試験や就職の際の面接等で差別やハラスメントを受けること

	調査数	《いずれかの時期にあった》					なかった	無回答	期《いずれかの時期にあった》
		1～3 小学校生の頃	4～6 小学校生の頃	中学校の頃	16～18 高等学校・18歳頃	19歳以降 現在まで			
性自認に関する性的マイノリティ	11	1	1	1	1	5	4	1	6
	100.0	9.1	9.1	9.1	9.1	45.5	36.4	9.1	54.5
性的指向に関する性的マイノリティ	59	1	1	2	4	14	38	4	17
	100.0	1.7	1.7	3.4	6.8	23.7	64.4	6.8	28.8

※上段が件数、下段が割合

(12) 外国籍の同性パートナーの在留資格が申請しにくいこと

	調査数	《いずれかの時期にあった》					なかった	無回答	期《いずれかの時期にあった》
		1～3 小学校生の頃	4～6 小学校生の頃	中学校の頃	16～18 高等学校・18歳頃	19歳以降 現在まで			
性自認に関する性的マイノリティ	11	1	1	1	1	3	5	2	4
	100.0	9.1	9.1	9.1	9.1	27.3	45.5	18.2	36.4
性的指向に関する性的マイノリティ	59	1	2	1	1	10	42	5	12
	100.0	1.7	3.4	1.7	1.7	16.9	71.2	8.5	20.3

※上段が件数、下段が割合

(13) 冠婚葬祭などの出席を断られること

	調査数	《いずれかの時期にあった》					なかった	無回答	期《いずれかの時期にあった》
		1～3 小学校生の頃	4～6 小学校生の頃	中学校の頃	16～18 高等学校・18歳頃	19歳以降 現在まで			
性自認に関する性的マイノリティ	11	-	-	-	-	3	6	2	3
	100.0	-	-	-	-	27.3	54.5	18.2	27.3
性的指向に関する性的マイノリティ	59	-	-	1	-	11	42	5	12
	100.0	-	-	1.7	-	18.6	71.2	8.5	20.3

※上段が件数、下段が割合

(14) 将来の生活プランを描けないこと

	調査数	《いずれかの時期にあった》					なかった	無回答	期《いずれかの時期にあった》
		1～3 小学校生の頃	4～6 小学校生の頃	中学校の頃	16～18 高等学校・18歳頃	19歳以降 現在まで			
性自認に関する性的マイノリティ	11	1	1	1	3	7	1	2	8
	100.0	9.1	9.1	9.1	27.3	63.6	9.1	18.2	72.7
性的指向に関する性的マイノリティ	59	1	2	2	11	33	17	5	37
	100.0	1.7	3.4	3.4	18.6	55.9	28.8	8.5	62.7

※上段が件数、下段が割合

(15) 老後の生活に不安があること

	調査数	《いずれかの時期にあった》					なかった	無回答	期《いずれかの時期にあった》
		1～3 小学校生の頃	4～6 小学校生の頃	中学校の頃	16～18 高等学校・18歳頃	19歳以降 現在まで			
性自認に関する性的マイノリティ	11	1	1	1	1	8	1	2	8
	100.0	9.1	9.1	9.1	9.1	72.7	9.1	18.2	72.7
性的指向に関する性的マイノリティ	59	1	1	1	6	35	18	5	36
	100.0	1.7	1.7	1.7	10.2	59.3	30.5	8.5	61.0

※上段が件数、下段が割合

(16) アウティング (性的マイノリティ本人の了解なしに他人に暴露してしまうこと) されること

	調査数	《いずれかの時期にあった》						無回答	に《いずれかの時期にあった》
		1～3 小学生の頃	4～6 小学生の頃	中学校の頃	16～18 高等学校・18歳頃	19歳以降 現在まで	なかった		
性自認に関する性的マイノリティ	11	1	1	3	3	6	4	1	6
	100.0	9.1	9.1	27.3	27.3	54.5	36.4	9.1	54.5
性的指向に関する性的マイノリティ	59	2	2	7	13	25	24	3	32
	100.0	3.4	3.4	11.9	22.0	42.4	40.7	5.1	54.2

※上段が件数、下段が割合

(17) 他の性的マイノリティと交流する機会がないこと

	調査数	《いずれかの時期にあった》						無回答	に《いずれかの時期にあった》
		1～3 小学生の頃	4～6 小学生の頃	中学校の頃	16～18 高等学校・18歳頃	19歳以降 現在まで	なかった		
性自認に関する性的マイノリティ	11	2	2	2	2	5	5	-	6
	100.0	18.2	18.2	18.2	18.2	45.5	45.5	-	54.5
性的指向に関する性的マイノリティ	59	3	5	4	8	18	31	4	24
	100.0	5.1	8.5	6.8	13.6	30.5	52.5	6.8	40.7

※上段が件数、下段が割合

(18) 同性パートナーを公的に認証する制度がない、または不十分なこと

	調査数	《いずれかの時期にあった》						無回答	に《いずれかの時期にあった》
		1～3 小学生の頃	4～6 小学生の頃	中学校の頃	16～18 高等学校・18歳頃	19歳以降 現在まで	なかった		
性自認に関する性的マイノリティ	11	1	1	1	2	10	-	-	11
	100.0	9.1	9.1	9.1	18.2	90.9	-	-	100.0
性的指向に関する性的マイノリティ	59	2	2	4	4	40	12	4	43
	100.0	3.4	3.4	6.8	6.8	67.8	20.3	6.8	72.9

※上段が件数、下段が割合

(19) その他

	調査数	《いずれかの時期にあった》						無回答	に《いずれかの時期にあった》
		1～3 小学生の頃	4～6 小学生の頃	中学校の頃	16～18 高等学校・18歳頃	19歳以降 現在まで	なかった		
性自認に関する性的マイノリティ	11	-	-	-	1	1	2	8	1
	100.0	-	-	-	9.1	9.1	18.2	72.7	9.1
性的指向に関する性的マイノリティ	59	2	2	3	4	8	20	30	9
	100.0	3.4	3.4	5.1	6.8	13.6	33.9	50.8	15.3

※上段が件数、下段が割合

(8) 性的マイノリティへの配慮・支援で国や地方自治体がすべき取組 (問20)

※上段が件数、下段が割合

	調査数	性的マイノリティへの配慮 講義などによる啓発や学校での教育	性的マイノリティの周囲の人から相談 にできる窓口の設置	性的マイノリティの住宅など様々 な施設・医療・住宅など様々 な施設への配慮の視点的な取 り入れ	福祉・医療・住宅など様々 な施設への配慮の視点的な取 り入れ	同性パートナーシップ的 な制度の導入	改正法律(婚姻に関するもの) に関する法律の制定	差別的解消を目的とした法 令の制定	その他	特 に な い	無 回 答
性自認に関する性的マイノリティ	30	15	23	21	23	23	22	5	1	1	
	100.0	50.0	76.7	70.0	76.7	76.7	73.3	16.7	3.3	3.3	
性的指向に関する性的マイノリティ	171	92	92	106	125	117	98	15	11	4	
	100.0	53.8	53.8	62.0	73.1	68.4	57.3	8.8	6.4	2.3	

(9) 性的マイノリティへの配慮・支援で学校がすべき取組 (問21)

※上段が件数、下段が割合

	調査数	性的マイノリティに関する授業 の多様性に関する	相談窓口の設置	性的マイノリティの制服 着用を認める	性別を問わないトイレ の設置や希望する性別で のトイレを利用する性別で の希望する通称の使用や 希望する通称の使用を認 める	その他	特 に な い	無 回 答
性自認に関する性的マイノリティ	30	22	23	22	24	22	6	1
	100.0	73.3	76.7	73.3	80.0	73.3	20.0	3.3
性的指向に関する性的マイノリティ	171	114	101	115	107	85	18	4
	100.0	66.7	59.1	67.3	62.6	49.7	10.5	2.3

(10) 性的マイノリティへの配慮・支援で職場がすべき取組 (問22)

※上段が件数、下段が割合

	調査数	性的マイノリティに関する研修やセミナー等 の開催	採用活動における配慮	同性家族手当にも慶弔 休暇や家族手当を適用	健康診断での配慮	相談窓口	性別を問わないトイレ の設置	性的マイノリティが希望 する性別でのトイレ や更衣室の利用	制服や服装規定におけ る配慮	性別移行への配慮	差別を禁止する規則の 導入	性的マイノリティに配 慮した取組を行うこと の社内内外への表明	その他	特 に な い	無 回 答
性自認に関する性的マイノリティ	30	15	20	22	21	15	20	15	24	21	20	16	2	-	1
	100.0	50.0	66.7	73.3	70.0	50.0	66.7	50.0	80.0	70.0	66.7	53.3	6.7	-	3.3
性的指向に関する性的マイノリティ	171	63	101	121	104	75	88	80	105	79	90	71	5	9	4
	100.0	36.8	59.1	70.8	60.8	43.9	51.5	46.8	61.4	46.2	52.6	41.5	2.9	5.3	2.3

6. カミングアウトについて

(1) 最初にカミングアウトした時期 (問28)

※上段が件数、下段が割合

	調査数	《いずれかの時期にカミングアウトした》										無回答	ウチにカミングアウトした時期(いずれかの時期)	
		1〜3年生の頃	4〜6年生の頃	中学校の頃	16〜18歳頃	19〜29歳	30〜39歳	40〜49歳	50〜59歳	60〜64歳	65歳以上			
性自認に関する性的マイノリティ	30	-	3	3	3	7	-	2	-	-	5	6	1	18
	100.0	-	10.0	10.0	10.0	23.3	-	6.7	-	-	16.7	20.0	3.3	60.0
性的指向に関する性的マイノリティ	171	1	1	9	16	29	9	3	3	-	64	18	18	71
	100.0	0.6	0.6	5.3	9.4	17.0	5.3	1.8	1.8	-	37.4	10.5	10.5	41.5

(2) 最初にカミングアウトした相手 (問29)

※上段が件数、下段が割合

	調査数	性的友人	性的マイノリティである友人	妻・パートナー※ 異性の配偶者(夫・妻)・パートナー※ 法律上の提出	妻・パートナー※ 異性の配偶者(夫・妻)・パートナー※ 実婚	同性の配偶者/パートナー	父	母	子ども	兄弟姉妹	その他の親族	調査数		
												職場関係者	性的マイノリティの支援団体	医療・援助関係者(医師・カウンセラーなど)
性自認に関する性的マイノリティ	18	6	4	2	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-
	100.0	33.3	22.2	11.1	5.6	5.6	-	5.6	-	-	-	-	-	-
性的指向に関する性的マイノリティ	71	27	18	3	-	2	2	4	-	2	-	-	-	-
	100.0	38.0	25.4	4.2	-	2.8	2.8	5.6	-	2.8	-	-	-	-
性自認に関する性的マイノリティ	18	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-
	100.0	-	-	-	-	-	5.6	16.7	-	-	-	-	-	-
性的指向に関する性的マイノリティ	71	5	-	1	1	-	-	10	5	5	-	-	-	-
	100.0	7.0	-	1.4	1.4	-	-	14.1	7.0	7.0	-	-	-	-

(3) それ以外にカミングアウトした相手 (問30)

※上段が件数、下段が割合

	調査数	性的友人	性的マイノリティである友人	妻・パートナー※ 異性の配偶者(夫・妻)・パートナー※ 法律上の提出	妻・パートナー※ 異性の配偶者(夫・妻)・パートナー※ 実婚	同性の配偶者/パートナー	父	母	子ども	兄弟姉妹	その他の親族	調査数	
												職場関係者	性的マイノリティの支援団体
性自認に関する性的マイノリティ	18	4	4	1	-	1	2	5	-	2	1	-	-
	100.0	22.2	22.2	5.6	-	5.6	11.1	27.8	-	11.1	5.6	-	-
性的指向に関する性的マイノリティ	61	19	16	4	1	4	8	14	1	5	2	-	-
	100.0	31.1	26.2	6.6	1.6	6.6	13.1	23.0	1.6	8.2	3.3	-	-
性自認に関する性的マイノリティ	18	4	1	2	1	-	-	1	9	-	9	-	-
	100.0	22.2	5.6	11.1	5.6	-	-	5.6	50.0	-	50.0	-	-
性的指向に関する性的マイノリティ	61	6	4	5	3	1	1	3	22	2	37	-	-
	100.0	9.8	6.6	8.2	4.9	1.6	1.6	4.9	36.1	3.3	60.7	-	-

(4) 今後カミングアウトしたい相手の有無 (問31) ※上段が件数、下段が割合

	調査数	いる	いない	無回答
性自認に関する性的マイノリティ	23.0	4.0	19.0	-
	100.0	17.4	82.6	-
性的指向に関する性的マイノリティ	130.0	14.0	109.0	7.0
	100.0	10.8	83.8	5.4

(5) 今後カミングアウトしたい相手 (問31-1)

※上段が件数、下段が割合

	調査数	性的マイノリティでない友人	性的マイノリティである友人	異性の配偶者(夫・妻)・パートナー※(法律・婚姻届を提出)	異性の配偶者(夫・妻)・パートナー※(事実婚)	同性の配偶者/パートナー	父	母	子ども	兄弟姉妹	その他の親族
性自認に関する性的マイノリティ	4	1	2	1	1	-	-	-	-	-	1
	100.0	25.0	50.0	25.0	25.0	-	-	-	-	-	25.0
性的指向に関する性的マイノリティ	14	2	2	2	1	-	4	4	-	1	2
	100.0	14.3	14.3	14.3	7.1	-	28.6	28.6	-	7.1	14.3
	調査数	職場関係者	性的マイノリティの支援団体	医療・援助関係者(医師・カウンセラーなど)	学校関係者(担任・養護教諭など)	行政の相談窓口	近所の人・地域の人	その他	無回答		
性自認に関する性的マイノリティ	4	1	-	-	-	1	1	1	-		
	100.0	25.0	-	-	-	25.0	25.0	25.0	-		
性的指向に関する性的マイノリティ	14	3	-	-	-	-	-	3	1		
	100.0	21.4	-	-	-	-	-	21.4	7.1		

(6) カミングアウトしていない、カミングアウトしたいと思う相手がない理由 (問32)

※上段が件数、下段が割合

	調査数	不安なため理解されにくい	カミングアウトしたくない	どうしたらいいかわからない	カミングアウトするのをためらう	別な理由がある	その他	理由は特になし	無回答
性自認に関する性的マイノリティ	23	6	1	3	4	5	4	4	
	100.0	26.1	4.3	13.0	17.4	21.7	17.4	17.4	
性的指向に関する性的マイノリティ	125	30	6	10	22	42	15	15	
	100.0	24.0	4.8	8.0	17.6	33.6	12.0	12.0	

7. 性的マイノリティについて (悩んだ経験や相談状況)

(1) 学生時代に性的マイノリティであること/関連したことで悩んだ経験 (問33)

(1) 性的マイノリティを差別する言動を見聞きすること

	調査数	《経験がある》					どの学校でも なかった	無回答	《経験がある》
		1 ～ 3 小 学校 生の 頃	4 ～ 6 小 学校 生の 頃	中 学 校 の 頃	高 等 学 校 の 頃	学 校 (大 学等) 左 の 欄 以 降 の			
性自認に関する性的 マイノリティ	30	8	15	17	13	8	6	1	23
	100.0	26.7	50.0	56.7	43.3	26.7	20.0	3.3	76.7
性的指向に関する性 的マイノリティ	171	15	26	44	52	29	72	22	77
	100.0	8.8	15.2	25.7	30.4	17.0	42.1	12.9	45.0

※上段が件数、下段が割合

(2) 性的マイノリティであることを理由とした差別的な言動やいじめ・暴力を受けること

	調査数	《経験がある》					どの学校でも なかった	無回答	《経験がある》
		1 ～ 3 小 学校 生の 頃	4 ～ 6 小 学校 生の 頃	中 学 校 の 頃	高 等 学 校 の 頃	学 校 (大 学等) 左 の 欄 以 降 の			
性自認に関する性的 マイノリティ	30	6	10	11	9	5	11	1	18
	100.0	20.0	33.3	36.7	30.0	16.7	36.7	3.3	60.0
性的指向に関する性 的マイノリティ	171	6	13	24	20	14	104	23	44
	100.0	3.5	7.6	14.0	11.7	8.2	60.8	13.5	25.7

※上段が件数、下段が割合

(3) 家族に理解してもらえないこと

	調査数	《経験がある》					どの学校でも なかった	無回答	《経験がある》
		1 ～ 3 小 学校 生の 頃	4 ～ 6 小 学校 生の 頃	中 学 校 の 頃	高 等 学 校 の 頃	学 校 (大 学等) 左 の 欄 以 降 の			
性自認に関する性的 マイノリティ	30	5	6	10	8	4	15	3	12
	100.0	16.7	20.0	33.3	26.7	13.3	50.0	10.0	40.0
性的指向に関する性 的マイノリティ	171	5	11	20	25	29	100	24	47
	100.0	2.9	6.4	11.7	14.6	17.0	58.5	14.0	27.5

※上段が件数、下段が割合

(4) 誰に相談したらよいか分からないこと

	調査数	《経験がある》					どの学校でも なかった	無回答	《経験がある》
		1 ～ 3 小 学校 生の 頃	4 ～ 6 小 学校 生の 頃	中 学 校 の 頃	高 等 学 校 の 頃	学 校 (大 学等) 左 の 欄 以 降 の			
性自認に関する性的 マイノリティ	30	4	7	12	8	3	14	3	13
	100.0	13.3	23.3	40.0	26.7	10.0	46.7	10.0	43.3
性的指向に関する性 的マイノリティ	171	4	10	23	29	30	93	24	54
	100.0	2.3	5.8	13.5	17.0	17.5	54.4	14.0	31.6

※上段が件数、下段が割合

(5) 学校で性的マイノリティに関する授業がない、あるいは十分でないこと

	調査数	《経験がある》					どの学校でも なかった	無回答	《経験がある》
		1 ～ 3 小 学校 生の 頃	4 ～ 6 小 学校 生の 頃	中 学 校 の 頃	高 等 学 校 の 頃	学 校 (大 学等) 左 の 欄 以 降 の			
性自認に関する性的 マイノリティ	30	13	15	16	17	8	6	2	22
	100.0	43.3	50.0	53.3	56.7	26.7	20.0	6.7	73.3
性的指向に関する性 的マイノリティ	171	26	34	46	56	37	75	24	72
	100.0	15.2	19.9	26.9	32.7	21.6	43.9	14.0	42.1

※上段が件数、下段が割合

(6) 学校で更衣室、トイレなど男女区別のある施設が利用しづらいこと

※上段が件数、下段が割合

	調査数	《経験がある》					どの学校でも なかった	無回答	《経験がある》
		1～3 小学生の頃	4～6 小学生の頃	中学校の頃	高等学校の頃	左の欄以降の 学校(大学等)			
性自認に関する性的 マイノリティ	30	7	9	11	11	6	15	2	13
	100.0	23.3	30.0	36.7	36.7	20.0	50.0	6.7	43.3
性的指向に関する性的 マイノリティ	171	7	9	16	17	13	122	25	24
	100.0	4.1	5.3	9.4	9.9	7.6	71.3	14.6	14.0

(7) 学校で制服を自由に選べないこと

※上段が件数、下段が割合

	調査数	《経験がある》					どの学校でも なかった	無回答	《経験がある》
		1～3 小学生の頃	4～6 小学生の頃	中学校の頃	高等学校の頃	左の欄以降の 学校(大学等)			
性自認に関する性的 マイノリティ	30	6	6	19	15	3	7	2	21
	100.0	20.0	20.0	63.3	50.0	10.0	23.3	6.7	70.0
性的指向に関する性的 マイノリティ	171	6	6	36	32	10	99	25	47
	100.0	3.5	3.5	21.1	18.7	5.8	57.9	14.6	27.5

(8) 学校の修学旅行などの宿泊行事で風呂や就寝場所が希望どおりとならないこと

※上段が件数、下段が割合

	調査数	《経験がある》					どの学校でも なかった	無回答	《経験がある》
		1～3 小学生の頃	4～6 小学生の頃	中学校の頃	高等学校の頃	左の欄以降の 学校(大学等)			
性自認に関する性的 マイノリティ	30	6	10	13	10	4	13	2	15
	100.0	20.0	33.3	43.3	33.3	13.3	43.3	6.7	50.0
性的指向に関する性的 マイノリティ	171	6	10	20	21	10	112	27	32
	100.0	3.5	5.8	11.7	12.3	5.8	65.5	15.8	18.7

(9) 学校で通称名で呼ばれることができないこと

※上段が件数、下段が割合

	調査数	《経験がある》					どの学校でも なかった	無回答	《経験がある》
		1～3 小学生の頃	4～6 小学生の頃	中学校の頃	高等学校の頃	左の欄以降の 学校(大学等)			
性自認に関する性的 マイノリティ	30	4	6	9	7	3	18	2	10
	100.0	13.3	20.0	30.0	23.3	10.0	60.0	6.7	33.3
性的指向に関する性的 マイノリティ	171	2	4	10	7	8	126	29	16
	100.0	1.2	2.3	5.8	4.1	4.7	73.7	17.0	9.4

(10) 肯定的な将来像を描けないこと

※上段が件数、下段が割合

	調査数	《経験がある》					どの学校でも なかった	無回答	《経験がある》
		1～3 小学生の頃	4～6 小学生の頃	中学校の頃	高等学校の頃	左の欄以降の 学校(大学等)			
性自認に関する性的 マイノリティ	30	4	5	14	11	8	10	2	18
	100.0	13.3	16.7	46.7	36.7	26.7	33.3	6.7	60.0
性的指向に関する性的 マイノリティ	171	8	11	23	25	30	97	29	45
	100.0	4.7	6.4	13.5	14.6	17.5	56.7	17.0	26.3

(11) アウティング (性的マイノリティ本人の了解なしに他人に暴露してしまうこと) されること

	調査数	《経験がある》						無回答	《経験がある》
		1～3年生の頃	4～6年生の頃	中学校の頃	高等学校の頃	左の欄以降の学校(大学等)	どの学校でもなかった		
性自認に関する性的マイノリティ	30	-	2	8	8	4	16	2	12
	100.0	-	6.7	26.7	26.7	13.3	53.3	6.7	40.0
性的指向に関する性的マイノリティ	171	-	2	15	18	18	113	27	31
	100.0	-	1.2	8.8	10.5	10.5	66.1	15.8	18.1

※上段が件数、下段が割合

(12) その他

	調査数	《経験がある》						無回答	《経験がある》
		1～3年生の頃	4～6年生の頃	中学校の頃	高等学校の頃	左の欄以降の学校(大学等)	どの学校でもなかった		
性自認に関する性的マイノリティ	30	-	-	1	1	1	9	18	3
	100.0	-	-	3.3	3.3	3.3	30.0	60.0	10.0
性的指向に関する性的マイノリティ	171	-	-	1	1	3	57	110	4
	100.0	-	-	0.6	0.6	1.8	33.3	64.3	2.3

※上段が件数、下段が割合

(2) 職場で性的マイノリティであること／関連したことで悩んだこと (問34)

※上段が件数、下段が割合

調査数	調査数	プライベートな話をしづらいこと	性的マイノリティではないものとしてふるまわなければならないこと	相談先がないこと	社内制度や職場の慣行が性的マイノリティに配慮されていないこと	ロールモデル(お手本となる人)とかけないこと	性的マイノリティについて偏見に基づく差別的な言動を見聞きすること	差別的な言動やいじめ・ハラスメントを受けること	服装・整容(髪形など)規定が性的マイノリティに配慮されていないこと	健康診断が性的マイノリティに配慮されていないこと	生制度が性的マイノリティに配慮した福利厚生がないこと	人事評価で不利益な取り扱いを受けること	調査数	と希望する部署に配属されないこと	れ自身だと思われて転勤を命ぜられやすいこと	と通称名の使用が認められないこと	露アウティング(性的マイノリティ本人の了解なしに他人に暴露されること)	職場での性別移行が困難なこと	たこと	なんとなく居心地が悪いこと	と周りのみなど違うので不安なこと	その他	特にな	い働いたことがないのでわからない	無回答	悩んだことがあった
30	14	12	13	16	11	15	5	11	12	9	14	6	30	3	2	2	5	6	3	16	14	1	3	1	1	25
100.0	46.7	40.0	43.3	53.3	36.7	50.0	16.7	36.7	40.0	30.0	46.7	20.0	100.0	10.0	6.7	6.7	16.7	20.0	10.0	53.3	46.7	3.3	10.0	3.3	3.3	83.3
171	35	46	24	28	29	39	13	14	17	10	22	14	171	4	11	3	18	6	6	32	27	5	54	9	18	90
100.0	20.5	26.9	14.0	16.4	17.0	22.8	7.6	8.2	9.9	5.8	12.9	8.2	100.0	2.3	6.4	1.8	10.5	3.5	3.5	18.7	15.8	2.9	31.6	5.3	10.5	52.6

(3) 学校卒業後、職場以外で性的マイノリティであること／関連したことで悩んだこと (問35)

※上段が件数、下段が割合

調査数	性的マイノリティを見聞きすること	性的マイノリティを差別する言動	合理的な言動やいじめ・ハラスメント・暴力を受けること	家族に理解してもらえないこと	誰に相談したらよいか分からないこと	更衣室、トイレなど男女区別のある施設が利用しづらいこと	医療・福祉・住まい(賃貸)の面で性的マイノリティに配慮した対応がされないこと	行政窓口で性的マイノリティへの配慮が足りないこと	同性パートナーが遺族年金や扶養控除、手当などを受けられないこと	入学試験の面接等で差別やハラ	就職の際の面接等で差別やハラ	調査数	資格が申請しにくいこと	外国籍の同性パートナーの在留	冠婚葬祭などの出席を断られること	将来の生活プランを描けないこと	老後の生活に不安があること	露アウティング(性的マイノリティ本人の了解なしに他人に暴露してしまうこと)	他の性的マイノリティと交流する機会がないこと	同性パートナーを公的に認証すること	その他	特にな	無回答	悩んだことがあった
30	20	9	9	15	8	11	11	10	4	6	30	3	3	14	16	7	4	12	2	1	2	27		
100.0	66.7	30.0	30.0	50.0	26.7	36.7	36.7	33.3	13.3	20.0	100.0	10.0	10.0	46.7	53.3	23.3	13.3	40.0	6.7	3.3	6.7	90.0		
171	54	22	34	36	6	25	23	27	6	13	171	4	5	40	42	19	24	36	4	59	21	91		
100.0	31.6	12.9	19.9	21.1	3.5	14.6	13.5	15.8	3.5	7.6	100.0	2.3	2.9	23.4	24.6	11.1	14.0	21.1	2.3	34.5	12.3	53.2		

(4) 性的マイノリティであること／関連したことで悩んだときの相談相手の有無 (問36)

※上段が件数、下段が割合

調査数	いた	いなかった	悩んだり困ったことがない	無回答	《悩みがあった》	調査数	いた	いなかった	悩んだり困ったことがない	無回答	《悩みがあった》
30	11	12	4	3	23	30	11	12	4	3	23
100.0	36.7	40.0	13.3	10.0	76.7	171	37	52	64	18	89
100	21.6	30.4	37.4	10.5	52.1	100	21.6	30.4	37.4	10.5	52.1

(5) 性的マイノリティであること／関連したことで悩んだときの相談相手がいた時期 (問37)

(1) 性的マイノリティでない友人

※上段が件数、下段が割合

調査数	《いずれかの時期にいた》							無回答	期(《いずれかの時期にいた》)
	1~3 小学校の頃	4~6 小学校の頃	中学校の頃	16~18 高等学校・高校の頃	19歳以降 現在まで	どの時期にもいなかった			
11	-	1	2	2	4	2	3	6	
100.0	-	9.1	18.2	18.2	36.4	18.2	27.3	54.5	
37	1	2	3	9	12	6	19		
100.0	2.7	5.4	8.1	24.3	32.4	16.2	51.4		

(2) 性的マイノリティである友人

	調査数	《いずれかの時期にいた》					どの時期にも いなかった	無回答	期《い ずれか の時 期に いた》
		1 ～ 3 年 生 校 の 頃	4 ～ 6 年 生 校 の 頃	中 学 校 の 頃	1 6 ～ 1 8 歳 ・ 頃	1 9 歳 以 降 現 在 ま で			
性自認に関する性的 マイノリティ	11	-	1	1	4	5	1	1	9
	100.0	-	9.1	9.1	36.4	45.5	9.1	9.1	81.8
性的指向に関する性 的マイノリティ	37	-	1	4	9	26	7	-	30
	100.0	-	2.7	10.8	24.3	70.3	18.9	-	81.1

※上段が件数、下段が割合

(3) 異性の配偶者 (夫・妻) / パートナー ※法律婚・婚姻届を提出

	調査数	《いずれかの時期にいた》					どの時期にも いなかった	無回答	期《い ずれか の時 期に いた》
		1 ～ 3 年 生 校 の 頃	4 ～ 6 年 生 校 の 頃	中 学 校 の 頃	1 6 ～ 1 8 歳 ・ 頃	1 9 歳 以 降 現 在 ま で			
性自認に関する性的 マイノリティ	11	-	-	-	-	-	6	5	-
	100.0	-	-	-	-	-	54.5	45.5	-
性的指向に関する性 的マイノリティ	37	-	-	-	-	3	27	7	3
	100.0	-	-	-	-	8.1	73.0	18.9	8.1

※上段が件数、下段が割合

(4) 異性の配偶者 (夫・妻) / パートナー ※事実婚

	調査数	《いずれかの時期にいた》					どの時期にも いなかった	無回答	に《い ずれか の時 期 に いた》
		1 ～ 3 年 生 校 の 頃	4 ～ 6 年 生 校 の 頃	中 学 校 の 頃	1 6 ～ 1 8 歳 ・ 頃	1 9 歳 以 降 現 在 ま で			
性自認に関する性的 マイノリティ	11	-	-	1	1	2	6	3	2
	100.0	-	-	9.1	9.1	18.2	54.5	27.3	18.2
性的指向に関する性 的マイノリティ	37	-	-	-	-	3	28	6	3
	100.0	-	-	-	-	8.1	75.7	16.2	8.1

※上段が件数、下段が割合

(5) 同性の配偶者 / パートナー

	調査数	《いずれかの時期にいた》					どの時期にも いなかった	無回答	に《い ずれか の時 期 に いた》
		1 ～ 3 年 生 校 の 頃	4 ～ 6 年 生 校 の 頃	中 学 校 の 頃	1 6 ～ 1 8 歳 ・ 頃	1 9 歳 以 降 現 在 ま で			
性自認に関する性的 マイノリティ	11	-	-	-	1	4	3	4	4
	100.0	-	-	-	9.1	36.4	27.3	36.4	36.4
性的指向に関する性 的マイノリティ	37	-	-	-	1	8	24	5	8
	100.0	-	-	-	2.7	21.6	64.9	13.5	21.6

※上段が件数、下段が割合

(6) 父

	調査数	《いずれかの時期にいた》					どの時期にも いなかった	無回答	に《い ずれか の時 期 に いた》
		1 ～ 3 年 生 校 の 頃	4 ～ 6 年 生 校 の 頃	中 学 校 の 頃	1 6 ～ 1 8 歳 ・ 頃	1 9 歳 以 降 現 在 ま で			
性自認に関する性的 マイノリティ	11	-	-	-	-	3	4	4	3
	100.0	-	-	-	-	27.3	36.4	36.4	27.3
性的指向に関する性 的マイノリティ	37	-	-	-	-	1	29	7	1
	100.0	-	-	-	-	2.7	78.4	18.9	2.7

※上段が件数、下段が割合

※上段が件数、下段が割合

(7) 母

	調査数	《いずれかの時期にいた》						どの時期にも いなかった	無回答	期《 に いた 》 の 時
		1 ～ 3 小 学 生 校 の 頃	4 ～ 6 小 学 生 校 の 頃	中 学 校 の 頃	1 6 ～ 1 8 高 等 学 校 ・ 歳 頃	1 9 歳 以 降 現 在 ま で				
性自認に関する性的 マイノリティ	11	1	1	1	1	3	4	3	4	
	100.0	9.1	9.1	9.1	9.1	27.3	36.4	27.3	36.4	
性的指向に関する性的 マイノリティ	37	-	-	1	1	4	26	7	4	
	100.0	-	-	2.7	2.7	10.8	70.3	18.9	10.8	

(8) 子ども

	調査数	《いずれかの時期にいた》						どの時期にも いなかった	無回答	期《 に いた 》 の 時
		1 ～ 3 小 学 生 校 の 頃	4 ～ 6 小 学 生 校 の 頃	中 学 校 の 頃	1 6 ～ 1 8 高 等 学 校 ・ 歳 頃	1 9 歳 以 降 現 在 ま で				
性自認に関する性的 マイノリティ	11	-	-	-	-	-	6	5	-	
	100.0	-	-	-	-	-	54.5	45.5	-	
性的指向に関する性的 マイノリティ	37	-	-	-	-	-	30	7	-	
	100.0	-	-	-	-	-	81.1	18.9	-	

(9) 兄弟姉妹

	調査数	《いずれかの時期にいた》						どの時期にも いなかった	無回答	期《 に いた 》 の 時
		1 ～ 3 小 学 生 校 の 頃	4 ～ 6 小 学 生 校 の 頃	中 学 校 の 頃	1 6 ～ 1 8 高 等 学 校 ・ 歳 頃	1 9 歳 以 降 現 在 ま で				
性自認に関する性的 マイノリティ	11	-	-	1	-	1	5	4	2	
	100.0	-	-	9.1	-	9.1	45.5	36.4	18.2	
性的指向に関する性的 マイノリティ	37	-	-	1	1	4	26	7	4	
	100.0	-	-	2.7	2.7	10.8	70.3	18.9	10.8	

(10) その他の親族

	調査数	《いずれかの時期にいた》						どの時期にも いなかった	無回答	期《 に いた 》 の 時
		1 ～ 3 小 学 生 校 の 頃	4 ～ 6 小 学 生 校 の 頃	中 学 校 の 頃	1 6 ～ 1 8 高 等 学 校 ・ 歳 頃	1 9 歳 以 降 現 在 ま で				
性自認に関する性的 マイノリティ	11	-	-	-	-	2	4	5	2	
	100.0	-	-	-	-	18.2	36.4	45.5	18.2	
性的指向に関する性的 マイノリティ	37	-	-	-	-	2	28	7	2	
	100.0	-	-	-	-	5.4	75.7	18.9	5.4	

(11) 職場関係者

	調査数	《いずれかの時期にいた》						どの時期にも いなかった	無回答	期《 に いた 》 の 時
		1 ～ 3 小 学 生 校 の 頃	4 ～ 6 小 学 生 校 の 頃	中 学 校 の 頃	1 6 ～ 1 8 高 等 学 校 ・ 歳 頃	1 9 歳 以 降 現 在 ま で				
性自認に関する性的 マイノリティ	11	-	-	-	-	2	5	4	2	
	100.0	-	-	-	-	18.2	45.5	36.4	18.2	
性的指向に関する性的 マイノリティ	37	-	-	-	1	7	23	7	7	
	100.0	-	-	-	2.7	18.9	62.2	18.9	18.9	

(12) 性的マイノリティの支援団体

	調査数	《いずれかの時期にいた》					19歳以降 現在まで	どの時期にも いなかった	無回答	期《いずれかの時 期にいた》
		1 3 小学生の頃	4 6 小学生の頃	中学校の頃	1 6 1 8 高等学校・ 高校生の頃					
性自認に関する性的 マイノリティ	11	-	-	-	-	2	5	4	2	
	100.0	-	-	-	-	18.2	45.5	36.4	18.2	
性的指向に関する性的 マイノリティ	37	-	-	-	-	3	27	7	3	
	100.0	-	-	-	-	8.1	73.0	18.9	8.1	

(13) 医療・援助職関係者（医師・カウンセラーなど）

	調査数	《いずれかの時期にいた》					19歳以降 現在まで	どの時期にも いなかった	無回答	期《いずれかの時 期にいた》
		1 3 小学生の頃	4 6 小学生の頃	中学校の頃	1 6 1 8 高等学校・ 高校生の頃					
性自認に関する性的 マイノリティ	11	-	-	2	1	4	3	3	5	
	100.0	-	-	18.2	9.1	36.4	27.3	27.3	45.5	
性的指向に関する性的 マイノリティ	37	-	-	1	1	3	26	7	4	
	100.0	-	-	2.7	2.7	8.1	70.3	18.9	10.8	

(14) 学校関係者（担任・養護教諭など）

	調査数	《いずれかの時期にいた》					19歳以降 現在まで	どの時期にも いなかった	無回答	期《いずれかの時 期にいた》
		1 3 小学生の頃	4 6 小学生の頃	中学校の頃	1 6 1 8 高等学校・ 高校生の頃					
性自認に関する性的 マイノリティ	11	-	-	-	1	1	5	4	2	
	100.0	-	-	-	9.1	9.1	45.5	36.4	18.2	
性的指向に関する性的 マイノリティ	37	-	-	1	3	2	25	6	6	
	100.0	-	-	2.7	8.1	5.4	67.6	16.2	16.2	

(15) 行政の相談窓口

	調査数	《いずれかの時期にいた》					19歳以降 現在まで	どの時期にも いなかった	無回答	期《いずれかの時 期にいた》
		1 3 小学生の頃	4 6 小学生の頃	中学校の頃	1 6 1 8 高等学校・ 高校生の頃					
性自認に関する性的 マイノリティ	11	-	-	-	-	-	7	4	-	
	100.0	-	-	-	-	-	63.6	36.4	-	
性的指向に関する性的 マイノリティ	37	-	-	-	-	1	29	7	1	
	100.0	-	-	-	-	2.7	78.4	18.9	2.7	

(16) 近所の人・地域の人

	調査数	《いずれかの時期にいた》					19歳以降 現在まで	どの時期にも いなかった	無回答	期《いずれかの時 期にいた》
		1 3 小学生の頃	4 6 小学生の頃	中学校の頃	1 6 1 8 高等学校・ 高校生の頃					
性自認に関する性的 マイノリティ	11	-	-	-	-	1	6	4	1	
	100.0	-	-	-	-	9.1	54.5	36.4	9.1	
性的指向に関する性的 マイノリティ	37	-	-	-	-	-	30	7	-	
	100.0	-	-	-	-	-	81.1	18.9	-	

※上段が件数、下段が割合

(17) その他

	調査数	《いずれかの時期にいた》						※上段が件数、下段が割合		
		1 ～ 3 小学 生の頃	4 ～ 6 小学 生の頃	中学校 の頃	1 6 ～ 1 8 高等 学校・ 歳頃	1 9 歳以 降 現在 まで	ど の 時 期 に も い な か っ た	無 回 答	期 《 い ず れ か の 時 期 に い た 》	
性自認に関する性的 マイノリティ	11 100.0	-	-	-	-	-	2	9	-	
性的指向に関する性 的マイノリティ	37 100.0	-	-	-	-	2	18	17	2	
						5.4	48.6	45.9	5.4	

第4章 調査票

埼玉県 多様性を尊重する共生社会づくりに関する調査

(令和2年9月)

調査実施主体 埼玉県

調査に関するお問い合わせ先

担当：県民生活部 人権推進課
 TEL: 048 (830) 2255
 FAX: 048 (830) 4718

はじめに、あなたやご家族のことについてうかがいます。

問1 あなたの年齢は、令和2年7月1日現在でいくつですか。(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|-----------|-----------|------------|
| 1. 18～19歳 | 4. 30～34歳 | 8. 50～54歳 |
| 2. 20～24歳 | 5. 35～39歳 | 9. 55～59歳 |
| 3. 25～29歳 | 6. 40～44歳 | 10. 60～64歳 |
| | 7. 45～49歳 | |

問2 あなたのお住まいの地域はどこですか。(あてはまる番号1つに○)

- 南部地域 (川口市、蕨市、戸田市)
- 南西部地域 (朝霞市、志木市、和光市、新座市、富士見市、ふじみ野市、三芳町)
- 東部地域 (春日部市、草加市、越谷市、八潮市、三郷市、吉川市、松伏町)
- さいたま地域 (さいたま市)
- 県央地域 (鴻巣市、上尾市、桶川市、北本市、伊奈町)
- 川越比企地域 (川越市、東松山市、坂戸市、鶴ヶ島市、毛呂山町、越生町、滑川町、嵐山町、小川町、川島町、吉見町、鳩山町、ときがわ町、東秩父村)
- 西部地域 (所沢市、飯能市、狭山市、入間市、日高市)
- 利根地域 (行田市、加須市、羽生市、久喜市、蓮田市、幸手市、白岡市、宮代町、杉戸町)
- 北部地域 (熊谷市、本庄市、深谷市、美里町、神川町、上里町、寄居町)
- 秩父地域 (秩父市、横瀬町、皆野町、長瀨町、小鹿野町)

問3 あなたはどなたと一緒に暮らしていますか。(あてはまる番号すべてに○)

※選択肢1、2、3でいう「異性」、「同性」は、戸籍などの公的書類に基づく性別でお答えください。

- | | |
|--|----------------------------|
| 1. 異性の配偶者 (夫・妻) / パートナー
※法律婚・婚姻届を提出 | 8. 義母 |
| 2. 異性の配偶者 (夫・妻) / パートナー
※事実婚 | 9. 祖父・祖母 |
| 3. 同性の配偶者 / パートナー | 10. 兄弟姉妹 |
| 4. 子ども | 11. 上記以外の親族 |
| 5. 父 | 12. 障害者福祉施設等職員 |
| 6. 母 | 13. 友人やシェアハウス、グループホーム等の利用者 |
| 7. 義父 | 14. その他 (具体的に) |
| | 15. 一人暮らし |

問4 あなたが最後に通った学校の種類はこの中のどれにあたりますか。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|------------------|-------------|
| 1. 小・中学校 | 5. 大学 |
| 2. 高校・専修学校（高等課程） | 6. 大学院 |
| 3. 専門・専修学校（高卒後） | 7. 特別支援学校 |
| 4. 短大・高専 | 8. その他（具体的に |

あなたの今のお仕事や、お仕事の経験についてうかがいます。

問5 あなたのお仕事（2つ以上あてはまる場合には主なもの）は、大きく分けてこの中のどれにあたりますか。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|-------------------|-------------------------|
| 1. 正社員 | 9. その他のお仕事（具体的に |
| 2. パート・アルバイト・臨時雇い | 10. 学生 |
| 3. 派遣社員 | 11. 家事育児（家族介護を含む） |
| 4. 契約社員・嘱託 | 12. 定年退職・高齢のため無職 |
| 5. 会社などの経営者・役員 | 13. 心身上の事情で働けない |
| 6. 自営業者・自由業者 | 14. 失業中 |
| 7. 家族従業者（家業の手伝い） | 15. 10～14以外の理由で仕事をしていない |
| 8. 内職 | （具体的に |

1～9を選択された方 → 問6へ
 10～15を選択された方 → 問8へ

問6（問5で1～9と答えた方におたずねします。）

あなたのお勤め先は、どのような事業をしていますか。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|--|---|
| 1. 農業、林業 | 13. 宿泊業、飲食サービス業 |
| 2. 漁業 | 14. 生活関連サービス業、娯楽業
（洗濯・理美容・浴場業を含む） |
| 3. 鉱業、採石業、砂利採取業 | 15. 教育、学習支援業 |
| 4. 建設業 | 16. 医療、福祉
（保健衛生、社会保険・介護事業を含む） |
| 5. 製造業 | 17. 複合サービス事業（郵便局、協同組合） |
| 6. 電気・ガス・熱供給・水道業 | 18. その他のサービス業
（廃棄物処理、整備、修理、職業紹介・派遣事業を含む） |
| 7. 情報通信業（出版、マスコミ業を含む） | 19. 政治・経済・文化団体、宗教団体 |
| 8. 運輸業、郵便業 | 20. 公務（政府・地方自治体固有の業務） |
| 9. 卸売業、小売業 | 21. その他（具体的に |
| 10. 金融業、保険業 | |
| 11. 不動産業、物品賃貸業 | |
| 12. 学術研究、専門・技術サービス業
（広告、著述・芸術家業を含む） | |

問7 あなたは、お勤め先でどのような仕事をしていますか。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|------------------------------------|--------------------|
| 1. 管理職（課長相当職以上の役職） | 7. 農林漁業の仕事 |
| 2. 専門職・技術職 | 8. モノを製造・加工する仕事 |
| 3. 事務職 | 9. 機械や設備・乗物を運転する仕事 |
| 4. 販売・営業職 | 10. 建設現場の仕事・採掘の仕事 |
| 5. サービスの仕事（介護職員、理美容師、接客業、ビル管理人を含む） | 11. 運搬・清掃・包装の仕事 |
| 6. 保安の仕事（自衛官、警察官、消防士、警備員など） | 12. その他
（具体的に) |

問8 昨年1年間（2019年）では、あなたご自身はどれくらいの収入（税込）がありましたか。すべての収入（賞与、年金、給付金、家賃収入、配当金、仕送りなどを含む）についてお答えください。（あてはまる番号1つに○）

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. 100万円未満 | 6. 500～700万円未満 |
| 2. 100～200万円未満 | 7. 700～1,000万円未満 |
| 3. 200～300万円未満 | 8. 1,000万円以上 |
| 4. 300～400万円未満 | 9. 得た収入はなかった |
| 5. 400～500万円未満 | |

あなたの健康や、経験についてうかがいます。

問9 あなたは、長期にわたる健康上の問題や慢性的な病気をかかえていますか。（あてはまる番号すべてに○）

- | | |
|-------------|------------------------------|
| 1. 心血管疾患 | 7. うつ病や他のこころの病気 |
| 2. 慢性腎臓病 | 8. HIV／エイズ |
| 3. 悪性腫瘍（がん） | 9. 依存症（アルコールなど） |
| 4. 骨粗しょう症 | 10. 性別違和・性別不合・性同一性障害（医学的診断名） |
| 5. 脳梗塞 | 11. その他（具体的に) |
| 6. 糖尿病 | 12. 特になし |

問10 あなたは、最近1か月間に、次の(1)～(6)のようなことがどれくらいの頻度でありましたか。
(それぞれの項目について、あてはまる番号**1つ**に○)

	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	まったくない
(1) 神経過敏に感じたこと	1	2	3	4	5
(2) 絶望的だと感じたこと	1	2	3	4	5
(3) そわそわ落ち着かなく感じたこと	1	2	3	4	5
(4) 気分が沈み込んで、何が起ころっても気が晴れないように感じたこと	1	2	3	4	5
(5) 何をするのも骨折れだと感じたこと	1	2	3	4	5
(6) 自分は価値のない人間だと感じたこと	1	2	3	4	5

問11 あなたは、(1)～(7)のような経験はありましたか。
(それぞれの項目について、あてはまる時期**すべて**に○)

	1～3年生の頃 小学校	4～6年生の頃 小学校	中学校の頃	16～18歳頃 高等学校・ 高校	現在まで 19歳以降	経験していない
(1) 家にひきこもった、またはそれに近い状態になった	1	2	3	4	5	6
(2) 生きる価値がないと感じた	1	2	3	4	5	6
(3) 死ねたらと思った、または自死の可能性を考えた	1	2	3	4	5	6
(4) 自殺をほのめかす行動をとった	1	2	3	4	5	6
(5) 手段など具体的に自殺について考えた	1	2	3	4	5	6
(6) 遺書を書くなどの自殺の準備をした	1	2	3	4	5	6
(7) 自殺を図った	1	2	3	4	5	6

問12 あなたは、(1)～(3)のようなことはありましたか。
 (それぞれの項目について、あてはまる時期**すべて**に○)

	1 ～ 3 年 生 の 頃 小 学 校	4 ～ 6 年 生 の 頃 小 学 校	中 学 校 の 頃	16 ～ 18 歳 頃 高 等 学 校	現 在 ま で 19 歳 以 降	経 験 し て い な い
(1) 不快な冗談、からかいを受けること	1	2	3	4	5	6
(2) 暴力(言葉の暴力やいじめを含む)を受けること	1	2	3	4	5	6
(3) (1)～(2)以外のハラスメント※を受けること	1	2	3	4	5	6

※ハラスメント…行為者本人の意図にかかわらず不当に相手に不快感や不利益を与え、その尊厳を傷つけること

問13 あなたには、心配事を聴いてくれる人はいましたか。
 (それぞれの時期について、あてはまる番号**1つ**に○)

	いた	い な か っ た	心 配 事 は な か っ た
(1) 小学校1～3年生の頃	1	2	3
(2) 小学校4～6年生の頃	1	2	3
(3) 中学校の頃	1	2	3
(4) 高等学校・16～18歳頃	1	2	3
(5) 19歳以降現在まで	1	2	3

ここでは、性に関するあなたのお考えや周囲の状況についてうかがいます。

問14 (1)～(6)のそれぞれについて、あなたのお考えやお気持ちにもっとも近いものは、1、2、3、4のどれにあたりますか。(それぞれの項目について、あてはまる番号**1つ**に○)

	そう思う	どちらかという そう思う	どちらかという そう思わない	そう思わない
(1) 男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てるべきだ	1	2	3	4
(2) 女性のような男性を見ると不快になる	1	2	3	4
(3) 男性のような女性を見ると不快になる	1	2	3	4
(4) 男性が男性に恋愛感情を抱くのはおかしい	1	2	3	4
(5) 女性が女性に恋愛感情を抱くのはおかしい	1	2	3	4
(6) 性のあり方は人それぞれである	1	2	3	4

問15 あなたは、性的マイノリティに対する差別的な言動を、次のところで見聞きしたことはありますか。(あてはまる番号**すべて**に○)

- | | |
|------------|---------------|
| 1. 職場 | 6. インターネット |
| 2. 学校 | 7. 友人との交流の場 |
| 3. 家庭 | 8. その他(具体的に) |
| 4. 地域 | 9. 見聞きしたことはない |
| 5. テレビ・ラジオ | |

問16 あなたの職場では、性的マイノリティに対する配慮や支援はありますか。(あてはまる番号**すべて**に○)

1. 相談窓口の設置
2. 性的マイノリティに関する研修やセミナー等の開催
3. 採用活動における配慮
4. 性別を問わないトイレの設置や性的マイノリティが希望する性別でのトイレ利用
5. 同性カップルにも慶弔休暇や家族手当などを適用すること
6. その他(具体的に)
7. 特に配慮や支援はない
8. 自分は現在、職場で働いていない

問17 あなたは、学校で性的マイノリティについて(1)～(4)のように学んだ経験がありますか。
(それぞれの項目について、あてはまる時期**すべて**に○)

	1～3年生の頃 小学校	4～6年生の頃 小学校	中学校の頃	16～18歳頃 高等学校・	19歳以降 学校を出るまで	この形で学んだこと はない
(1) 学校で図書館などを利用し自ら調べた	1	2	3	4	5	6
(2) 学校の授業で学んだ	1	2	3	4	5	6
(3) 学校が開催した講演会等で話を聞いた	1	2	3	4	5	6
(4) その他 (具体的に)	1	2	3	4	5	6

問18 あなたは、性的マイノリティからカミングアウト(自分が性的マイノリティである/あるいはそうかもしれないことを打ち明けること)をされたことがありますか。
(それぞれの時期について、あてはまる番号**1つ**に○)

	ある	ない
(1) 小学校1～3年生の頃	1	2
(2) 小学校4～6年生の頃	1	2
(3) 中学校の頃	1	2
(4) 高等学校・16～18歳頃	1	2
(5) 19歳以降現在まで	1	2

問19 あなたの知り合いが、性的マイノリティであることで悩んだり困ったりしている(いた)ことはありますか(した)か。(あてはまる番号**1つ**に○)

1. ある(あった) → 問19-1へ
2. 性的マイノリティの知り合いは今までいるが、特に悩み事を見聞きしたことはない
3. 性的マイノリティの知り合いは、今までいない → 問20へ

問19-1 (問19で 1. ある(あった) と答えた方におたずねします。)

あなたの知り合いが、性的マイノリティであることで悩んだり困ったりしている(いた)ことは、次のどの事柄になりますか。(それぞれの項目について、その知り合いが悩んだり困ったりした時期**すべて**に○)

	1 ～ 3 年生の頃 小学校	4 ～ 6 年生の頃 小学校	中学校の頃	16 ～ 18 歳頃 高等学校・	現在まで 19歳以降	なかった
(1) 性的マイノリティを差別する言動を見聞きすること	1	2	3	4	5	6
(2) 性的マイノリティであることを理由に差別的な言動やいじめ・ハラスメント・暴力を受けること	1	2	3	4	5	6
(3) 家族に理解してもらえないこと	1	2	3	4	5	6
(4) 更衣室、トイレなど男女区別のある施設が利用しづらいこと	1	2	3	4	5	6
(5) 医療・福祉・住まい(賃貸)面で性的マイノリティに配慮した対応がなされないこと	1	2	3	4	5	6
(6) 行政窓口で性的マイノリティへの配慮が足りないこと	1	2	3	4	5	6
(7) 同性パートナーが遺族年金や扶養控除、手当などを受けられないこと	1	2	3	4	5	6
(8) 学校や修学旅行などの宿泊行事で風呂や就寝場所希望どおりとならないこと	1	2	3	4	5	6
(9) 学校や職場の制服が性的マイノリティに配慮されないこと	1	2	3	4	5	6
(10) 学校や職場で通称名を使用できないこと	1	2	3	4	5	6
(11) 入学試験や就職の際の面接等で差別やハラスメントを受けること	1	2	3	4	5	6
(12) 外国籍の同性パートナーの在留資格が申請しにくいこと	1	2	3	4	5	6
(13) 冠婚葬祭などの出席を断られること	1	2	3	4	5	6
(14) 将来の生活プランを描けないこと	1	2	3	4	5	6
(15) 老後の生活に不安があること	1	2	3	4	5	6
(16) アウティング(性的マイノリティ本人の了解なしに他人に暴露してしまうこと)されること	1	2	3	4	5	6
(17) 他の性的マイノリティと交流する機会がないこと	1	2	3	4	5	6
(18) 同性パートナーを公的に認証する制度がない、または不十分なこと	1	2	3	4	5	6
(19) その他 (具体的に)	1	2	3	4	5	6

問20 性的マイノリティへの配慮・支援に関して、国や地方自治体がすべき取組は次のうちどれですか。**(あてはまる番号すべてに○)**

1. 性的マイノリティに関する理解を進めるための広報や講座などによる啓発や学校等での教育
2. 性的マイノリティやその家族など周囲の人からの相談に対応できる窓口の設置
3. 福祉・医療・住宅など様々な施策の中に性的マイノリティへの配慮の視点を取り入れる
4. 同性カップルの関係を公的に認めるパートナーシップ制度の導入
5. 民法（婚姻に関するもの）改正や性別を問わずに婚姻できる法律の制定
6. 性的マイノリティに対する差別の解消を目的とした法令の制定
7. その他（具体的に _____)
8. 特にない

問21 性的マイノリティへの配慮・支援に関して、学校がすべき取組は次のうちどれですか。**(あてはまる番号すべてに○)**

1. 性的マイノリティを含めた性の多様性に関する授業
2. 相談窓口の設置
3. 性的マイノリティの希望に合った性別の制服着用を認める
4. 性別を問わないトイレの設置や性的マイノリティが希望する性別でのトイレ利用
5. 性的マイノリティが希望する通称名の使用や希望する性別としての名簿上の扱いを認める
6. その他（具体的に _____)
7. 特にない

問22 性的マイノリティへの配慮・支援に関して、職場がすべき取組は次のうちどれですか。**(あてはまる番号すべてに○)**

- | | |
|--------------------------------|----------------------------------|
| 1. 性的マイノリティに関する研修やセミナー等の開催 | 8. 制服や服装規定における配慮 |
| 2. 採用活動における配慮 | 9. 性別移行への配慮 |
| 3. 同性カップルにも慶弔休暇や家族手当を適用 | 10. 差別を禁止する規則の導入 |
| 4. 健康診断での配慮 | 11. 性的マイノリティに配慮した取組を行うことの社内外への表明 |
| 5. 相談窓口 | 12. その他（具体的に _____) |
| 6. 性別を問わないトイレの設置 | 13. 特にない |
| 7. 性的マイノリティが希望する性別でのトイレや更衣室の利用 | |

🔗 問28以降の質問は、

問24と問26の回答によって、ご回答いただく方が分かります。

問24で「1」かつ、問26で「1」もしくは「6」と回答した方

【問24（現在と出生時の性別）】

- ① 出生時の性別と同じ
2. 別の性別だととらえている
3. 違和感がある

かつ

【問26（あなたにもっとも近いもの）】

- ① 異性愛者、すなわちゲイ・レズビアン等ではない
2. ゲイ・レズビアン・同性愛者
3. バイセクシュアル・両性愛者
4. アセクシュアル・無性愛者
5. 決めたくない・決めていない
- ⑥ 質問の意味が分からない

問24で「2～3」、問26で「2～5」のどれかに回答した方

【問24（現在と出生時の性別）】

1. 出生時の性別と同じ
2. 別の性別だととらえている
3. 違和感がある

【問26（あなたにもっとも近いもの）】

1. 異性愛者、すなわちゲイ・レズビアン等ではない
2. ゲイ・レズビアン・同性愛者
3. バイセクシュアル・両性愛者
4. アセクシュアル・無性愛者
5. 決めたくない・決めていない
6. 質問の意味が分からない

質問終了

御協力ありがとうございました。

問28へお進みください。

問28 あなたが、最初にかミングアウト※した時期はいつですか。（あてはまる番号1つに○）

※カミングアウト…自分が性的マイノリティである/あるいはそうかもしれないことを打ち明けること

- | | |
|-----------------|------------------------|
| 1. 小学校1～3年生の頃 | 7. 40～49歳 |
| 2. 小学校4～6年生の頃 | 8. 50～59歳 |
| 3. 中学校の頃 | 9. 60～64歳 |
| 4. 高等学校・16～18歳頃 | 10. 誰にもカミングアウトしていない |
| 5. 19～29歳 | 11. この質問は自分にあてはまらないと思う |
| 6. 30～39歳 | →あてはまらないと思う理由をお書きください。 |
| | () |

- | | | |
|------------|---|------|
| 1～9を選択された方 | → | 問29へ |
| 10を選択された方 | → | 問31へ |
| 11を選択された方 | → | 問33へ |

問29 (問28で1～9と答えた方におたずねします。)

最初にカミングアウトした相手は誰ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|-------------------------------------|----------------------------|
| 1. 性的マイノリティでない友人 | 9. 兄弟姉妹 |
| 2. 性的マイノリティである友人 | 10. その他の親族 |
| 3. 異性の配偶者(夫・妻)／パートナー
※法律婚・婚姻届を提出 | 11. 職場関係者 |
| 4. 異性の配偶者(夫・妻)／パートナー
※事実婚 | 12. 性的マイノリティの支援団体 |
| 5. 同性の配偶者／パートナー | 13. 医療・援助職関係者(医師・カウンセラーなど) |
| 6. 父 | 14. 学校関係者(担任・養護教諭など) |
| 7. 母 | 15. 行政の相談窓口 |
| 8. 子ども | 16. 近所の人・地域の人 |
| | 17. その他(具体的に) |
| | 18. 特に隠していない・公言している |

1～17を選択された方	→	問30へ
18を選択された方	→	問33へ

問30 (問29で1～17と答えた方におたずねします。)

問29で選んだ相手以外でこれまでにカミングアウトした相手は誰ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|-------------------------------------|----------------------------|
| 1. 性的マイノリティでない友人 | 9. 兄弟姉妹 |
| 2. 性的マイノリティである友人 | 10. その他の親族 |
| 3. 異性の配偶者(夫・妻)／パートナー
※法律婚・婚姻届を提出 | 11. 職場関係者 |
| 4. 異性の配偶者(夫・妻)／パートナー
※事実婚 | 12. 性的マイノリティの支援団体 |
| 5. 同性の配偶者／パートナー | 13. 医療・援助職関係者(医師・カウンセラーなど) |
| 6. 父 | 14. 学校関係者(担任・養護教諭など) |
| 7. 母 | 15. 行政の相談窓口 |
| 8. 子ども | 16. 近所の人・地域の人 |
| | 17. その他(具体的に) |
| | 18. 問29以外の相手はいない |

問31 (今後) カミングアウトしたいと思っている相手はいますか。(あてはまる番号1つに○)

1. いる (→ 問30の選択肢1～17のうちあてはまる番号を下の枠内にすべて記入してください。)

【回答欄】

2. いない

問32 誰にもカミングアウトしていない、カミングアウトしたいと思っている相手にカミングアウトしていない、あるいは(今後)カミングアウトしたいと思う相手はいない、主な理由は次のうちどれですか。

(あてはまる番号1つに○)

1. カミングアウトしても理解されるか不安なため
2. どうカミングアウトしたらよいかわからないため
3. カミングアウトすると、いじめや差別を受けそうな気がするため
4. その他(具体的に)
5. 理由は特にない

問33 (ここからは、全員におたずねします。)

あなたは、学校に通っていたころ、性的マイノリティである/あるいは関連したことで、(1)～(12)のような、悩んだこと、困ったこと、不安だったこと、気になったことはありましたか。(それぞれの時期、それぞれの内容について、あてはまる番号**すべて**に○)

	1 ～ 3 年生の頃 小学校	4 ～ 6 年生の頃 小学校	中学校の頃	高等学校の頃	左の欄以降の学校 (大学等)	どの学校でも なかった
(1) 性的マイノリティを差別する言動を見聞きすること	1	2	3	4	5	6
(2) 性的マイノリティであることを理由とした差別的な言動やいじめ・暴力を受けること	1	2	3	4	5	6
(3) 家族に理解してもらえないこと	1	2	3	4	5	6
(4) 誰に相談したらよいか分からないこと	1	2	3	4	5	6
(5) 学校で性的マイノリティに関する授業がない、あるいは十分でないこと	1	2	3	4	5	6
(6) 学校で更衣室、トイレなど男女区別のある施設が利用しづらいこと	1	2	3	4	5	6
(7) 学校で制服を自由に選べないこと	1	2	3	4	5	6
(8) 学校の修学旅行などの宿泊行事で風呂や就寝場所が希望どおりとならないこと	1	2	3	4	5	6
(9) 学校で通称名で呼ばれることができないこと	1	2	3	4	5	6
(10) 肯定的な将来像を描けないこと	1	2	3	4	5	6
(11) アウティング(性的マイノリティ本人の了解なしに他人に暴露してしまうこと)されること	1	2	3	4	5	6
(12) その他 (具体的に)	1	2	3	4	5	6

問34 あなたは、性的マイノリティとして/あるいは関連したことで、これまでに、職場で悩んだこと、困ったこと、不安だったこと、気になったことはありましたか。(あてはまるものすべてに○)

※一度も働いたことがない方は、23を選んでください。

1. プライベートな話をしづらいこと
2. 性的マイノリティではないものとしてふるまわなければならないこと
3. 相談先がないこと
4. 社内制度や職場の慣行が性的マイノリティに配慮されていないこと
5. ロールモデル（お手本となる人）となる人がいないためキャリアプランを描けないこと
6. 性的マイノリティについて偏見に基づく差別的な言動を見聞きすること
7. 差別的な言動やいじめ・ハラスメントを受けること
8. 服装・整容（髪形など）規定が性的マイノリティに配慮されていないこと
9. トイレや更衣室などの施設利用が性的マイノリティに配慮されていないこと
10. 健康診断が性的マイノリティに配慮されておらず受診しづらいこと
11. 性的マイノリティに配慮した福利厚生制度がないこと
12. 人事評価で不利益な取り扱いを受けること
13. 希望する部署に配属されないこと
14. 独身だと思われて転勤を命ぜられやすいこと
15. 通称名の使用が認められないこと
16. アウティング（性的マイノリティ本人の了解なしに他人に暴露してしまうこと）されること
17. 職場での性別移行が困難なこと
18. （災害や急病などの）緊急時にパートナーと連絡がつかなかったこと
19. なんとなく居心地が悪いこと
20. 周りのみなと違うので不安なこと
21. その他（具体的に _____)
22. 特にない
23. 働いたことがないのでわからない

問35 学校を出てから現在まで、性的マイノリティとして/あるいは関連したことで、職場以外で悩んだこと、困ったこと、不安だったこと、気になったことはありますか。(あてはまるもの**すべて**に○)

1. 性的マイノリティを差別する言動を見聞きすること
2. 性的マイノリティであることを理由に差別的な言動やいじめ・ハラスメント・暴力を受けること
3. 家族に理解してもらえないこと
4. 誰に相談したらよいか分からないこと
5. 更衣室、トイレなど男女区別のある施設が利用しづらいこと
6. 医療・福祉・住まい（賃貸）の面で性的マイノリティに配慮した対応がなされないこと
7. 行政窓口で性的マイノリティへの配慮が足りないこと
8. 同性パートナーが遺族年金や扶養控除、手当などを受けられないこと
9. 入学試験の面接等で差別やハラスメントを受けること
10. 就職の際の面接等で差別やハラスメントを受けること
11. 外国籍の同性パートナーの在留資格が申請しにくいこと
12. 冠婚葬祭などの出席を断られること
13. 将来の生活プランを描けないこと
14. 老後の生活に不安があること
15. アウティング（性的マイノリティ本人の了解なしに他人に暴露してしまうこと）されること
16. 他の性的マイノリティと交流する機会がないこと
17. 同性パートナーを公的に認証する制度がない、または不十分なこと
18. その他（具体的に _____ ）
19. 特になし

問36 あなたは、性的マイノリティとして/あるいは関連したことで、悩んだり困ったとき、相談相手がいまいたか。(あてはまるもの**1つ**に○)

1. いた → 問37へ
 2. いなかった → 質問終了
 3. 悩んだり困ったことがない → 質問終了
- 御協力ありがとうございました。

問37 (問36で 1. いた と答えた方におたずねします。)

あなたが性的マイノリティとして/あるいは関連したことで悩んだり困ったとき、いつ頃、(1)～(17)のような相談相手がありましたか。(それぞれの相手、それぞれの時期について、あてはまるもの**すべて**に○)

	1 ～ 3 年生の頃 小学校	4 ～ 6 年生の頃 小学校	中学校の頃	16 ～ 18 歳頃 高等学校・ 高等専門学校	現在まで 19歳以降	どの時期にも いなかった
(1) 性的マイノリティでない友人	1	2	3	4	5	6
(2) 性的マイノリティである友人	1	2	3	4	5	6
(3) 異性の配偶者(夫・妻)／パートナー ※法律婚・婚姻届を提出	1	2	3	4	5	6
(4) 異性の配偶者(夫・妻)／パートナー ※事実婚	1	2	3	4	5	6
(5) 同性の配偶者／パートナー	1	2	3	4	5	6
(6) 父	1	2	3	4	5	6
(7) 母	1	2	3	4	5	6
(8) 子ども	1	2	3	4	5	6
(9) 兄弟姉妹	1	2	3	4	5	6
(10) その他の親族	1	2	3	4	5	6
(11) 職場関係者	1	2	3	4	5	6
(12) 性的マイノリティの支援団体	1	2	3	4	5	6
(13) 医療・援助職関係者 (医師・カウンセラーなど)	1	2	3	4	5	6
(14) 学校関係者(担任・養護教諭など)	1	2	3	4	5	6
(15) 行政の相談窓口	1	2	3	4	5	6
(16) 近所の人・地域の人	1	2	3	4	5	6
(17) その他 (具体的に)	1	2	3	4	5	6

質問は以上ですべて終了です。御協力ありがとうございました。

※補足や追加のご意見がございましたら、ここにご記入ください。

埼玉県
多様性を尊重する共生社会づくりに関する調査
報告書

令和3年2月

【発行】埼玉県 県民生活部 人権推進課
〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1
電話 048(830)2111(代表)
【業務委託先】株式会社 サーベイリサーチセンター
